

平成24年度

自転車乗用に関する調査研究事業 報告書

—「着地型観光」に資するサイクリング活用方策の調査研究—

公益財団法人 日本サイクリング協会



RING!RING!

プロジェクト

競輪の補助事業

自転車を使った観光振興策のカギを握る女性たち：紀の川エリア



自転車を使った観光振興策のカギを握る女性たち。スポーツ自転車の経験がない層も含めて紀の川エリアのファンとなり、リピーターになってくれることを願い、1泊2日の自転車女子会を企画。ビギナーたちは「自転車がこんなに楽しいとは思わなかった」と口々に語り、大いに自転車の旅を楽しんだ。

地域のアイコンとなって愛される自転車に： たま自転車&いちご自転車
四万十川りんりんサイクル



「たま」駅長の活躍で人気路線となった和歌山電鉄貴志川線は、「たま電車」や「いちご電車」のコンセプトを引き継いだレンタサイクルを提供。一方の「四万十川りんりんサイクル」は、豊かな自然に恵まれた四万十川流域を巡るのに適したスポーツバイクを用意し、サイクリング中の荷物運搬サービスもおこなっている。



びわイチから下町ポタリングまで幅広く：びわ湖一周レンタサイクル
トーキョーバイクレンタルバイク



「びわ湖一周レンタサイクル」とトーキョーバイクレンタルバイクは、同じようにスポーツバイクを用いたレンタサイクルでありながら、一方は200kmオーバーのロングライド、もう一方は20kmにも満たないポタリングと、走行するフィールドは大きく異なっている。もちろん、それぞれがフィールドに見合ったサービスを提供し、利用者のニーズに応じている。

メンテナンスの行き届いた最新のスポーツバイク：ジャイアントストア今治



今治駅に隣接する「ジャイアントストア今治」には、メンテナンスの行き届いた最新のスポーツバイクが勢ぞろいしている。しまなみ海道の起点となるここに手ぶらでやってきて、尾道までの往復150kmを走破することだってできるのだ。店内にはシャワーやロッカーも完備し、細かな配慮も行き届く。

平成24年度
自転車乗用に関する調査研究事業

報告書

- 「着地型観光」に資するサイクリング活用方策の調査研究-

目次

口 絵 「着地型観光」を支えている、多種多様なレンタサイクル……………	1
調査研究委員会名簿……………	6
はじめに 公益財団法人日本サイクリング協会……………	7
プロローグ① スポーツツーリズムとサイクリング……………	8
プロローグ② 着地型観光とサイクリング……………	10
プロローグ③ ハードとソフトの両面からサイクル・リンクを推進……………	12
本調査研究の概要……………	18
着地型観光におけるサイクリング活用の事例紹介① ツアー企画に先進性がある事例 ……	20
着地型観光におけるサイクリング活用の事例紹介② 自転車に先進性がある事例 ……	34
着地型観光におけるサイクリング活用の事例紹介③ ①と②がミックスした事例 ……	45
自転車を活用した着地型観光への取り組み……………	48
国内のレンタサイクル（コミュニティサイクル）の実例……………	54
海外のレンタサイクル（コミュニティサイクル）の実例……………	64
アンケートの実施と結果……………	72
コラム（シティサイクルとスポーツサイクルの違いとは？）……………	76
コラム（電動アシスト自転車よもやま話）……………	78
コラム（自転車市民権の確立に向けて（自転車セミナー事業））……………	80
（平成24年度）総括（まとめ）……………	81
事例アンケート結果およびレンタサイクル一覧表……………	付録

平成24年度「自転車乗用に関する調査研究事業」

- 「着地型観光」に資するサイクリング活用方策の調査研究-

-調査研究委員会-

委員長	蓮見 孝	札幌市立大学	理事長・学長
委員	八木 和広	観光庁	スポーツ観光推進室長
	岩田 淳雄	(株)八重洲出版	サイクルスポーツ 編集長
	鈴木 美緒	東京工業大学大学院総合理工学研究科	助教
	澤田 裕	フリーランス編集者	
	絹 代	サイクルライフナビゲーター	
	斉藤 円華	フリーライター	
	田中 栄作	(一財)日本自転車普及協会	事業部長
	大久保 薫	(一社)自転車協会	業務部次長
	北川 常夫	(公財)日本サイクリング協会	理事
事務局	小林 博	(公財)日本サイクリング協会	事務局次長

(順不同)

はじめに

公益財団法人 日本サイクリング協会

本調査研究は、公益財団法人日本サイクリング協会（JCA）が、公益財団法人 JKA による競輪補助事業の補助金助成を受けておこなうものである。平成 17 年度から 8 年間にわたり継続・発展的にこなってきた「自転車乗用に関する調査研究事業」の平成 24 年度の成果をまとめ報告する。

本年度のテーマは、「『着地型観光』に資するサイクリング活用方策」とした。地域が主体となって、地域に潜在する貴重な資産を観光資源として有効活用し、交流を生み出すことによって地域活性化を図ろうとする「着地型観光」の主役として、サイクリングを積極的に活用する可能性について調査研究を進めた。

サイクリングは、爽快さ・楽しさを生み出すレジャーの手段として、また健康増進のための効果的なフィットネスの道具として、さらにはエコ時代の生活スタイルの象徴として、多様な社会的活用が期待できる。さらに、観光庁が主唱するスポーツツーリズムの新たな切り札として、地域の交流促進や観光事業振興など、少子・高齢化により衰退が懸念される地域の活性化や再生にも貢献できそうである。

本調査研究では、着地型観光にサイクリングを活用する意義や方策について考察するとともに、サイクリングを有効活用している先進事例を全国から幅広く収集し、その特徴や課題を明らかにしようとした。また、着地型観光において、特に検討が必要と思われるレンタサイクルについて、きめ細かい調査研究をおこない、今後のレンタサイクル整備において参考となり得るポイントをまとめている。

本調査研究が、これからの地域における交流の促進、観光の振興、地域再生活動の参考として活用されれば幸甚である。

平成 25 年 5 月

プロローグ① スポーツツーリズムとサイクリング

スポーツツーリズムの社会的認知度の高まり

「スポーツツーリズム」という言葉は、わが国において社会的認知度の徐々なる高まりとともにさまざまなところで用いられるようになってきているが、スポーツツーリズム自体は決して新たに創り出された旅行形態ではない。これまでもわが国においては、プロ野球、Jリーグ、大相撲、競輪など国際的に高い評価を受け、すでに日本独自の文化となった「観るスポーツ」、豊かな自然環境や美しい四季を利用した、スキー、登山、今日盛んな市民マラソンなど、多くの人々が親しめる「するスポーツ」、そして、これらの2つのタイプと比較すると新しい形態にはなるが、地域において開催されるスポーツ大会に市民ボランティアとして協力したり、合宿をおこなうスポーツ選手やチームと地域住民が交流したりする「支えるスポーツ」があった。

スポーツツーリズムは各地域の保有する多種多様な観光資源を顕在化させ、地域の活性化に資するのみならず、社会的効果として、大会ボランティア参加等を通じた地域での一体感の醸成、交流人口の拡大にもつながると期待されている。本来、観光自体が胸躍るものであるが、それに加えてスポーツという感動、達成感を含む要素が融合したスポーツツーリズムは、まさに観光まちづくりを検討する際、非常に有効な手段として期待できると考えられる。

しかし、これまではスポーツツーリズムに対してオールジャパンで推進する体制が確立されていなかったため、各地域でそれぞれ取り組みがおこなわれ、その地域内で完結していた。こうしたなか平成22年、政府において初めてニューツーリズムの1つとして位置付けられたのを機に、各省庁間の連携が進み、平成24年3月の「観光立国推進基本計画」では、「スポーツツーリズムとは、スポーツを『観る』『する』ための旅行に加え、スポーツを『支える』人々との交流や、旅行者が旅先で多様なスポーツを体験できる環境の整備も含むものであり、国内旅行需要の喚起やゴルフ、スキー等スポーツへの指向性の高い外国人旅行者の訪日促進に寄与するものである」と「スポーツツーリズムの推進」が盛り込まれた。閣議決定された計画において、スポーツツーリズムという文言が明記されたのは、これが初めてである。

また、同時期の平成24年3月に文部科学大臣が決定した「スポーツ基本計画」においても、「国は、旅行先で気軽に多様なスポーツに親しめるスポーツツーリズムを推進し、子どもにとって居住地域だけでは不足しがちなスポーツ機会を向上させる取組を推進する」、「国及び地方公共団体は、例えば「地域スポーツコミッション」等の連携組織の設立を推進するなど、スポーツを地域の観光資源とした特色ある地域づくりを進めるため、行政と企業、スポーツ団体等との連携・協働を推進する」等、スポーツツーリズムについて多くの言及がなされた。なお、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条において、「都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところにより、その長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする」と定められていることから、今後、各地方公共団体が

地方スポーツ推進計画を策定する際においては、スポーツツーリズムの推進が盛り込まれていくことが予想される。

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構の発足

このようなスポーツツーリズムの社会的認知度の高まりを背景に、わが国のスポーツツーリズムの中核的組織・対外代表組織として、平成24年4月、スポーツツーリズムの普及定着により、地域間交流の活性化ならびに訪日外国人の拡大につなげるため、広く地域、団体、企業、大学等のネットワークの構築を図り、国際スポーツ大会等の誘致をはじめ、地域づくり、旅行商品造成、人材育成、国内外への情報発信、調査研究等に関する事業をおこない、地域経済の活性化、雇用機会の増大等わが国経済の発展ならびにスポーツの振興、健康の増進、自然との共生等豊かな国民生活の向上に貢献し、もってスポーツ立国および観光立国の実現に寄与することを目的とした、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（Japan Sport Tourism Alliance：JSTA）が発足した。

JSTAは地方公共団体、旅行関連企業、観光団体、スポーツ団体、スポーツ関連企業、学識経験者等120を超える会員によって構成されている。今後は観光庁とともにスポーツツーリズムを一層推進させるべく、地域におけるスポーツコミッション的組織の設立支援や、スポーツツーリズムのオールジャパンの中核的組織として、海外機関との関係形成を図るとともに、海外で訪日プロモーションを展開し、スポーツツーリズム推進に取り組む地域へのインバンドを支援する等の役割が期待される。

サイクリングの可能性と着地型観光との融合

サイクリングは従来から愛好家も多く、「するスポーツ」の代表格ともいえるものであり、スポーツツーリズムに与えるサイクリングの影響は小さくないと考えられる。こうしたことから観光庁では、平成23年11月から「ランナーズインフォメーション研究所」という名のプロジェクトの下、ランニングコース、ウォーキングコース、サイクリングコースをわが国の貴重な観光資源として捉え、歩いて楽しい道、走って気持ちがいい道、自転車で行くのによい道を認定し、コースの発信による観光振興を目的とした取り組みを進めている。具体的には「RUN」、「WALK」、「CYCLE」の3つのカテゴリでコースを認定し、ウェブやアプリで情報を展開している。平成25年3月現在、15コースが認定されているが、「CYCLE」では平成24年10月に、島根県雲南市および奥出雲町にわたる「ダムの上を抜ける道」が初めて認定された。一方、観光旅行者の利便の増進を図るうえで、自転車利用環境の整備は重要と考えられており、平成24年3月に閣議決定された「観光立国推進基本計画」においても、「環境負荷の小さい都市内交通体系の実現と自転車等の事故対策のため、道路空間の再配分などにより、歩行者・自転車・自動車を適切に分離し、安全で快適な自転車走行空間のネットワーク化を推進し、観光の振興を支援する」と言及されている。

最近では、地域独自の魅力を生かした地域密着型の旅行への期待の高まりを受けて、旅行者を受け入れる地域（着地）側が、地域にある伝統、文化、景観、産業等の個性ある観光資源を基にした、その地域ならではの魅力を着地側が旅行商品や体験プログラムとして企画・造成し、それを旅行者が観光する形態である「着地型観光」が各地でおこなわれている。

サイクリングを「するスポーツ」としてはもちろんのこと、地域内の移動手段としても活用し、こうした「着地型観光」と融合させることにより、サイクリングの重要性が一層高まるとともに、地域活性化にも大いに貢献するものと期待される。

プロローグ② 着地型観光とサイクリング

「光を観る」と書く観光は、一般的には旅行会社等による企画商品として販売され、顧客がそれを購入・消費するという形態をとることが多かった。お手軽で割安という長所がある反面、内容が画一的になりがちで、観光先の地場の魅力的資産に触れにくく、地域に暮らす人たちとの交流の機会も限定的であり、本来の旅の味わいに欠ける、という側面も見られた。近年の環境志向や健康志向の広がりとともに、LOHAS やスローフードというような新たな生活価値観が注目されるようになり、ありのままの地域の自然や暮らしを体験し、素朴な交流を楽しもうとするグリーンツーリズムが世界的にも支持されるようになってきている。地域が持つ魅力に着眼したグリーンツーリズムは、まさに新たな観光を生み出す思想的原点であり、それを地域自身が主体となって活用し、交流を呼び寄せる活動に発展させようとする試みが「着地型観光」であるといえるだろう。着地型観光は、少子・高齢化が進み衰退が懸念される地域活性化の鍵としても期待されるようになってきている。

自転車は、徒歩による移動効率の悪さをカバーしつつ、のんびりと地域を味わい地域の人たちと交流し合えるという大きなメリットを持っている。反面、自宅発着では行動範囲が限られ、複数の友人や家族で楽しもうとするときにも、車両の数がそろわないといった問題が生じるため、今まではツーリズムの選択肢として注目されることは少なかった。

本調査研究では、自転車のメリットを最大限に活かしつつ、そのデメリットを解消できるようなしくみに焦点を当て、自転車を積極的に着地型観光に活かす方策について調査・研究を進めようとするものである。

サイクリングについては、終戦直後の1949年に公開された松竹映画「青い山脈」において、すでにさわやかな青春のシンボルとして登場し、その後も幾度かのサイクリングブームが起きている。また、急速に工業化が進んだ戦後の高度成長期には、自転車産業が日本工業の担い手として隆盛した。しかし、それが社会全体を挙げて自転車先進国として発展させる原動力にはなりえなかったこともまた事実である。

自転車を社会的に有効な移動機器として活かしてきた先進諸国に対し、日本における自転車の位置づけは、きわめて低いレベルに留まっていると言わざるをえない。“ママチャリ、”という言葉が物語るように、自転車はホウキやスコップのような生活用具の一つとみなされがちであり、それが移動機器としての多様な活用が図られなかった一因ともなっただろう。それゆえに自転車に対する社会的認識が低く、車両としてのカテゴリーが曖昧で、走行レーンも十分に整備されておらず、自転車道はぶつ切り状態であり、自転車の走行マナーも悪く、違法駐輪や歩道をわが物顔に走るなどの現況を生み出してきた。加えて、自転車のメリットを社会的に高めようとするプロモーション活動も、国を挙げて活発におこなわれてきたとは言いがたい。

自転車への社会的認識と支持の低さが、サイクリングを観光に活かそうとする振興活動の障害ともなってきたはずである。サイクリングを観光に積極的に活かすためには、案内板を立てたりレンタサイクルをそろえるだけで終わることなく、さまざまな取り組みを総合的にこなしていく必要があるだろう。サイクリングを楽しめる魅力的なコースの整備、安心して走れる道路や休憩施設の整備、加えてサイクリングを日常的に楽しんでいるサイクリストを対象を限定することなく、多様な人たちが楽しめる

レンタサイクルの整備やガイド役のインストラクターの配置など、数々の課題をクリアしていく必要がある。

本調査研究では、着地型観光にサイクリングを活用検討する際の参考となる情報を可能な限り収集し、そのキーポイントをまとめているので、参照いただきたい。

プロローグ③ ハードとソフトの両面からサイクル・リンクを推進

本委員会が提唱する「サイクル・リンク」について改めて確認していただこうと、その概要と新たな取り組みに関し、多摩美術大学教授の堀内正弘先生に寄稿していただいた。

ミッシングリンクは自転車走行環境整備のキーワード

アムステルダム（オランダ）やコペンハーゲン（デンマーク）など自転車活用が早くから推進されている欧州の都市では、都心部にあるほとんどの幹線道路に自転車レーンが設置されている。アメリカでは欧州に比較すると近年、1990年代になって連邦政府による自転車マスタープラン策定に対する奨励制度が導入され、都市部における自転車走行環境の整備が急速に進められてきた。そのなかで出てきたキーワードが「Missing Link：ミッシングリンク」である。ミッシングリンクとは、自転車走行環境の形成段階において断片的に整備された自転車レーン等の「不連続部分」のことを指す。そもそもミッシングリンクとは高分子化学において、分子の構造が切れている状態を示す用語であるが、そのアナロジーとしてさまざまな分野で使われている。

アメリカなどでは、自転車レーンに不連続部分＝ミッシングリンクがあれば安全に走行できないので、「それをいかにしてつなぐか」が社会的な課題となり、ミッシングリンクをつなげる方法について検討がなされる。特に市民の側からのミッシングリンクの検証や提案がなされることが多い。自動車と異なり、自転車は必ずしも自転車レーンや自転車専用道路といった純粋なかたちで整備されなくても、



コペンハーゲンの自転車レーン



ミッシングリンク解消をアピールするウェブサイト



停留所でのミッシングリンク解消



交差点で自転車レーンを青色に塗装する

いわば次善の策でも実用になる。したがってミッシングリンクの解決方法は多面的に検討される。例えば民地内の通り抜け通路を活用するケース、あるいは歩道橋が障害となっていた箇所では、市民団体が手作りで自転車を押し上げやすくするためのガイドレールを設置したところ、その後正式に設置されたというケースもある。

より小さなスケールにおいては、交差点や路面電車の停留所で自転車レーンの連続性が途切れるということもミッシングリンクである。この問題に対しては、交差点部分の路面（車道）に白線で区切られた自転車通行帯を表示するという手法が導入される。車道との交差部分での自転車通行帯の視認性を高めるためには、自転車通行帯を青色に塗ることが一般的である。これはポートランド（オレゴン州）で最初におこなわれたが、この手法は今では全米的に、そして欧州の都市にも普及している。

このようにして大きなスケールから小さなスケールまで、自転車走行環境の不連続部分をなくすことで、長距離にわたって安全に走行できる「自転車ルート」のネットワークが生み出される。自転車ルートは標識や路面標示によって誘導され、都市によっては自転車ルートに番号がふられて管理されている。サンフランシスコでは、南北方向は奇数、東西方向は偶数の番号を持つ自転車ルートが中心市街地全域にこまかく制定されており、番号をたどっていけば目的地に着けるようなシステムとなっている。

わが国では、自転車レーン（道路交通法に基づく交通規制による自転車専用通行帯）の整備が大変に遅れており、道路改良工事の年次施工分だけ自転車レーンが出現し、その前後はまったく普通の道路のままであるといったケースも多い。また、歩道上に色分けして敷かれた自転車通行帯は、さらにさまざまな歩道上の障害物による分断箇所が多い。現状では自転車走行環境の理想型である自転車レーンの整備のテンポは遅く、欧米の自転車環境整備先進都市に比べると、いわば「ミッシング」の部分のほう



サンフランシスコの自転車ルート標識



ロンドンの自転車ルート標識

よほど長いので、一般道の自転車レーンの整備にその概念の適用は難しいといえよう。

主要な自転車ルートが連携して生み出される「サイクル・リンク」

わが国で「ミッシングリンク」の概念をすぐにも適用が有効なのは、大規模自転車道などすでにルートが定められており、利用者が多い自転車専用道路等に関わるケースである。現地で実走調査をしてみると、起点終点などでの一般道との接続部分、都市中心部や幹線道路などを横断する部分などで、その先どちらに進めばいいのかわからないといったミッシングリンクが多く見受けられる。そのミッシングリンクを解消することで、より長距離にわたって安全に走行できる自転車ルートを生み出すことができる。本調査では、このように主要な自転車ルートを連携すること、あるいは連携して生み出された広域にわたる自転車ルートのことを「サイクル・リンク」と名付ける。

これまでの自転車ルートは道路管理者等が現場対応で整備を進めてきたきらいがある。それに対し「サイクル・リンク」は、より上位のマスタープランとして位置づけられ、明確な目的を持って広域的に整備されることが望ましい。サイクル・リンクは常に自転車利用者の視点から検証されることで、自転車利用者に必要な施設（休憩所など）や、既存の施設（名所、近隣のコンビニエンスストアなど）との連続性も考慮に入れたものとなる。それらの要素がわかりやすいサインシステムによって自転車利用者がアクセスしやすいような配慮がなされる。大規模自転車道の主な利用イメージを柱にサイクル・リンクを構築すると、「自転車を使った観光」というジャンルが浮かび上がってくる。これは欧米の都市に見られる、いわば「都市型」の自転車ネットワークに対して、サイクリング利用者を主なターゲットとした「地方型」の自転車ネットワークだといえよう。



日本における不連続な事例（その1）



日本における不連続な事例（その2）

サイクル・リンクを構築するためには、自転車ルートでのミッシングリンクを解消することが課題となるが、欧米のケースにならうと、必ずしも新規に道路施設を設置しなくても、既存のルートから開拓して連続性を確保できる場合が多いと考えられる。マスタープランに基づいた現地検討をおこない、不連続部分＝ミッシングリンクを特定できたら、接続部分の一部構造の改善、自転車ルートの連続性を示すサインの設置や既存サインの改善・統一といった、具体的な手法を現場対応で開拓するという流れが考えられる。

サイクル・リンクを構築するためには、まずその目標を明確にし、行政の各セクションを横断的にまたいだ検討をおこなう体制を作る必要がある。言葉のあやになるが、いわば行政セクション相互のミッシングリンクの解消をすることが必要である。そして市民や民間セクターとの連携を軸に、人々の意識をつなぐことから始めなければならない。

自転車マップによる情報の提供と共有化

サイクル・リンクの基本は自転車走行環境としてのミッシングリンクの解消にあるが、その発展形、あるいはすぐにできる現実的な方策として、自転車を活用したモーダルミックス（公共交通等を含む、異種の移動手段の組み合わせ）による移動の快適化が考えられる。その推進のポイントは、サイクリングブームの流れで自転車活用を実践している愛好家のみならず、長距離走行に慣れていない人の自転車活用を推進するため、必要な情報を提供することにある。

東京では2006年に「東京自転車グリーンマップ」が市民活動により制作された。その特徴は、東京都心部が自転車による移動に適したスケールを持っていることをアピールし、自転車活用に必要な情報

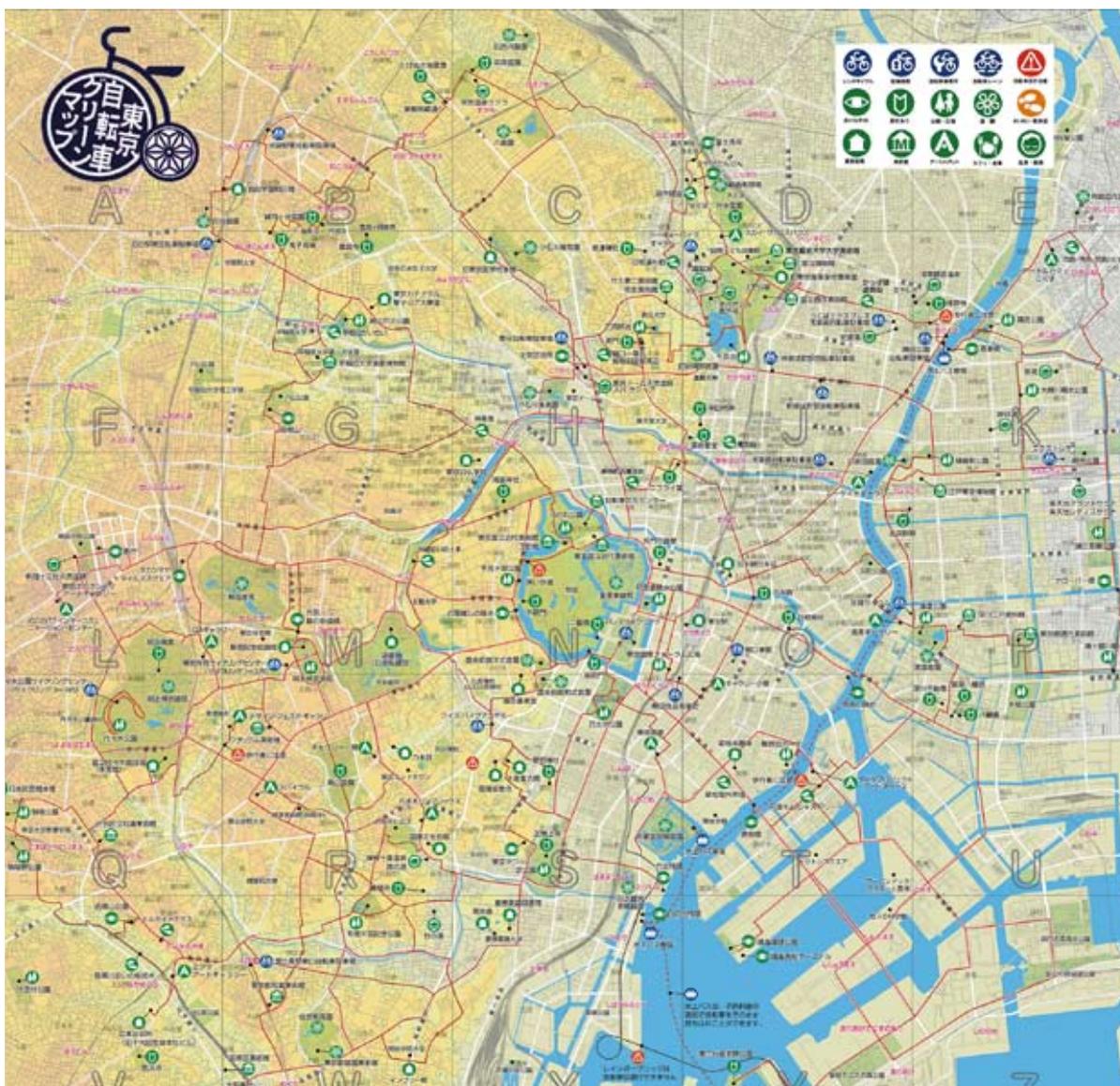
をハンディなマップにまとめたことにある。安全で快適な自転車走行に適した自転車ルートが赤線で示されているが、これは自転車レーンの整備が不完全な現状に対応し、主に裏道を活用したルートがネットワーク化されたものである。裏道は地元の人しかわからないので、利用者から提供された情報をまとめて作られたのが特徴で、印刷版とオンライン版で提供された。そのほかレンタサイクルや自身の自転車で訪れるのに適したスポット情報がアイコンで表示されており、「休日に都心を自転車でめぐる観光」という新しいジャンルが提示された。

2013年現在、東京自転車グリーンマップの発展形としてクールシェア事務局（東京：代表堀内正弘）が環境省と連携し、「シェアマップ」〈<http://sharemap.jp>〉を制作中である。シェアマップはパソコンのみならず、スマートフォン（ 아이폰やアンドロイド）にも対応し、電波の入るところであれば全国各地で使用可能である。クールシェア・ウォームシェアに関連する情報に加え、自転車ルート、公共交通、徒歩ルートを連携させて収録することで、着地型観光のプラットフォームとして展開される可能性もある。

シェアマップなどの活用により、自転車ルート of 情報を一部の愛好家だけのものにせず、一般の人が自転車により長距離の移動をおこなうための情報として提供することを目指したい。また、自転車専用道や自転車レーン、レンタサイクルといった自転車環境の整備状況を共有するためのプラットフォームとしての活用も見込まれる。



「シェアマップ」の検索画面



東京自転車グリーンマップ印刷版 (2007年)

本調査研究の概要

(公財)日本サイクリング協会では、平成24(2012)年度自転車乗用に関する調査研究事業を実施するに当たり、テーマを「『着地型観光』に資するサイクリング活用方策の調査研究」と定めた。この「着地型観光」の指し示す中身については、プロローグを参照願いたい。本委員会が「着地型観光」における自転車の役割に着目したのは、主力となる個人旅行や家族旅行など少人数の旅行において、自転車が現地の移動手段に最適であると判断したからである。

少人数の旅行における移動手段に適したものは？

移動手段として、まず思い浮かべるであろう自家用車やレンタカーは機動力が高く、短時間で効率的な移動ができるという特性を有している。ただし、そのつど駐車場を確保しなければならないし、同乗者はともかく運転者は運転に気を配らねばならぬため、移動の最中に景色をじっくりと眺める余裕はない。機動力の高さが、あだになっているわけである。また、高齢者や運転に不慣れな人は、見知らぬ土地での運転に不安を感じることもあろう。

そもそも運転免許証がなければ利用できないというのは自明の理である。少子高齢化や若年層における運転免許保有率が低下傾向にある現状を踏まえれば、近い将来において免許証を保有しない層が一定数生まれることを軽視すべきではない。

現地でレンタカーを借りる場合はアクセスに公共交通機関を利用することとなり、自家用車と比べて身体的&精神的負担が軽減する。その一方で経済的な負担は大きい。ならばと現地での移動にも公共交通機関を利用しようとする、その運行ダイヤに自身の行動が制約されることを痛感させられる(「着地型観光」の先進事例として、主だった観光スポットを巡るシャトルバスを運行している地域もある)。それが自転車であれば時間に追われたり移動するエリアやコースを限定されることはなく、気持ちの赴くまま自由に行動することができる。主だった観光施設であれば駐輪に困ることもないはずだ。

観光地におけるレンタサイクルの理想と現実

自動車と比べて機動力は劣るものの、それでも5~10km程度であれば車種を問わず走行可能なうえ、自転車に乗ることそのものが見知らぬ土地においては楽しみとなり、移動の最中に眺める土地の光景に特別な価値を見いだすこともある。しかも、それがレンタサイクルであれば自宅から現地までわざわざ自転車を運ぶ手間はなく、誰もが気軽に自転車の恩恵に与ることができる。

このようにいいこと尽くめに思えるレンタサイクルも、現実にはさまざまな問題をはらんでいる。まず、公設の施設によく見られるのが、回収した放置自転車を無料もしくは低額で貸し出ているというもの。もちろん利用する側にとって「安いに越したことはない」という考えもあろうが、そこには「金をかけて処分するくらいなら、多少手直しを施したうえで再利用したほうがいい」との施設側の思惑が透けて見える。整備にシルバー人材などを活用しているといっても、もともと放置されているものゆえ品質は低く、軽快な走りなど望むべくもない。貸すほうも借りるほうも「下駄代わり」と捉え、そこに甘んじていると言わざるをえない。また、整備も専門家によるものではないため、安全面で十分かどうか疑問の余地もある。実際、かつて本委員会が実施した調査においては、ブレーキの効きが甘く、いざというときに不安を感じる事例も散見された。

レンタサイクルの実情を把握し、先進性がある事例を紹介

本委員会では観光庁や関係諸団体の協力を得て、全国のレンタサイクル、および海外の事例についてデータを収集。それを一覧にまとめて巻末に掲載した。そして、参考にすべき先進性がある事例を抽出し、それを「ツアー企画に先進性がある事例」、「レンタサイクルに用いられる自転車に先進性がある事例」、そして「その両者を併せもつ先進事例」の3種類に分類。そのうえで実地に調査し、詳しくレポートした。さらにインバウンド（外国人旅行者を自国へ誘致）に積極的に取り組んでいる愛媛県と「フジトラベルサービス」、「静岡県サイクルツーリズム協議会」の担当者に取材。これまでの経験を踏まえての留意点をうかがった。

続いて海外での導入事例が注目を集め、日本国内でも導入が始まりつつあるコミュニティサイクル(特定のエリア内に自転車の貸し出し&返却ができる場所を複数設置し、相互の乗り捨ても可能とした新しい交通システム)を、国内の事例と海外の事例をあわせて紹介。自転車が日常の足となっている日本には、自動車から自転車への転換を図るにあたり、さらなる検討の余地があることを示した。加えてコラムとして、①スポーツサイクルをレンタルする際の注意点、②導入事例が増えている電動アシスト自転車に関するよもやま話、③一般の方を対象に「自転車セミナー」を開催している「日本自転車普及協会」の取り組みなどについて掲載した。

ツアー企画に先進性がある事例

レンタル自転車と女性の自転車観光誘致策（紀の川エリア）

和歌山県北部を東から西へと流れる紀ノ川。河口はレジャー施設が並ぶ和歌山マリーナシティでにぎわい、同時に漁港でもある和歌浦、流域は四季折々のフルーツが実る国内トップクラスのフルーツの産地が広がり、さらに上流に遡れば、慈尊院など世界遺産に指定された史跡が点在する歴史深きエリアが広がる、観光資源の豊富なエリアだ。関西空港からのアクセスもよく、クルマで陸路をとれば、大阪から近いにも関わらず、あまり知名度が上がらない現状への打開策として、自転車を起爆剤とした観光誘致策に力を入れている。

このエリアではここ数年、飛躍的にレンタサイクルの環境整備が進んだ。紀の川市は市民の健康管理策として、有名ブランドのクロスバイクを10台購入。自転車イベントなどを中心に貸し出している。和歌山電鐵の「たま自転車」、貴志駅の「いちご自転車」（別項で紹介）に加え、岩出市～紀の川市を管轄する和歌山県的那賀振興局が、本格的に自転車施策に乗り出した。行政や鉄道、農協や地元の紀の川サイクリングクラブ（KCC）を構成員とする「紀の川エリア観光サイクリング推進協議会」を立ち上げ、



ずらりと並んだダホン製折りたたみ自転車



参加者はスタート前に自転車の扱いのレクチャーを受ける

18段変速の折りたたみ小径車と輪行袋を15セット購入。平成24年からはJR和歌山線の粉河駅、岩出駅、和歌山電鐵貴志駅を3つのステーションとし、相互乗り捨て可能な形でレンタルをおこなっている。レンタサイクル事業の実施主体は推進協議会だが、自転車の実際の管理、運営はKCCが大きな部分を担っている。レンタサイクルを利用するためには、前々日までに電話で予約をし、1日1000円、半日（4時間）500円という利用料金を支払う。他のステーションに返却をする際は、1000円のサービス料が必要となる。那賀振興局はKCCら協議会の協力を得つつ、紀の川エリアの広域サイクリングマップを作成し、配布をおこない、現在はレンタルステーションを始発点とした推奨サイクリングルートマップを作成中である。エリアまでのアクセスのほか、輪行によるエリア内の移動に鉄道を用いながらスポットを巡る形の観光を精力的に提案している。

自転車を使った観光振興策成功のカギを握る存在として捉えているのは女性たち。女性たちが観光産業を支えていること、お土産などの買い物も期待できること、家族や新たな仲間を連れてきてくれることなどを期待していることだ。スポーツ自転車の経験がない層も含め、女性たちが魅力を感じ、このエリアのファンとなり、リピーターになってくれることを目指している。

そこで平成24年10月、女性のみを対象とした1泊2日の自転車女子会が企画された。1日目は粉河駅で集合し、スポーツバイクの乗り方のレクチャーを受け、練習した後は紀ノ川沿いの安全に走れる



直売所で地元特産の柿ふるまいも



一日の走行の終わりには、おいしい料理が待っている

道をメインのルートとし、東へ向かうコースへ出発。道中に有名店のそばを食べ、街頭で販売されている柿を試食し、菓子店に立ち寄ってスイーツを購入。それを町の休憩所で食べるなどローカルに徹したルートを巡り、途中駅から粉河駅まで輸送。駅近くの老舗旅館に宿泊した。2日目は和歌山方面を目指し西に出発。道中に地元の塗物店で休憩して特産の備長炭スイーツを食べ、買い物を楽しんだ後は和歌浦の海産物施設で海の幸を購入し、バーベキューをおこなった。午後は周辺を散策して海の景色を楽しみ、マリナーシティーで解散というスケジュールであった。華やかな立ち寄りスポットがあるわけではないが、KCCの協力もあり、細い路地や農道など地元のサイクリストしか知らないようなルートが含まれ、景観も変化に富んでいたこと、地元の味覚を楽しめたことで、満足度は非常に高かったようだ。輸送が必要で、不慣れなスポーツバイクでの移動も含まれることから苦戦する参加者の存在も懸念されていたが、完全なビギナーや高校卒業以来15年以上も自転車に乗っていないというような参加者も、「自転車がこんなに楽しいとは思わなかった」と口々に語り、大いに自転車の旅を楽しんだ。

那賀振興局は平成25年も、女性たちの体力でも楽しめ、女性たちの感覚で魅力を感じてもらえるようなルートを提案するため、レンタサイクルを貸し出して女性をメインの対象としたモニターサイクリングを実施。アンケートを取りながら、自転車観光促進へのよりよい提案に結び付けるため検討を続けている。

宿泊施設の不足など課題は残されているが、今後もこの地域では豊富なレンタサイクル資源を活かし、イベントの開催や自転車観光を促すウェブサイトの制作、ルートマップの配布などの施策を打ち出しながら、地元の観光資源を活かす自転車観光の振興に力を入れていくそうだ。



自転車を担いでいちご電車に乗り込む



2日間たっぷり自転車を楽しんだ参加者は笑顔でいっぱい！

「道のり」そのものを楽しむ「散走」を提案（オーブ南青山）

泉岳寺までポタリング

自転車パーツメーカーのシマノによるアンテナショップ「オーブ」が提供する自転車ガイドツアーが「散走（さんそう＝散歩するように自転車で走る、の意）」だ。南青山店での同ツアーの年間参加者数は約 250 人と少なめだが、その分濃いツアー体験を提供しようとさまざまな企画を用意している。

今回体験したのは「忠臣蔵！討入ナイト散走」。赤穂浪士が吉良邸に討入りをおこなった 12 月 14 日、四十七士が祀られている東京・品川の泉岳寺では祭事がおこなわれ、多くの出店もある。オーブ南青山から泉岳寺までは直線距離でわずか 3～4km。いささか物足りない印象だが、散走では自転車で走る「道のり」そのものを重視する。走行距離はそれほど重要ではないのだ。



オーブ南青山のロビー

仕事帰りの女性が大半

ナイト散走ということで午後 7 時に集合。参加費 5000 円（自転車レンタル、保険料込み）を払い、ツアーの簡単な説明を受けた後で出発する。レンタルされるのはこのほか、ヘルメットにグローブ、スソ止め。今回の参加者数は 10 人で、ガイドが 3 人同行する。

夜間走行なのでクルマや歩行者に注意しつつ、車道左側走行の原則を守って走る。外苑東通りや裏路地などを経てほどなく泉岳寺へ。ここで参加者は 1 時間ほど自由に過ごす。ガイドは参加者に話しかけたりして、退屈させないよう気を配る。

ふだんは閑散としている泉岳寺だが、当日ばかりは参詣者でにぎわっており、まさに祭の様相を呈している。「歴女（れきじょ）」と思いき若い女性の姿も目につく。参拝や屋台での飲食が済んだら、行きとは別のルートで帰路へ。麻布十番や街路樹のイルミネーションがまぶしい六本木ヒルズを通過して無事到着した。

この後、参加者とガイドを交えての歓談タイムへ。手ぶら参加なのでアルコールも OK だ。この日の参加者は仕事帰りの女性がほとんどで、参加しての感想にとどまらず、世間話などで話が盛り上がっていく。リピーターもおり、散走が仲間との交流の場となっている。

散走プランナーの中村規（ただし）さんは散走について、「街並みやランチの時間、史跡や芸術の鑑賞などを含めた『道のり』そのものを楽しむのが目的。サイクリングでは目的地や走行距離などの達成感を求めがちだが、自転車の魅力は実はそれにとどまらず、例えば走りながら街並みを楽しむとか、ランチやスイーツを楽しむこともできる」と話す。



交差点で信号待ち



参詣者でにぎわう泉岳寺



LED ライトアップを眺めながら散走

自転車でおもしろがる

散走の開催地は都内にとどまらず、過去には鎌倉や房総半島、伊豆大島、安曇野などでも行ったことがあるという。遠い場所での開催も、参加者は手ぶらで現地集合すればよい。気になる場所に寄り道できる自転車の特性を活かして、「街をおもしろがる」機会を参加者に提供しているのが散走だ。

そして参加者同士の交流を重視しているのも特徴だろう。屋台エリアなどで滞在したり、ゴールしたらそのまま解散ではなく、今日の思い出を振り返る歓談タイムを設けたりなど、自然と参加者同士で話になる機会をさりげなく設けている。年間参加者数のうち 100 人ほどがリピーターとのことで、散走での交流を楽しみにしている人も多いことだろう。

オープの事例がそのまま他で応用できるかどうかは判断が難しいが、「走行距離にこだわらず、街の



レンタル車は自動変速機能を搭載



参加者にはおみやげに「切腹最中」をプレゼント

魅力を自転車で楽しむ」、「参加者同士の交流を演出する」という要素は、他のガイドツアーにおいても参考になるのではないだろうか。

〈調査実施日〉

2012年12月14日

〈走行距離〉

十数km

〈主催者URL〉

<http://www.ove-web.com/minamiAoyama/>

長瀨をフィールドに、初心者からエリートライダーまで対応 (Blss)

本格的なMTBガイドツアー

Blss (バイクライフサポートシステム) は、2009年から埼玉県長瀨町を拠点に、MTBで林道やシングルトラックといったオフロードを走る本格的なガイドツアーを実施。川下りで有名な長瀨だが、秩父山地に位置し、町の四方を標高400～500mの山々に囲まれた同地はMTBライドの好適地で、以前からライダーが林道サイクリングを楽しんでいる。

今回体験したのは「MTB初級半日ツアー」で参加費は5500円(自転車レンタル・保険料込み)。貸し出されるのはトレックのフルサスペンション仕様の本格的なMTB(08年モデル)で、ヘルメットと



長瀬駅。Blss のオフィスは駅から歩いて数分

グローブも一緒に貸してくれる。ちなみに中級コース以上になると、リピーターが自転車を持ち込んでの参加がほとんどという。

急坂の林道を走るため、ブレーキ操作の仕方やサドルの高さの調整など、事前のレクチャーは入念におこなわれる。特に重要なのは乗車時の姿勢で、ペダルをこぎながら路面や障害物などに応じて前後左右に体を動かすトレーニングを繰り返した。

急坂の林道を下る

準備が整ったら MTB をワンボックス車に積み込み、山の中腹に向かう。走る約 10 分、市街地を見渡せる林道の取り付け口がスタートだ。ガイドで Blss 代表の岩瀬信彦さんの先導の下、さっそく林道をダウンヒル。林道はクルマ 1 台分ほどの幅があり、比較的整備された印象だが、勾配はところによっては 10% 以上にもなるほか、途中でシングルトラックとなったり路肩が不安定だったり、浮石があったりとスリリングだ。眺めのいいところで小休止をはさみながら、30 分ほどかけて約 5～6km を走った。

初級コースは MTB 初体験の人でも参加可能で、その場合はさらに時間をかけて下っていくという。油圧ディスクブレーキは引きが軽く制動力も強いが、その分急坂で安易にフルブレーキングすると転倒する恐れがある。「軽くブレーキを引きながら、前のめりにならないよう、ペダルに重心を預けるように走ります」と岩瀬さん。岩瀬さんは元 MTB ダウンヒル選手。走りながら前輪を浮かして浮石を道路脇にはねるなど、安全確保に抜かりがない。

林道終点に到着後、待機していたクルマで再びスタート地点に上がり、同じコースの 2 本目。今度



スタート地点に到着



眼下に長瀬町を望む



記念撮影

は体の緊張もややほぐれ、最初よりも早いペースで下ることができた。

1年の3分の1はコース整備

事前のレクチャーと走行時のていねいなサポートのおかげで、今回の体験を通じて特に不安を感じるような場面はなかった。岩瀬さんは「MTBのガイドツアーは、他の地域になかなか広がっていかない」と語る。事故を予防する高い技術、自転車やコースの整備などの準備が必要だからだ。元選手だからこそ、サービスの水準を維持できているのだろう。

走りやすいコースの維持には倒木の片付け、路面の排水、事前走行といった作業がどうしても必要になる。特にハイシーズンの7～9月に入る前は入念におこなうそうで、路面整備のために1年の3分の1を費やしている。また、公道ではない林道を使用するため、行政や地権者との良好な関係も大事だ。長瀬では以前からライダーがこうした関係作りをおこなっており、同ツアーがおこなえる下地となっている。

1日にガイドする人数は最大6人で、年間参加者数は約600人。ハイシーズンは満員となることも多い。運営スタッフは、岩瀬さんを含め2人。長瀬は夏に観光客が集中するが、岩瀬さんは「秩父鉄道のサイクルトレインは週末だけだが、平日も解禁してくれるとありがたい。1年を通して観光客が来るようになれば」と話す。

本事例は元MTB選手ならではのツアー内容とみることもできるが、円滑な運営のための関係作りや入念な機材やコースの整備が、参加者の満足につながっている好例といえよう。

〈調査実施日〉



レンタル用 MTB。ダウンヒル対応の本格的な車両だ



コースを先導する岩瀬さん

2013 年 4 月 1 日

〈走行距離〉

十数km

〈主催者URL〉

<http://www.blss.cc/>

奥多摩～青梅乗り捨て可能なレンタサイクル（トレックリング）

2011 年 11 月、奥多摩駅から徒歩 1 分という場所に「トレックリング」というレンタサイクルショッ



店内に所狭しと並ぶレンタサイクル



身支度を整えていざ出発！

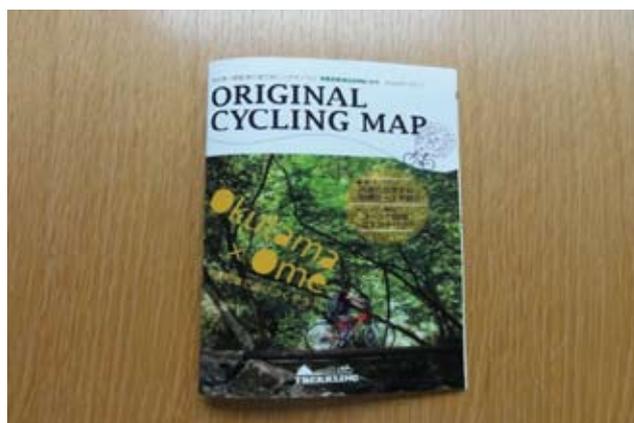


国道や幹線道路を避けて走るオリジナルコース

ブが誕生した。東京都に位置しながら、小旅行気分で森林浴やハイキング、溪谷といった自然豊かな土地を楽しむ奥多摩。サイクリングという観点からしても、付近には豊かな自然景観や魅力ある立ち寄りスポットが多く、個々のレベルに合わせ、さまざまなルートが取れる好立地だ。トレックリングには青梅に提携自転車店が2店舗あり、奥多摩の店舗から青梅まで20kmほど下り基調のルートでサイクリングを楽しんだ後は、この提携店に自転車を返却できる。便利さも支持を受け、利用は非常に好調。開始1年目で1800人の利用があったというが、その後も順調に利用は増え、今年度(2～4月)は、前年比2.5倍の利用客があったという。土・日・祝日のみの営業としているが、最近は要望を受け、平日に営業することも増えた。

そもそも奥多摩、青梅は観光地であり、自転車を趣味とする店長、沼倉氏は奥多摩～青梅を下り、乗り捨てできるレンタサイクルサービスの需要はあると感じていたという。地域にも貢献できると確信し、他事業をメインとする沼倉氏にも実現可能な土・日・祝日のみの運営形態でスタートをしたそうだ。青梅市内の自転車店に声をかけ、理念に共感してくれた現在の2店舗と提携を組み、営業をスタートさせたという。提携店へのメリットとしては、事業に使用する機材や備品の購入、自転車のメンテナンス料の支払いと、1台ごとの返却手数料。さらにはトレックリングがメディアで取り上げられる際には提携店舗の名称を紹介するなど、パブリシティ面でのメリットが生じるような配慮もしているそうだ。

店舗が保有するのは、電動アシストのクロスバイクが6台、電動アシストの小径車が9台、MTBが8台、29インチのMTBが1台、サスペンション付きクロスバイクが10台、クロスバイクが5台、ミニベロのロードレーサーが3台の合計42台。趣向や体力に応じ、選択できるようになっている。いずれもきちんと整備された、新しい自転車だ。料金は電動アシストバイクが1日あるいは提携店乗り捨



利用客に提供されるオリジナルマップ



多様なテーマを設け、参加者のニーズに応える

の場合 3000 円～ 3500 円、3 時間まで 2500 円、クロスバイクと MTB も、1 日あるいは乗り捨ての場合 2000 円、3 時間まで 1500 円。前日までの予約を必須としている。貸し出しに際しては安全面への配慮を怠らず、利用客には自転車の交通ルールや自転車の乗り方、操作方法をレクチャーし、危険箇所などの情報を伝えてから送り出す。ヘルメット着用を義務とし、無料の貸し出しもおこなっている。万が一の事態には、TS マークの付帯保険を適用させ対応する。土地勘のないビギナーでも安全にサイクリングが楽しめるよう、利用客には A5 サイズ見開き 18 ページのオリジナルマップを提供している。基本となるのは乗り捨て可能な奥多摩～青梅の行程だが、美術館や博物館に多く立ち寄るコースや、溪流や切り通しなどへの散策も含まれる自然を満喫できるコース、まず青梅まで下ってから周遊するコースなどいくつかのモデルコースを提唱している。実はこれらは沼倉氏自らが付近を実際に走行、およそ半年の調査を重ね、交通量の大きい国道や幹線道路を避け、作成したもの。店舗のウェブサイトでは画像を多用し、わかりやすくコースを紹介。サイクリングの習慣がなくとも意欲をそそられるような PR をおこなっている。

現在、スタッフはメインとなる 2 名と土・日・祝日となる 4 名の計 6 名。全員で日常的な自転車の整備をおこない、専門的なメンテナンスは提携自転車店に依頼する。返却された自転車は車を出して回収に行くという。事業規模はそれなりに大きいが、営業を土・日・祝日のみに絞り、利用者目線で情報やサービスを提供した結果、成功に結びついたのだろう。

利用客が特に増えるのは、新緑の 5 月、夏休みと紅葉の季節。20 代～ 40 代がメインの年齢層であり、カップルや仲間での利用が多いという。もともとアウトドアに興味があり、クロスバイクや MTB に挑戦してみたいという動機から訪れる利用客も多い。現在もイベントなどを開催しているが、登山などの



サイクリングプラスαのお楽しみも盛りだくさん



変化に富んだ道のりは、飽きることがない



走り終えた参加者たち。まだまだ元気いっぱい

アクティビティと融合させたり、奥多摩の自然をより満喫できるようなイベントの企画も構想中。すでに地元自治体とも協同の可能性を探っており、今後は奥多摩～青梅でサービスを確認させ、このノウハウをレンタサイクルやサイクリングを通じ、全国の街づくりに貢献していきたいという。自転車未経験者が身一つで行っても快適なサイクリングが楽しめるレンタサイクルサービス。新宿から1時間40分というアクセスで自然を体感できるという好立地もあり、今後も利用客を増やしていくことだろう。

レンタサイクルを組み込んだパックツアー（しまなみ 手ぶらでRail&Cycling）

『しまなみ 手ぶらで Rail&Cycling』とは、後述するジャイアントストア今治のレンタサイクルに、京阪神地域と愛媛県の今治市や松山市を結ぶ交通機関と今治市内の宿泊施設とを組み合わせたもの。レンタサイクルが通常の半額になることを筆頭として、交通機関や宿泊施設の料金の総計で比べた場合、通常料金 8 万 8800 円が 6 割強の 5 万 6600 円となるなど、非常に魅力的な商品となっている（2 名でベーシックプランを利用し、アルミのロードバイクをレンタルした場合）。個人型と銘打っているだけあって一部のプランを除いて 1 名から、しかも 3 月 30 日までの期間限定ながら通年で利用可能となっている。このようにレンタサイクルに着目した先駆的なツアー商品ということで、この商品を企画した四国旅客鉄道営業部商品企画課の山田桂さんに話をうかがった。

取材した 11 月時点での売り上げ実績は 3 件ほどと、残念ながらせっかくの魅力が伝わっていないようである。宣伝がインターネットとチラシのみに、販売の窓口もリブ／ジャイアント大阪と JR 四国ワーブ梅田店の 2 カ所に限られていることが、その要因ではないかと思われる（インターネットでの販売もあり）。ただし JR 四国では社員を対象とした商品も作っていて、こちらの利用者は 30 名ほど。発着を四国島内の任意の駅とすることで、使い勝手をよくしたことが功を奏しているようだ。同社では同様のプランを、一般向けに販売することも検討している。

『しまなみ 手ぶらで Rail&Cycling』は、岡山までの新幹線と四国内の在来線特急をつないだ単純な往復ではない。帰りを松山まで電車で移動してからスーパージェット（高速船）で広島に渡り、そこから新幹線を利用するというラウンド（周遊）型にしている。鉄道に船舶が加わることで行程に変化が生ずるだけでなく、松山まで旅の訪問地が広がるため、旅の中身はさらに充実。時間に余裕さえあれば、途中の広島を巡ることも可能だ。

また、交通機関と宿泊以外はフリーとなっているため、利用する個々人の要望に応じて中身を自由にアレンジすることもできる。追加料金を払っての延泊はもちろん、レンタサイクルで向かう先も、何もしまなみ海道に限る必要はない。今治市の近辺にある観光地や史跡（今治城やタオル美術館 ICHIIHIRO、四国八十八箇所の札所など）を巡ってもいいし、今治港から瀬戸内海に浮かぶ各島とを結



『しまなみ 手ぶらで Rail&Cycling』のパムフレット

ぶフェリーや旅客船、高速船に乗り、しまなみ海道以外の島を訪ねてもいいだろう。訪ねた先の島では、レンタサイクルの機動力が大いに発揮されることになる。

ちなみに、このエリアにはサイクリングの観光客を対象とする運賃割引カード「せとうちサイクルーズ PASS」が用意されており、発行手数料無料のカードを提示するだけで5～50%もの割引が適用される。

このようにレンタサイクルを活用した旅行商品として先駆的な中身を伴うものであるだけに、宣伝方法や販売方法を見直したうえで、リニューアルを図ってもらいたいものである。



松山駅と観光港を結ぶバスは、胴体下部に収納スペースが



松山と広島を1時間で結ぶ高速船



路面電車が発着する停留所は、広島港に隣接する

自転車に先進性がある事例

絵本の世界から飛び出した（たま自転車&いちご自転車）

和歌山電鐵貴志川線は、駅の売店で飼われていた三毛猫の「たま」を駅長に任命し、それが多くのメディアに取り上げられたことで、一躍全国でも有数の人気の路線となった。「たま駅長」をモチーフとした「たま電車」は、外装だけでなくインテリアの細部にまでこだわっており、「いちご」が随所にあしらわれた「いちご電車」やガチャガチャを搭載した「おもちゃ電車」は、家族連れや鉄道ファンに今も大好評だ。

伊太祈曽駅では「たま駅長」をモチーフとした「たま自転車」のレンタルを、「たま駅長」がいる貴志駅前にあるカフェでは、いちごをイメージした「いちご自転車」（口絵に写真を掲載）のレンタルがおこなわれている。いずれも小径車を使用。子供や女性が好むかわいい見た目に仕上げられた自転車はディスプレイとしても優れており、注目を集めている。

「たま自転車」を貸し出す伊太祈曽駅周辺には、有名な神社など見どころも多い。伊太祈曽駅を中心とし、魅力ある立ち寄りスポットを紹介したサイクリングマップを用意し、神社への参拝の足としての利用や、近隣の公園、農産物直売所、フルーツ狩り、カフェ巡りなどを提案している。利用料金は4時間まで100円、4時間以上200円と非常にリーズナブル。20台がそろえられているが、特に人気のある春の行楽シーズンには出払うこともあるという。多くの利用者が4時間以内で返却することから、ごく近隣の周遊への利用が多いようだ。

貴志駅前にあるカフェで貸し出される「いちご自転車」は赤と白を基調とし、カラーパーツを用い、いちごをイメージしたアクセサリなども付けて女性好みのかわいいバイクに仕上げている。台数は15台。レンタル料は1日800円、半日で500円だ。このカフェの看板商品である採れたての素材を用いたお弁当やドリンクが付いたプランや、後部にチャイルドシートを搭載し親子でサイクリングを楽しめる自転車なども用意されており、温かみのある運営がなされている。このカフェは、20ページで紹介している紀の川エリア観光サイクリング推進協議会の折りたたみ自転車も管理しており、観光マップなどを常備したサイクリングステーションのような役割も担っている。



かわいらしく仕上げたたま自転車



たま駅長のイラストがあしらわれている

「たま自転車」も「いちご自転車」も、ルックスだけでも人目を引くようなかわいい自転車に仕上がっており、人気路線に乗りに来た来訪客たちにプラスワンの感覚で、自転車を使った路線近隣の旅を楽しめるようにしている。絵本の世界に入り込んだような感覚で、鉄道と自転車の乗車を楽しんでいるファンが多いと思われる。人気路線の乗車だけでなく、近隣への散策という楽しみが増えることで、リピーター獲得の可能性も増すことだろう。鉄道×自転車の相互作用を狙った新しい試みと言えるだろう。

ロードバイクで「びわイチ」体験（びわ湖一周レンタサイクル）

アンカーのロードバイクを借りる

「びわ湖一周レンタサイクル」で貸し出されるのはクロスバイクとロードバイクで、貸し出しと返却はJR彦根駅から歩いて15分ほどの場所にある五環生活のオフィスで受け付けている。常備しているのはクロスバイクが20台、ロードバイクが5台（うち1台は女性用サイズ）。今回はブリヂストン・アンカーのロードバイクを借りた。

レンタルの利用には2日前までに予約（電話またはサイトから）が必要だ。レンタサイクルの整備は自転車安全整備士の資格を持つ専任スタッフが担当し、貸し出し時までには整備を実施する。レンタル料は1日2000円。また、故障時の乗り捨て費用として保証金（4500円、後述）も必要だ。レンタルオプションとしてサドルカバー（500円）、チューブやタイヤレバー、ポンプが同梱された救急セット（1000円）も用意されている。



レンタルしたブリヂストン・アンカーのロードバイク



簡単なコースガイド（A4判で1枚）つき。ヘルメットは無料。
サドルカバーと救急セットはオプションだ

確認書にサイン後、自転車のサドル調整と各部異常確認、事務所前の車道でのスタッフ先導による試乗を実施。ブレーキの効きやタイヤの空気圧、各部作動に問題はなく、チェーンなどからのきしみ、ゆるみなどもなかった。自転車の整備水準は高く、安心して乗っていただける印象だ。

ただし試乗時には気付かなかったが、パッチを当てたチューブを使用していたためか、走行時にごく小さいものであるがコツコツと周期的な振動が発生し、今回の2日間、200km以上にわたる乗車中にはそれなりのストレスを感じた。

北と南で天気と景観が変わる琵琶湖

琵琶湖は日本海側に近い北部と南部とでは天気が異なることも多く、特に北部は冬期に降雪や路面凍結に見舞われるという。そのため、びわ湖一周レンタサイクルの実施期間は通年だが、特に湖北地方は12月から2月はサイクリングにはまったく適さない。今回走った11月中旬という時期も、サイクリングの季節としてはほぼ終わりに当たり、実際に冬の雷や冷たい雨に遭遇した。

琵琶湖を一周すると約200km以上に達する。サイクリングロードは湖の東部と南部で整備が進み、その他では車道を走ることになる。荒れた路面はなく、琵琶湖サイクリングコースを示す標識がところどころに立っている。

基本的には湖に沿って平らな道を走るが、北部では峠やトンネルもある。また風景も、観光地化が進みホテルが立ち並ぶ湖南（大津市）、田園風景が広がる湖東（彦根市ほか）、ひなびた集落が残る湖西（高島市ほか）、湖岸まで山が迫る自然豊かな湖北（高島市・長浜市）と変化に富む。今回、北部の別荘地



湖北・賤ヶ岳付近。路面がぬれている。この後雷に遭遇



標識の一例（大津市内）

付近では道路のそばまでニホンザルが出没した。また、湖岸を外れれば安土城や近江八幡の古い町並みなど、名所・旧跡も楽しめるだろう。

今回の調査はシーズンオフ間際で冷たい雨にも遭遇したのはつらかったが、路面状況はおおむね良好で、気候と風景のダイナミックな変化が楽しめた。湖岸を一周するサイクリングコースはところどころ整備が途切れているような印象があり、これが1つにつながればより走りやすい。湖北・湖西地方ではコンビニなどの休憩ポイントがやや少ない。

デポジット4500円は回収コストから算出

スポーツサイクルレンタルの利用者数は月に90台ほどで、夏は学生の利用が多い。外国人観光客の利用もある。盗難事件、全損事故ともにゼロだが、リヤディレーラーハンガーの折損事故が1件あったとのことだ。

事故や故障などによって自力走行ができない場合、自動車による回収がおこなわれる。預り金（デポジット）の費用は、回収に要する時間や人件費などから算出している。今後は預り金ではなく、一律に500円を保険金として徴収して、プールした金額から回収費用を確保することも検討しているという。

リピーター誘致が課題

レンタルにおける車種の構成はクロスバイク：ロードバイク＝3：1。ロードバイクを借りる人の中には、購入前に試乗したいという人もいるそうだ。中級レベルのサイクリストが、ロードバイクの良さを知ってもらおうとサイクリング初心者連れてやってくることもあるという。

また、20～30代女性の利用が増えているのも最近の特徴だが、これはどうやらマンガ「弱虫ペダル」の影響もあるらしい。こうしたニーズに対応するため、五環生活では女性サイズのロードバイクも1台用意している。

今後の課題はリピーターの誘致。スタッフによれば「われわれに限らず、琵琶湖観光全体にとってのテーマ」であるという。「手ぶらで来て、楽しんで帰ってもらい、また来たいと思えるようなサービスを提供したい」。そのためにたとえば、琵琶湖周辺でのサイクリングを楽しみたいというサイクリスト



コースには魅力的な路地もある

の愛車を宅配便で受け入れ、有料で整備をおこなったり、あるいは折りたたみ自転車を導入するなど車種を増やしたりすることなどを検討しているようだ。

湖東地方を走る近江鉄道はサイクルトレインに対応しており、湖を横断するフェリーを使えばビワイチのショートカットも可能だ。同 NPO では、こうした交通インフラを組み合わせたサイクリングの提案もおこないたいとしている。

〈調査実施日〉

2012 年 11 月 14 日（水）～ 15 日（木）

〈走行距離〉

200km以上

〈主催者URL〉

<http://gokan-seikatsu.jp/>

谷根千・上野をポタリング！（トーキョーバイクレンタルバイク）

必要十分のシンプルなバイク

トーキョーバイクは台東区谷中に拠点を構えるスポーツバイクブランドだ。「山を走るのが『マウンテンバイク』なら、東京を走るのが『トーキョーバイク』だ」という発想から作られた自転車はきわめてシンプルな構成だ。たとえばドロヨケは装備していない。また、街中を走るのだから変速数も少なくていいと割り切り、フロントディレーラーもない。

一方、フレームカラーはポップな単色が選べて、オシャレなベルを取り付けることもできる。オプションの専用ドロヨケには色付きのものも。シンプルだが高級感があり、オシャレに乗れる。都内の移動には必要十分なスポーツバイクというわけである。自転車店のみならずスポーツ用品店などでも販売されており、若い人に人気が高いことがうかがえる。

そんな同ブランドではトーキョーバイクのレンタサイクルをおこなっている。単に同車の試乗というだけでなく、サイクリングやポタリングを楽しんでもらうのが目的というから本格的だ。貸し出し車は主力車種の一つ「トーキョーバイク 26」。シティサイクルよりは少し細い 26×1.15 インチのタイヤを履く、細身のクロモリフレームの実車はシンプルそのものだ。

驚くのはレンタル料金の安さで、平日・休日・時間を問わず一律 1000 円。デポジットも取らない。



トーキョーバイク谷中店



レンタル車両の「tokyobike 26」

盗難の恐れはないのかと思わず心配になるが「盗難・事故ともにゼロ」という。もちろんTSマーク整備を実施しており、万一の事故にも備えている。法定装備（ベル、ライト、反射板）のほかにワイヤキーを備えるが、その他のオプションはない。主な利用を谷根千地域のポタリングと割り切っているのだろう。ヘルメットやグラブ、スソ止めなどは持参した。

谷根千の街並みをゆるゆると走る

谷根千（谷中・根津・千駄木）地域は寺や古い家が密集し、今や観光地としても有名になった谷中銀座商店街では下町の雰囲気も楽しめる。上野公園が隣接するほか、少し先には東京スカイツリーもそびえる。

坂も多いこの地域をトーキョーバイクでゆるゆると走る。木造の古い建物や寺の門構えなどが続く細い路地に入っていくのも自由自在だ。おもしろそうなスポットがあれば、道端に駐輪してフラッと寄り道するのも楽しい。オシャレだが高級すぎないので気を使わずに済む。そんな「ゲタ感覚」でポタリングを楽しむのに、この自転車はもってこい。車重が軽く、パーツ構成と整備がしっかりしているので扱いやすいのも特徴だ。

ビワイチでは長距離を走るのが目的であり楽しいが、谷根千ポタリングでは狭い地域に見るべき街並みや発見が凝縮されているので、距離が短いことはまったく問題にならない。都市型サイクリングの楽しみといえよう。実を言うと最初はまったく期待していなかったが、トーキョーバイクの完成度の高さと谷根千のおもしろさで、今回のポタリングはとても楽しいものになった。



人でにぎわう谷中銀座商店街



気に入った場所にすぐ立ち寄れるのもポタリングの楽しさだ

年間600人の利用者

レンタサイクルの常備台数は6台で、週末は予約しないと借りられない状態という。月間利用者数は約50人で、年にして600人。同社は谷根千ポタリングに年間600人もの観光客を誘致していることになる。

成功の理由は、やはり谷根千という地域の特徴にあるだろう。交通量が少ない路地に、魅力的な街並みや観光スポットがある。そうした地域の回遊に、徒歩と並んで最適なのが自転車だ。そしてメーカーの強みでレンタルバイクのコンディションを維持できていることも大きい。沖縄・宮古島でやはりトーキョーバイクのレンタサイクルを利用したが（事業者は今回と別）、チェーンはギシギシ言うし、ハンドルはちょっと力を入れると左右に振れるしで、まったく整備がなっていないことに閉口したものだ。

1000円というレンタル料金の安さも見逃せない。平日は13時～19時、土日祝日は11時30分～18時まで時間いっぱい乗ってこの料金だ。免許の提示とサインが必要だが、そのうちに盗難事件が起こりはしないかと変な心配を抱いてしまう。

ともあれ、料金の安さは他の地域でまねするのは難しいにせよ、つねに最良の状態を維持できるように自転車を整備することは努力次第で可能なはずだ。びわ湖一周レンタサイクルもトーキョーバイクレンタルバイクも、この点で高い水準を維持しているので、スポーツレンタサイクルを観光客誘致に結び付けるには、この点は絶対に外せないと感じた。

〈調査実施日〉

2013年3月31日

〈走行距離〉

10 数km

〈主催者URL〉

<http://www.tokyobike.com/>

ロードバイクで「しまなみ海道」を走破 (ジャイアントストア今治レンタサイクル)

しまなみ海道へのアクセス抜群のレンタサイクル

2012年4月20日にオープンした「ジャイアントストア今治」は、まさに既存のレンタサイクルに一石を投じる試みである。店舗はJR予讃線の今治駅に隣接。ここはサイクリストにとって聖地ともいえるしまなみ海道の起終点となっていて、鉄道を利用して訪れた人がここでスポーツ自転車をレンタルし、そのまましまなみ海道を走ることができるという理想を実現している。駅前には500円/24時間の駐車場があり、クルマでアクセスした人にとっても便がいい。

最新のスポーツバイクが勢ぞろい

JR予讃線の高架下、駅に隣接したショップを訪ねると、フロアの奥にはレンタサイクルが勢ぞろい。台数は30台で、カーボンフレームやアルミフレームのロードバイク、同じくアルミフレームのクロスバイクをメインに、電動アシスト自転車と子供用自転車もそれぞれ1台ずつ用意されている。ちょっと少ないようにも思えるが、「増やすとメンテナンスが行き届かなくなる」ため、この台数に抑えている。



今治駅に隣接する「ジャイアントストア今治」



店内にずらりと並ぶ最新のレンタサイクル

オープン当初はすべて最新のモデルを用意。ロードバイクは試乗も兼ねているとのことで、カラーチェンジのみのモデルを除いて秋のモデルチェンジの際に入れ換え済み。オープンから継続使用のクロスバイクでも、まだ1年に満たないうえ、なによりきちんとメンテナンスされているため、その状態に新品と変わるところはない。なお、当初はサスペンション付きMTBも用意していたそうだが、しまなみ海道を走る人が大半ということで、今はすべてクロスバイクに変更されている。

万全のメンテナイスを施して貸し出す

アルミフレームのロードバイクを選んで貸し出しを希望すると、まずはメンテナンスの最終チェック。そこには「ベストの状態で貸し出そう」との心意気を感じられる。その間にこちらは必要書類に記入する。一連の項目の中には保険に関する項目も含まれており、盗難も補償の対象となることから、追加料金を払ってこちらも申し込む。ヘルメットの貸し出しも希望。もちろん無料である。ロッカーの使用も無料とのことで、余分な荷物を預けて身軽になれるのがうれしい。メンテナンスが終わったら、利用者の体格に合わせてサドルなどのフィッティング。スポーツサイクルの経験が浅い人には操作方法を説明し、シフトチェンジの要領も覚えてもらう。これが10分程度。ちょっと短いようにも思えるが、店長によると「もともと挑戦してみようという気持ちで来店しているので、スムーズに乗りこなしている人が多い」とのことだ。



最終的なチェックを経て、利用者に貸し出される

ブルーラインに導かれるままに

準備が整って、いよいよスタートという前に地図を所望したところ、しまなみ海道全体をコンパクトにまとめたものと、経由する島々を詳しく紹介したものの2種類を渡された。マップケースの用意はないため、立ち止まっていちいち確認するのは面倒かと懸念されたが、それは杞憂に過ぎなかった。

店頭でスタッフから、「あの角を曲がると道にブルーラインが引かれているので、それに沿って走ってください」と言われ、指差されたままに角まで進むと、確かに道には青のラインが引かれている。このラインは広島県側のしまなみ海道で見たことがあり、本報告書の平成22年度版において紹介したものだ。当時は広島県側だけだったものが、今は全線にわたって引かれている。案内看板だとうっかり見過ごしてしまうことがあるものの、ラインなら常に視界に入る。取材した時点では交通法規の制約があつ



しまなみ海道の全線に引かれるブルーライン



案内看板も充実し、気軽に寄り道ができる

て交差点内は途切れてしまっていたものの、渡りきった先にラインが引かれていなければ、その時点で間違ったことがわかる。しかもこの制約も解除され、今後は交差点内であってもラインを引くことができるようになった。そのため道迷いは皆無とっていいだろう。

来島海峡大橋を渡って大島に入ると、ブルーラインを外れて島内を巡ってみたいとなった。そこで気づいたのは、ブルーラインだけでなく案内看板も充実しているということ。単にブルーラインに沿って走らせるのではなく、あちこち寄り道してみたい旅行者に対しても、きちんとフォローしてくれているのがあるがたい。おかげで来島海峡大橋を眼下に捉える景勝の地、亀老山に立ち寄ることもできた。この案内看板も、前回訪れたときには気づかなかったものである。

道中をサポートするレスキューポイント

道迷いの心配がなくなると、自転車と自身の体に関してトラブルが発生しないかどうかだけが心配の種となる。その点に関するケアはどうだろう。まず代表的な自転車のトラブルであるパンクに関しては、同店では利用者に予備のチューブを渡している。ただし、誰もがパンクを修理できるわけではない。そこで頼りになるのがレスキューポイント。しまなみ海道の各島にあり、工具の貸し出しだけでなく、有料となるもののパンクを修理してくれるところもある。ただしそのレスキューポイントも、レンタサイクルの利用者が多い日曜に休業となるところが多く、そこが課題となっている。

転倒してケガをしたり、疲労困ぱいで走れなくなってしまったときはどうすればいいだろう。そんな



トイレや水などを提供するしまなみサイクルオアシス

ときに頼りになるのがレスキュータクシー。タクシー会社に電話をすれば、自転車ラックを設置したクルマが迎えにきてくれる。もちろん、これは自転車にトラブルが発生したときにも利用できる。

ちょっとひと休みしたい程度なら、しまなみサイクルオアシスが役に立つ。自転車スタンドや空気入れ、トイレが設置され、観光パンフレットや飲み水を提供してくれる。こちらも前述したブルーラインと同様、広島県側と愛媛県側共通のサービスとなっていて、しまなみ海道の地図に場所が明記されているほか、現地にはひと目でわかるタペストリーが掲げられている。

取材当日は時間の制約もあり、来島海峡大橋を渡った先の愛媛県側で最初の島、大島をグルッと一周しただけで引き返してしまったが、しまなみ海道というスケールの大きなエリアを自転車で巡るには、ロードバイクという巡航速度の高い自転車が必要であることを痛感した。

さらなる顧客サービスの向上を目指して

このジャイアントストア今治の利用料金は、日帰りの場合 2400 円(子ども用)～5000 円(ロードカーボン・電動アシスト)となっている。一般のレンタサイクルと比べてずいぶん高いようにも思えるが、シティサイクルや軽快車の 10 数倍という価格の最新機種が、きちんとしたメンテナンスを受けたうえで貸し出されているわけだから、この価格となることも致し方ないだろう。ただし現状では乗り捨てのサービスがないため、しまなみ海道を全線走破しようと思ったら、尾道までを往復しなければならない(途中の因島まで引き返せば、今治とを結ぶ快速船で戻ることも可能)。往復だと距離が 150km に達するというので、よほど健脚の人でない限りは、島内で 1 泊することになるだろう。料金プランにも 1 泊 2 日が用意されている。ちなみに同店は「尾道側にもジャイアントストアをオープンし、乗り捨てができるようにしてほしい」との要望に応え、尾道の上屋(旧倉庫)にサイクリスト宿泊施設を併設したストアを平成 26 年 3 月にオープンするとのことである。尾道側のこの動きは、平成 22 年度に本調査研究事業に着目、連携した広島県海の道プロジェクトのバックアップを受けて実現したとのことで、施設整備には行政の支援が欠かせない一例である。

〈調査実施日〉

2012 年 12 月 14 日

〈走行距離〉

42km

〈主催者URL〉

<http://giant-store.jp/imabari/>

着地型観光におけるサイクリング活用の事例紹介③

①と②がミックスした事例

四万十川×自転車（四万十川りんりんサイクル&奥四万十楽しまんライド）

高知県西南部を流れる四万十川。「日本最後の清流」と呼ばれ、その美しい流れと雄大な自然が織りなす景観から、観光地としての知名度は高い。だが都市部からのアクセスが悪く、1泊程度の滞在では訪問できないという不利な条件もある。四万十川最大の観光資源である自然をうまく活かした観光振興策を練るなかで、自転車に白羽の矢が立った。四万十川流域は上流から下流に向けてゆるい下り坂になっており、自転車を使えば体力に自信のない人でも、流域の壮大な自然を楽しみながら比較的楽に長距離を走ることができる。自転車だからこそ発見できる四万十の魅力味わい、エリアのファンを増やせないかということになったのだ。

実は四万十川流域には、豊富なレンタサイクルがすでに整備されている。「四万十川りんりんサイクル」と名付けられたレンタサイクルは102台あり、中流の「江川崎駅」から、多くの客が観光の帰路に使用する「中村駅」がある下流の都市、中村の「新ロイヤル四万十」まで、流域7カ所に設けられたターミナルのどこでも貸し出しと返却を受け付けてくれる。料金は営業時間（8時30分～17時）内での返却は1日1500円。借りた時間から24時間以内の返却という単位での貸し出しも2000円で受け付けてくれる。102台のうち92台はMTBルックの26インチ自転車だが、10台は整備された有名ブランドの新型クロスバイクが用意されている。この新型クロスバイクにはキャリアが装着され、パニアバッグなどを付けての旅も楽しめるようになっている。サイクリング中の荷物運搬サービスもおこなっており、「カヌー館」ターミナルに10時30分までに荷物を預ければ、15時までにはゆうパックで土佐中村郵便局（中村中心街に位置）に配送してくれる。また、四万十市観光協会が管理する「四万十川レンタサイクル」は、シティサイクル70台とMTB60台を用意。シティサイクルは5時間600円、24時間1000円、MTBは5時間1000円、24時間1500円で、それぞれ延長料金は1時間100円という料金設定だ。こちらの貸し借りは、四万十観光協会のみを設定されている。いずれのレンタサイクルも周遊サイクリングマップを用意し、自転車の観光利用を促している。



整備された有名ブランドの新型クロスバイク

こういった環境を活かし、四万十川における自転車の認知度を上げていこうと、平成24年秋に中流域である西土佐エリアで「奥四万十楽しまんライド」というサイクリングイベントが企画された。名称には、自然や人との距離が近い自転車ならではの感覚や深さで、このエリアをしっかりと楽しんでもらおうという意味合いが込められている。設定コースは西土佐エリアの立地条件を活かし、きびしいアップダウンが含まれる山岳コース「がいなコース」と、地元の有名店スイーツなどを楽しむ「しよいコース」、さらに観光バスに乗って近隣の紅葉の名所を巡る、参加者の家族向けに用意された「観光コース」の3つ。ライドのコース名には「きびしい・難儀」という言葉と、その反対語を示す地元の方言を用い、地元色を打ち出した。自転車を持ってこられない人や、持ってきた人の同伴者もサイクリングに参加できるようにと、レンタサイクルも利用可能な形で募集をおこなった。今後この土地で自転車振興策をおこなうにあたり、重要な存在となる地元住民にも自転車に興味を持ってもらうこともイベント開催の目的に盛り込み、前日には試乗会やこども自転車教室が開催された。また、参加者には協力ホテルの温泉入浴券や、同日開催されていた地元の味覚を少量ずつ安価で楽しめる「四万十うまいもの商店街」のフードチケットを渡し、ゴール後には地元のグルメを味わい、よりこの土地を楽しんでもらえるよう配慮した。

初開催ということ、また当日の気温が低く、激しい雨になってしまった影響もあり、小規模なイベントとしての開催になったが、冷たい雨のなか自転車に乗る参加者のため、エイドステーションで火を炊くなど、参加者を思っただけでなく「うまいもの商店街」で大いに楽しんだ参加者も多く、イベント終了後に寄せられた感想は上々だった。

今後も四万十川流域では、上流から下流まで150km程度を走るロングライドなど、さらに規模の大き



天候に恵まれず、小規模なイベントとしての開催に



エイドステーションで火を炊き、臨機応変に対応



「うまいもの商店街」で大いに楽しんだ参加者



四万十の清流で育まれた川魚を食す

なイベントが企画されており、今年度の開催を目指し、準備が進められている。すでに所有しているレンタサイクルの活用はもちろん、近隣のグリーンツーリズムとの連携や、四万十川で人気の高いカヌーなどのアウトドアアクティビティと自転車とを組み合わせでの提案も視野に入れられているようだ。現在、県の協力を得ながら自転車の活用に向けて積極的に活動している西土佐エリアでは、①来訪客に自転車を道具として、四万十が誇る自然環境や地元の魅力をいかに発見し、自分自身のスタイルで楽しんでもらうかにベースを置いて計画が進められていること、②計画を進める主体が地元を知り尽くし地元で愛のあるメンバーたちであり、このエリアの未来のために能動的に動いている、ということが特徴として挙げられるだろう。計画着手後、メンバー各々が自転車に乗る機会を増やし、乗り手の感覚を持つての提案を志している点も評価できるだろう。

江川崎よりも上流域にある窪川から江川崎までの間にも、四万十町観光協会がレンタサイクルを整備する予定で計画を進めるなど、観光客をターゲットとした自転車施策もさらなる充実を目指し、準備が進められている。上流域から下流域に存在するさまざまな主体がタッグを組み、四万十全域がサイクリングの先進事例となる日も近いかもしれない。

自転車を活用した着地型観光への取り組み

アジアをメインに、インバウンドに力を入れる（フジトラベルサービス）

愛媛県松山市を拠点に、中四国エリアにネットワークを展開する旅行会社「フジトラベルサービス」のインバウンド推進室に勤務する岩田健志さんに話をうかがった。同室は国土交通省観光庁のビジット・ジャパン事業に応募。台湾からジャイアントの劉金標会長らを招いた「台日交流 瀬戸内しまなみ海道サイクリング」で日本国内での受け入れを任せられ、台湾の旅行会社、テレビや雑誌の取材スタッフに対し、しまなみ海道の概要説明から始まり、自転車で走る際のルートや訪れた先での食事などを提案した。

なおサイクリングのノウハウは持ち合わせていないということで、ジャイアントのサポートライダーであり、今治を拠点にする「しまなみマスター」、こと門田基志さんや彼のチームのメンバーからアドバイスを受けている。

同社は、「台日交流 瀬戸内しまなみ海道サイクリング」以後も、海外からのサイクリングツアーを7月から3組受注している。ツアーは5泊6日が基本となり、そのうち3日間は自転車に乗り、1日は観光に充てている。夕方に台湾を発った便が20時ごろに広島に到着し、帰りは9時に広島を発つ。このように飛行機の発着に不都合があるため滞在期間が長くなり、その分旅行代金も高くなってしまふのが難点とのこと。

ジャイアントにはグループ会社として旅行会社があり、そちらのサイトでも同社のツアーが紹介されている。料金は15万円ほどで、台湾からの一般的なツアーと比べると、最低でも3割は高くなるということだ。そのため一般のツアーをやっているところだと「高くてダメ」と言われてしまう。それがトレッキングやスポーツをテーマにした旅行商品を扱っているところだと、この料金を見ても「このぐらいは普通ですね」という反応を示す。サイクリング付きツアーという独自のサービスを提供できる、同社ならではの強みだろう。

一方で日本人の旅行者は言葉の壁が存在せず、旅行会社を介さずとも自転車で旅をすることができるので、日本人向けの旅行商品を扱うのは難しいと感じている。それでもサイクリングをしたことはないけれど、しまなみ海道ではサイクリングをしてみたいという人、サイクリングをやってみたいけどどうしていいのかわからないという人を集め、ガイドがスポーツサイクルの乗り方を最初から教え、案内をしながら走るというスタイルならできるのではと考えている。

ところで、台湾からの旅行客がしまなみ海道で見たいものは何かというと、それは瓦屋根の集落とか漁船が並んだ漁港など。しまなみの日本の集落、漁港、田舎の景色がいちばん満足してもらえるそうだ。確かに現地の旅行社が作っているパンフレットにも日本的な集落などと書いてある。これらを見て回るのに、最も適しているのが自転車だということは間違いない。走っている最中に「なんだろう？」と立ち止まって地蔵を見たり、建物を見たりという自由度がある。しかも自転車だと移動距離が限られるので、滞在時間が長くなるというオマケもつく。長いと食事の回数も買い物をする機会も増え、経済効果も大きくなるわけだ。

サイクリングツアーの参加者は30人まで

参加人数を尋ねると、自転車の輸送もあるため 30 人までが適正な規模という回答だった。それを超えるとトラックやバスを 2 台用意しなくてはならず、運行に支障が生じる可能性もある。さらに旅行者それぞれ脚力の違いがあり、一緒に走っても間が空いてしまう。すると少数のガイドでは対応しきれず、結果として迷子になる可能性も高くなる。実際に走ると隊列がかなり長くなり、クルマが追い抜くときとか狭い集落の中を走ったりするときには、ちょっと危ないと感じることもあるようだ。1 人のガイドがフォローできるのはせいぜい 10 人程度。したがって 30 人の旅行者に対しては、ガイドを 3 人つけなければならない。ガイドが対応に慣れ、旅行者にもある程度のレベルが見込めるのであれば、1 人のガイドがフォローする旅行者を増やす余地はあると考えている。

これまでの参加者は総計で 100 人ほど。内訳はジャイアントの取引先の会社やグループの会社にあるサイクリングクラブのメンバーが中心で、ロータリークラブやジャイアントの女性ブランドであるリブのユーザーで構成されたサイクリングチームの参加もあった。また、11 月初旬にはジャイアントの世界会議が今治であり、各地区の代表者が今治に集まってサイクリングをしている。

受け入れる側は習慣の違いを考慮して

外国人旅行者（特にサイクリスト）を受け入れる際、考慮すべき点についても聞いてみた。まず挙げられたのが宿泊施設の対応。これまで旅館やホテルは日本人を相手に商売を続けてきたため、表向きは「外国人が来るのはうれしい」と言うけれど、繁忙期に日本人でいっぱいになると外国人を断ってしまう。そうした「空いているならどうぞ」という態度のところがいまだに多いそうだ。また、外国人旅行者にとっては土曜も日曜も関係がないのだから、本気でやっているところは繁忙期であろうと外国人の料金を設定して受け入れている。バス会社もインバウンドの料金を設定している。「空いていたらやります、混んでいたらやりません」という姿勢は改めなければならないだろう。

また、日本人の団体だと 1 部屋に 4 人ぐらい泊まってくれるけど、特に台湾人には相部屋という習慣がなく、多くても 2 人までで 1 人で泊まる部屋も求められるそうだ。そのため日本の旅館に泊まる場合、30 人の旅行者に対して日本人なら 10 部屋用意すれば足りるものが、台湾人だと 15 部屋から 20 部屋が必要となる。しまなみ海道が経由する各島は規模が小さい旅館が多く、そうすると部屋に入りきれない事態も生じかねない。

「1 食 1000 円でこれだけか」という声も旅行者から聞かれる。台湾や中国、韓国では食べきれないほどの料理を出すことがもてなしとされている。それゆえの発言である。もちろん、旅行会社では「多めに出して」と宿に伝えているのだが、大盛りだと追加料金を請求されるというジレンマもあるということだ。

増えるリピーターがメインの顧客になる

最後に外国人旅行者向けツアーの将来性について聞いてみたところ、香港の旅行会社にインバウンドを始めた旨を伝えたら、旅行プランを作ってみましょうと提案され、それが先方のウェブサイトに掲載されたという例が示された。そのサイトには東京から京都や大阪を巡るゴールデンルートの旅行プラン、あるいは北海道や九州を巡る旅行プランはたくさんあるものの、四国では同社の旅行プランだけがポツンとある状態だった。しかも費用はゴールデンルートの倍ぐらいということで、これで売れるかと不安になったそうだが、取材した時点で、すでに 23 人の申し込みがあったという。何度も日本を訪れ

ている人が今度は四国に行こうと思ひ立ち、このツアーなら祭りも見られるということで参加している。同社では日本を初めて訪れる人が、富士山や東京、大阪をイメージするのは当たり前。それに匹敵するものが四国にはないので、真っ向から勝負しても仕方ないと割り切っている。つまりリピーターで、もっと深く日本を知りたいと思っている人にアピールできればいいと考えているのだ。

地方自治体が進めるインバウンドの現状と課題（愛媛県・今治市）

愛媛県職員のSさんとHさん、今治市職員のYさんに愛媛県の自転車観光施策と自転車を活用した着地型観光の可能性に関する話をうかがった。

事業者によって差のあるレンタサイクルの整備レベル

クルマの整備レベルが車検制度によって一定に保たれているのに対し、レンタサイクルの整備レベルはまちまちである。Yさんはレンタサイクルの現状について、「公設のレンタサイクルといっても運営は指定管理者がやっているため、自治体から直接指図できないのが歯がゆい」と打ち明け、「地元のショップで買って地元のショップで修理してもらうことにしているが、それでも十分なメンテナンスができていないとはいえない。それは修理に必要なお金があるかどうかというより、事業者が修理が必要かどうか見極める目を持っていないところに問題がある」と言う。そのため市内のサイクルショップを講師に事業者向けの講習をやらせようとしているのだが、各ショップからは「そこに割く人材が足りない」との声が上がり、そこが課題となっている。「スポーツバイクの整備は繊細さが求められるので、あるレベル以上のメンテナンスが絶対に必要。乗っている人間にはわかっていることだが、一般の人には理解されていない。行政がレンタサイクルをやるときに、そのレベルまでのメンテナンスには金がかかるということを、一般の納税者に納得してもらうことは大変だ」と、自身が熱心なサイクリストである行政マン、Yさんならではの意見を開陳してくれた。

愛媛県側にも延長されたブルーライン

一方でしまなみ海道の場合、インフラ面での整備は確実に進んでいる。広島県側からスタートしたブルーラインは愛媛県側にも延長され、今はしまなみ海道の全線にわたって引かれている。ただしこれは1つのルートに過ぎず、ほかにもお勧めのルートは数多くある。そのためそれをどういう色で引くのか、どういう引き方をするのかを検討されている。そしてブルーラインを引いたときにも直面した課題



サイクリングターミナルの車庫に並ぶレンタサイクル

として、道路管理者が「ラインを引くことで事故が増えたらいけない」という発想に立っているため、観光を振興する側の「来てくれた人が迷わずに走れるのが大事」という発想とは相容れない点が挙げられる。とはいうものの、ブルーラインを引いた時点では規制によって交差点内に引くことはできなかったため、そこで道を見失うこともあったが、今ではその規制もなくなり、交差点内であっても途切れることなく引けるようになったことは前進面となっている。

レンタサイクルを用いた着地型観光の可能性

話題はレンタサイクルを用いた着地型観光の可能性へと移った。Sさんは「現地に着いてパンフレットを見て、そこで初めてレンタサイクルの存在を知るとというのが着地型本来のあり方となるのだが、そこでいきなりスポーツサイクルをレンタルするとは考えにくい。愛媛県内でもそれが成り立つのは全国的な知名度が高く、往復すれば150kmと距離も十分に長いしまなみ海道ぐらいではないか」と語る。今治にやってくる人がサイクリストの姿を目にし、しまなみ海道を自転車で走れるのだと理解し、それで初めて走ってみようかと考えるようになるのだと、初心者がスポーツサイクルのレンタルに至るまでの道のりの長さについて注意を喚起する。

しかもスポーツバイクに親しんでいる人であっても、家族と一緒にいる場合には荷物の積載を考え、シティサイクルをレンタルすることがある。特に着地型の場合は、この問題を無視することはできない。また、コースを設定してガイドマップを用意したとしても、レンタサイクルを借りる人は下調べなどしていないわけだから、そのコースを説明できる人間がレンタサイクルの事業所にいることが大切である。

以上、決して楽観視できる状況ではないとはいえ、工夫次第で可能性が広がることが示唆された。

外国人旅行者の、さらなる増加を目指して

「日本人の旅行は2泊3日が主流で、長くても3泊4日。ところが外国人なら1週間は滞在してくれる。といっても愛媛県だけで1週間というのは無理なので、広島から入って福岡や高知に抜けていくという話も出る。つまり周辺の県にある有力な観光地も巻き込み、瀬戸内プラス四国という広域で高い知名度を確保するのが愛媛県の基本的な考え方となる。これには徳島県と高知県は乗り気で、道の駅にレンタサイクルを配備したうえで乗り捨てもできるようにし、これに鉄道を絡めることで多くの人が自転車での四国一周を達成できるようにする」。愛媛県における着地型観光の将来像について、Hさんはこのように語ってくれた。

四国内乗り放題のレールパスは年間で500を想定していたら、半期で売れてしまった。メインは台湾で、そこに着地型観光の素地が十分にあることが示された。しかも外国人だからといって、日本人と着地型観光の中身を分ける必要はない。日本人向けの着地型観光を考えれば、それで外国人にも対応できる。

課題は情報の伝達。団体旅行ならひとりの通訳で事足りるものの、個人旅行が中心の着地型観光では、それがいちばんの障害になっている。そのためしまなみ海道では言葉が通じなくてもひと目でわかってもらえるよう、外国語を併記した標識の整備を進めている。その意味でラインをたどればどちらかのゴールに必ずたどり着く、前述したブルーラインの存在も大きい。

しまなみ海道という、世界にも誇りうるサイクリングの聖地を抱えたエリアだけに、県そして今治市の自転車を活かした着地型観光に対する意気込みを、十分に感じ取ることができた。

県が一体となってサイクルツーリズムを推進（静岡県サイクルツーリズム協議会）

台湾での知名度をアップするために

昨年12月、これまでバラバラに動いてきた静岡県内の観光団体が一堂に会して「静岡県サイクルツーリズム協議会」を立ち上げた。そこで事務局を担っているコンセプト株式会社の佐藤雄一さんに、県外および国外からやってきて同県を自転車で走ろうという旅行者の受け入れについて話をうかがった。

これまで同県を訪れる人のほとんどは、新幹線をはじめとする鉄道、もしくは自動車を利用して来た。そのため国内、それも近県が多かったものの、2009年に静岡空港が開港。北海道や九州・沖縄からも旅行者が訪れるようになってきた。さらに2012年4月には台北桃園空港との間で週3便が就航（他に韓国や中国とも結ばれている）、以前と比べれば海外からの旅行者も増加傾向にある。ただし日本からの海外ツアーでは同一の空港でのイン&アウトが基本となっているものの、台湾からの海外ツアーでは富山空港イン・静岡空港アウトとか、中部国際空港イン・羽田空港アウトといったプランになっていることもあり、県内に留まることは少ないようだ。

しかも台湾では静岡県に関する情報が圧倒的に少なく、富士山に関しても、提供されているのは山梨県側だけ。現地で発行されている本にも静岡県は載っていないという状況があるという。あるとき台湾でスポーツ系の旅行を専門に手がけている会社から連絡があり、春から夏にかけて富士登山とランニングとサイクリング、できれば泳ぎ（ラフティング）も組み合わせた4泊5日のツアーをやりたいという希望が伝えられたそうだ。ところが当初の案ではランニングが昇仙峡で、ラフティングは山梨県側の富士川、吉田口から富士登山をして、富士山一周サイクリングをするというものだった。このように山梨県側に偏っているのは、日本の手配会社が持ち込む情報が、すべて山梨県側のものとなっているためである。

「ライフスタイルに浸りたい」というニーズを抱える外国人旅行者

別項で述べた「フジトラベルサービス」での話と共通する事実を、佐藤さんからうかがった。2012年3月に台湾から旅行者が来たとき、3泊ともつまごいリゾートでの宿泊にしたなら、「街中に出たい」とか「街中の居酒屋に行きたい」という要望が出されたというのだ。自転車で走っている最中にも「農家に入りたい」とか「農家でお茶を飲みたい」とか、海外からの旅行者には、「ライフスタイルに浸りたい」というニーズがあるようなのだ。そのため森町や横須賀の古い街並みを走ってもらったり、森町にある茶葉の販売店や豊岡町の柿の販売店に寄ったり、福田漁港では生しらすを食べてもらったりしたという。こうして京都に行かなくても、日本の古きよき風物を味わえることが理解してもらえたのが、いちばんの収穫となった。

見事なまでに整備された台湾の自転車道

佐藤さんは台湾の旅行者を静岡県に招くだけでなく、自身も台湾に出かけて現地の実情を視察している。川沿いの自転車道を走ったときは、当初はそれが楽しいのかと思っていたそうだが、道は見事なまでに整備されており、これならいいと思えたという。途切れているものや砂で埋もれて走れないものもある日本の自転車道と、彼我の違いを痛感したそうだ。また、現地には自転車を携えたまま入ることの

できる非常に大きなトイレもあったということで、確かにこれならいちいち鍵を掛けずとも用を足すことができる。一方、レンタサイクルのレベルは大したことはなかったようだ。

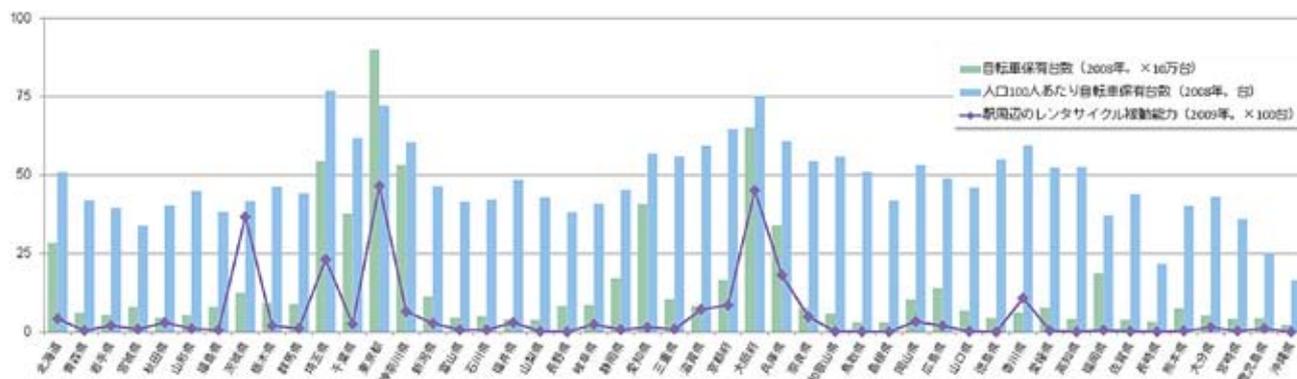
台北市の人口が262万人。対する静岡県中西部の人口が250万人と拮抗しており、台湾と静岡県の間には、「こちらからも行くし、向こうからも来てほしい」という交流型のアプローチが成立しようと、佐藤さんは考えている。

レンタサイクルとガイドサイクリングを連動させて

では、佐藤さんは静岡県内（特に拠点を置く中遠エリア）において、どのようなかたちで、自転車で走ろうという旅行者を受け入れるつもりなのだろうか。しまなみ海道のように象徴的なルートがないエリアということで、自由度の高いガイドサイクリングが向いていると考えている。専属ではない地元のサイクリストが、やってくるサイクリストを案内するというスタイルで、当面は週末だけ案内するものとなるが、将来的には平日でも常駐できるようにしたいそうだ。そのために地元サイクリストの組織化も進め、現状では30人ほどに声をかけ、半分ぐらいからは「ガイドを務めてもいい」との言質を得ている。

残念ながらレンタサイクルの整備は遅れているというが、それでも2013年3月の「ゆるゆる遠州ロングライド&ガイドライド」に合わせ、ロードバイクとクロスバイク合わせて10台ほどでスタートした。地元のサイクルショップからレンタルするもので、保管もメンテナンスもショップがやる。運用は観光協会と一緒にやっていくというスタイルとなる。今後はレンタサイクルとガイドサイクリングがうまく連動し、他地域とは異なるアプローチをしていけばいいと考えている。

国内のレンタサイクル（コミュニティサイクル）の実例



都道府県別自転車保有台数と駅前レンタサイクル稼働能力

※レンタサイクル調査対象市区町村は、各都道府県の市・東京都特別区および三大都市圏の町村
 (自転車産業振興協会資料と内閣府『駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果』より作成)

わが国は自転車保有台数、自転車分担率ともに高い、自転車大国のひとつであるといつてよい。そのような環境、つまり自転車をほとんどの人が所有しているような環境で、自転車を貸し出すシステムに求められるものは、多くの欧米諸国とは異なるといつてよい。

2008年の都道府県別人口あたり自転車保有台数と2009年の都道府県別駅周辺レンタサイクル稼働台数を示したのが図である。年度が異なること、一部の都市の駅周辺レンタサイクルに限っていることなどから単純に比較することはできないが、人口あたりでない、純粋な自転車保有台数が少ないところでは、レンタサイクルの稼働能力が低い傾向が見てとれる。自転車保有台数にも地域によって偏りがあるので、レンタサイクルと同様、都市部で集計してみるとより詳細がわかるのかもしれないが、「自転車保有が少ない地域の住民が共有している」というよりは、「自転車利用のしやすい地域で、来訪した人のために提供している」といった形態が見える。わが国の自転車貸し出しシステム導入のきっかけのひとつに「自転車の総数を減らして放置自転車を削減」が挙げられるが、実際のところは駅から職場への移動用にもう1台、といった自転車利用で発生する駐輪を抑えることはできても、根本的な放置自転車削減策にはならないのかもしれない。

最近、全国各地で社会実験や導入が進んでいるコミュニティサイクルシステムは、この図の数値には表れていない。自転車貸し出しシステムを導入するきっかけには、放置自転車の削減のほか、環境にやさしい自転車の利用促進（クルマからの転換）、公共交通の弱い地域を補完する交通手段としての役割、観光活動の促進などが挙げられていて、レンタサイクルとほぼ同様だ。しかし、レンタサイクルからコミュニティサイクルへの転換が検討されることもある（2008年酒田市など）。乗り捨て可能になると利便性はかなり上がるが、ポート間で自転車を移動させる必要があるなど費用面の問題がある。海外のコミュニティサイクルのように自転車に慣れ親しんでもらうためなら、安全性に配慮して自転車に乗ってもらう機会を設けることがその目的となる。しかしわが国では、すでにたくさんの自転車が日常生活に溶け込んでいる。わが国の場合、コストをかけてコミュニティサイクルシステムを導入し、何を生み出せるだろうか。

①宮サイクル（宇都宮市）

2010年10月から、宇都宮市によって宮サイクルステーションが運営されている。JR宇都宮駅西口にポートがあり、スポーツバイクのレンタル（4時間500円、1日1000円）、スポーツバイクセミナーの実施、自転車や観光情報の提供のほか、休憩スペースやシャワー・ロッカーの提供、宇都宮ブリッツェンと連携したセミナーなどを実施し、さまざまな自転車利用をサポートしている。

貸し出している自転車は以下のとおりである。

車種：ジャイアント・エスケープ（クロスバイク）

台数＝7台

フレームサイズ＝465mm×7台

カラー＝グリーン・シルバー・ブラック・ブルー・ホワイト×2・パープル

車種：ジャイアント・ディファイ3（ロードバイク）

台数＝2台

フレームサイズ＝430mm・500mm

カラー＝ホワイト・ブルー

車種：インターマックス・im-ROAD（ロードバイク）

台数＝2台

フレームサイズ＝440mm・510mm

カラー＝グリーン・ピンク

車種：インターマックス・im-AQUA（クロスバイク）

台数＝2台

フレームサイズ＝490mm・510mm

カラー＝ホワイト・ブラック

車種：インターマックス・im-VERO（ミニベロ）

台数＝2台

フレームサイズ＝410mm×2台

カラー＝ブラウン・ブラック

宇都宮市では、2003年に「交通手段としての自転車」に着目したネットワーク計画（2003～2010年）を策定していたが、それを受けた現在の計画では、それに環境、健康、観光、スポーツの要素をプ



宇都宮市内の自転車走行空間整備例



宮サイクルステーション外観

ラスするとしている。2003年策定のネットワーク計画ですでに車道上のレーンを優先的に整備する方向を打ち出しており、5カ年で33km、最終的には宇都宮市内で20km程度を優先的に整備するとの目標を掲げている。また、2012年には全国で初めての自転車走行空間明示交差点（交差道路の両方に空間明示を施したもの）を整備している。宮サイクルステーション付近でも、路肩を緑色に舗装した空間が見受けられた。

②スマートクルーズ（新潟市）

新潟市の自転車を活用したまちづくり推進協議会が2008年より開始したのが、市内の中心街でのレンタサイクルシステム「スマートクルーズ」である。従来型の（ママチャリを貸し出す）レンタサイクルシステムは以前より市によって運用されていたが、スマートクルーズ開始にあたって新たに用意された自転車は本格的なサイクリング仕様（次ページ図の25種類）で、価格はすべて10万円以上のものである。これらを3時間1500円、1日2500円、2日4500円でレンタルしている。また、運用開始直後に訪問した際、スマートクルーズではスポーツバイクに乗るためのヘルメットやバッグの貸し出しもおこなっていた。訪問時の話では、担当者から自転車の乗り方も教われるとあって、人気の車種はすぐに出払ってしまうほどの人気とのことであった。

新潟市でも、スマートクルーズの運用前に自転車走行空間整備計画が立ち上がっている。ネットワークの作成方法は、よく利用される施設を結び、今着手している路線をつなげていく形で、他の道路整備のなかで進めていくとしている。なかには啓発看板を設置するだけのところもある。スマートクルーズ



新潟市内の自転車走行空間整備例

のポートは店舗やホテルの一面を利用しているため、付近では目立った走行空間が整備されてはいないものの、将来的にネットワークに含まれる路線が近くを通っている。



スマートクルーズのポートにて

 <p>1 RALEIGH (イギリス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → R12P 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 万村シクリーのモデル <p>イギリス製とも思われ、行はせる古いデザインですが、思いのほか軽量、大人好みの1台。</p>	 <p>2 LOUIS GARNEAU (カナダ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → 1050R2 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺グランデホテル <p>白のフレームが人気のクロスバイク。高級感のあるデザインも特徴と見える。</p>	 <p>3 SCHWINN (ドイツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → Modag 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 石巻公園地下自転車駐車場 <p>鉄フレームのため剛性が高く、乗り心地が良い。コストパフォーマンスの高い自転車。</p>	 <p>4 TREK (アメリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → 6000 (シマノ1速) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 石巻公園地下自転車駐車場 <p>アメリカの定番自転車メーカーが作る信頼性抜群でタフなバイク。メタルクランク。</p>	 <p>5 W-BASE (オーストラリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → M&K32 (700c/25) 対応身長 → 170cm～ 製造国/メーカー → 石巻公園地下自転車駐車場 <p>自転車好きがファッション店がデザインしたオリジナルの1台。おしゃれなシングルギア。</p>
 <p>6 COLNAGO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → em (E.M) 白 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>自転車好きにはたまらない組み立てのフレームがスタイリッシュ。乗り心地のよさは抜群。</p>	 <p>7 Bianchi (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → CAMALOTTE (カマルotte) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 万村シクリーのモデル <p>Bianchiの代名詞で、日本でも人気の高いチェルスカフ。男女ともにファンが多い。</p>	 <p>8 Panasonic (日本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → 04 (04) 25 対応身長 → 160cm～ 製造国/メーカー → ネット自転車駐車場 <p>トップカカポルなデザインが気に入る。シングルギアならではの乗り味が楽しめる。</p>	 <p>9 FELT (オーストラリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → C1000 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → ネット自転車駐車場 <p>クロカン仕様。フロントサスで後中の段差も気にせずに、快適に走れます。</p>	 <p>10 MBK (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → IT1900 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → ANAクラウンプラザホテル <p>実用利便なフルデザイン。乗り心地は軽く、おしゃれな印象の1台と評判のバイク。</p>
 <p>11 DAHON (台湾)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → M4 (M4) (P8) 対応身長 → 150cm～ 製造国/メーカー → 石巻公園地下自転車駐車場 <p>折りたたみ自転車。コンパクトで、ユニークなデザイン。買い物かごを装着することも可能。</p>	 <p>12 OPERA (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → Artista (Artista) P27 対応身長 → 155cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>ラジアルフレームを特徴とし、3段変速が使いやすく、乗り心地もよい1台。</p>	 <p>13 GIANT (台湾)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → 3EX R1 (3EX R1) 対応身長 → 155cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>女性が脚中をクランプする自転車。シングルギアならではの乗り味が楽しめる。</p>	 <p>14 COLNAGO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → em (E.M) 赤 対応身長 → 155cm～ 製造国/メーカー → ANAクラウンプラザホテル <p>フレームサイズが小さく、女性が乗るには最適な1台。赤のフレームが目立つこと特徴。</p>	 <p>15 BRUNO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → KENTRE (KENTRE) 25 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>小柄な方から前向きに、P踏み、補助ブレーキがあるので高齢者にも安心の1台。</p>
 <p>16 COLNAGO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → F&E (F&E) (カラー) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>赤のリアフェンダーが特徴。スカートをはいた女性でも気軽に楽しめるバイク。</p>	 <p>17 BRIDGESTONE (日本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → ANDER H&H (Anders) 対応身長 → 160cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>本拠地からデザインで快適で安全にデザインされた女性専用自転車。</p>	 <p>18 Bianchi (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → Passo (Passo) 対応身長 → 160cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>前サスペンション付きで、車体への乗り心地もよい。小柄な女性も乗りやすい。</p>	 <p>19 GIOS (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → CANTARE (CANTARE) 対応身長 → 170cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>軽やかなブルーが人気のクロスバイク。軽い車体での走行性も特徴と見える1台のバイク。</p>	 <p>20 BROMPTON (イギリス)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → M3 (M3) (E1) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 7507 14307 (14307) 自転車駐車場 <p>折りたたみ自転車。折りたたんだ状態でもコンパクトで、荷物もたくさん入る1台と評判のバイク。</p>
 <p>21 COLNAGO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → em (E.M) 白 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 石巻公園地下自転車駐車場 <p>軽やかなホワイトカラーが人気。フレームサイズが小さいので、女性が乗るには最適。</p>	 <p>22 Bianchi (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → F&E (F&E) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>折りたたみ可能なおしゃれなフレーム。Bianchiならではのチェルスカフも特徴。</p>	 <p>23 BRIDGESTONE (日本)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → ANDER H&H (Anders) 対応身長 → 165cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>女性でも気軽に楽しめる補助ブレーキ付きのロードバイク。本格的な乗り味が楽しめる。</p>	 <p>24 cannondale (アメリカ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → TRAIL SLZ 対応身長 → 155cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>トレイルランニングのためのマウンテンバイク。乗降も楽々乗れる1台と評判のバイク。</p>	 <p>25 BASSO (イタリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種 → GAP 1877 対応身長 → 160cm～ 製造国/メーカー → 新渡辺公園地下自転車駐車場 <p>高級なクロスバイクの定番。乗降も楽々乗れる1台と評判のバイク。</p>

スマートクルーズで貸し出し中の自転車一覧

③まちなり（金沢市）

2010年の社会実験を経て、2012年より金沢市が実施するコミュニティサイクルシステムが「まちなり」である。2012年11月現在のポート数は19であり、そのほか提携窓口として、金沢市街地にあるホテル等で借りることもできるようになっている。基本料金は1日200円で、30分以内に返却すれ



金沢市の自転車走行空間整備例（滞留スペース）



金沢市の自転車走行空間整備例（交差点）



金沢市の自転車走行空間整備例（自動車追い越し禁止）



玉川公園付近の自転車走行空間



尾山町ポート付近のおすすめルート



池田町交差点付近のおすすめルート

ば無料、それを超過すると 30 分ごとに 200 円が追加で課金されるシステムとなっている。定期利用も可能で、1 カ月 1000 円、最長で 1 年 9000 円である。企業が協賛して運営されているサービスのためか、法人向けのサービスも提供しており、1 年の定期利用（1 口 1 万 2000 円、組織内で使い回し可能）がある。支払い方法はクレジットカードを基本としている点など、システムはパリのヴェリブに近いといっている。

金沢市はまた、自転車走行指導帯（自転車専用通行帯ではない、自転車の通行位置を舗装により明示した走行空間）をわが国で初めて導入した都市として知られるように、車道上自転車走行空間の整備にかけてはかなり積極的な姿勢をとっている。ネットワーク計画の策定、走行空間整備ガイドラインの策定はもちろん、実際に市内にもたくさんの法定外表示が見られ、右折自転車の滞留スペースの明示や、



ポートを出るとすぐに、交通量の多い道路とかなり狭い歩道がある（おすすめルートの本裏）。



おすすめルートは観光地の近江町市場にも通じる、歩道が整備されている交通量の少ない道路。



車道上に路面表示が見えるが、意識しなければ見つからず、歩道のほうが通行しやすく見える
自動車へ追い越しをしないよう呼びかける法定表示等、多種にわたって整備されている。

2013年2月に現地調査をおこない、まちなりのポート位置と走行空間の位置関係を整理した。その結果を以下に示す（地図中の矢印は写真の撮影方向を示す）。冬季であったこと、さらに調査当日が雪であったことから、まちなりの利用者を見ることはなかったが、本調査はポートデザインと道路空間の関係を見ることに目的があるため、その点は差し支えないと考える。

ポート地図によると、ポートはおすすめルートにすぐに出られるよう設置されていて、コミュニティサイクルシステムと走行空間がうまく連携できているように見受けられる。このおすすめルートはポートで自由に受け取れる地図にも記載されているため、これを頼りにルート設計することも可能だ。しかし、写真でわかるとおり、おすすめルートは総じて自動車交通量の少ない裏道を選定しているようで、



写真奥、左右に横断するおすすめルートは、以前はタクシー用の表示が路面にあったが現在は無い



尾山町ポートからは、おすすめルートに直接出ることにはできない構造になっている



観光ルートに直結しているポート。自動車交通量も少なく走りやすいおすすめルート

- ・走行空間が明示されていない（自動車交通量の面では明示する必要がない）ため、これまで歩道通行に慣れてきた人は当然歩道を走ることを前提にしてしまう。
- ・歩道のない道路が目の前に現れる場合にはもちろん車道を走ることになるが、完全なる裏道の様相を呈するため、観光地らしくなく、満足度が低くなるおそれがある。
- ・おすすめルートの1本裏などには走行空間が明示された走りやすい道路が存在しているにもかかわらず、地図にはおすすめルートだけが掲載されているためにその存在に気づけない。

といった点が指摘できる。本来、観光目的でない自転車利用であれば、自動車交通量の少ない道路を自転車に適した道路と考えるのは至極当然のことで、その考えのもとでおすすめルートが設定されている点は安全面からいうと非常にわかりやすい。しかし、金沢という観光資源の豊かな場所だからこそ、



デパートの裏なので自動車交通量は少ない。飲食店が並んでいて昼間は人通りもあまりないようだ



バスがときおり通るものの、自動車交通量は少ないおすすめルート。広い歩道もある

眺めも意識して自転車に乗りたいと考える利用者のニーズも汲んだ設計が必要になると考えられるし、自転車走行空間整備に活かすべきである。利用者の意向調査や、利用実態調査をおこなっていない段階での提案ではあるが、おすすめルートを最も安全なルートと捉えるならば、多少交通量があっても走行空間の明示で安全面をカバーできているセカンドルートの提示など、複数の選択肢を用意することで、利用者の満足度や車道通行のルールの遵守につながるものと考えられる。



いずれも気づきにくい場所にあるが、自動車交通量の少ない道路に面している

海外のレンタサイクル（コミュニティサイクル）の実例

①ヴェリブ（パリ）

欧米でのコミュニティサイクルブームの火付け役とも言えるのが、パリで大成功を収めているヴェリブである。そもそもはヴェロブ（リヨン）で同様のシステムが実施されていたものをパリに持ち込み、パリの自転車利用者数を2倍に押し上げたと言われている。

ヴェリブについてはすでにさまざまな媒体で紹介されているが、簡単にその特徴をまとめると以下のとおりである。

- ・自転車（ヴェロ）と自由（リベルテ）を組み合わせた名前を持つヴェリブは、2007年7月15日に専用自転車1万648台、ポート750基でスタートした。
- ・現在は、自転車2万台以上、ポート約1800基で運用している。
- ・30分以内の利用は無料である（「V+ステーション」に返却すれば45分以内まで無料）。それを超すと、～1時間で1ユーロ、～1.5時間で3ユーロ、～2時間で7ユーロ。それ以上の利用で4ユーロ／30分の課金となる。1日、1週間の長時間利用パスもある。

海外の自転車は総じてロードバイクやMTBのようなものと考えられがちだが、ヴェリブの自転車は「安全性と快適性に配慮した自転車を使用」（ウェブページ）とされ、その特徴は

- ・シンプルで簡単な内装3段ギヤ
- ・滑り止め付きのハンドルレバー
- ・自動で点灯するライト
- ・操作しやすいベル
- ・座りやすいクッション材のサドル
- ・大容量のカゴ

と説明されている。写真でもわかるとおり、男女兼用、ママチャリタイプの自転車で、重さも22.4kgある。デザイン性に不満を持つ地元っ子もいるが、重い自転車は盗難や破損を防ぐ対策のひとつとなるだけでなく、自転車に乗り慣れない人でも安定した走行ができる。重い自転車でゆっくり走ると、自動車も注意して速度を落とし、事故の規模が小さくなるといった利点もあると担当者は話している。

また、コミュニティサイクルシステムの実現可能性の観点で必ず指摘されるのが、偏った自転車の配置、壊れた自転車のメンテナンス等の維持管理であるが、それに関しては以下のケアがなされている。

- ・V+ステーションという表示が（オンラインで）されているポートに返却すると15分延長が可能であり、このシステムにより自転車の配置バランスが保ちやすくなっている。
- ・160人のメンテナンス要員が雇われ、サドルを逆向きにしてある（壊れているというサイン）自転車を回収、修理する。

自転車に関するインフラ整備の歴史を振り返ると、フランスでは自転車をレジャー手段ととらえる認識が強く、国レベルでの明確な政策や法制度は整備されてこなかった。交通手段としての自転車は邪魔者で、統計上でもオートバイとともに「二輪車」として一括されていたほどである。しかし、1994

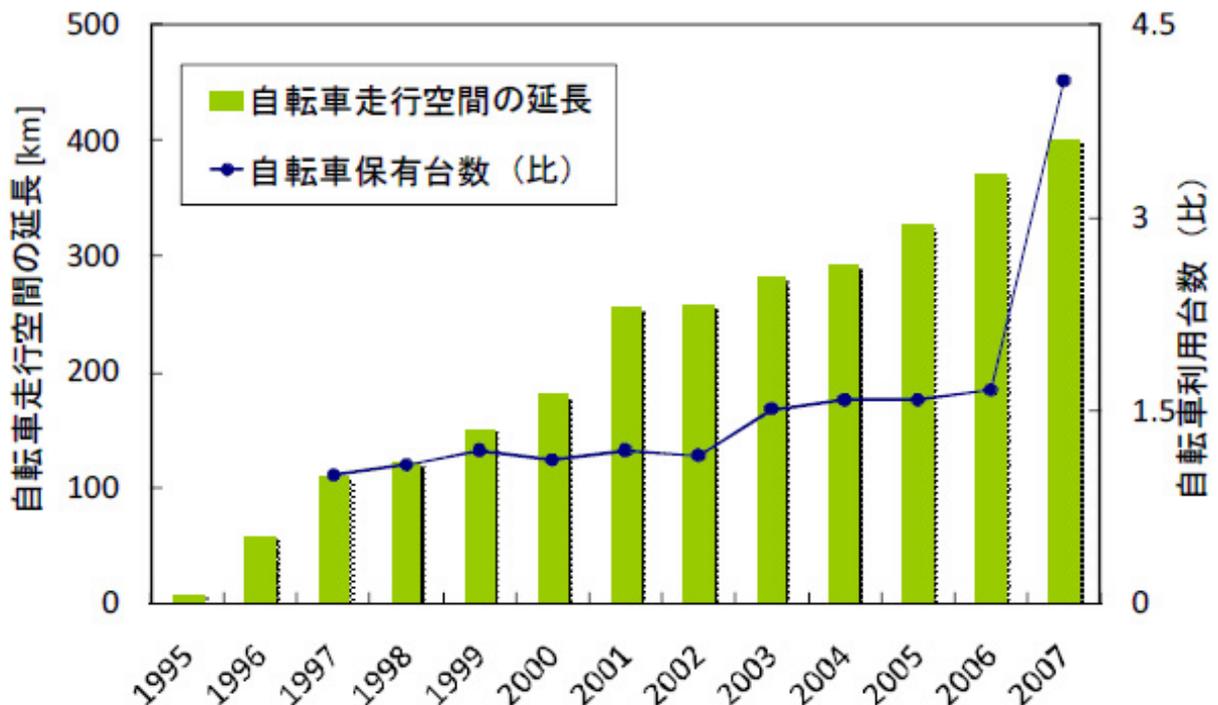
年にフランス環境庁と国交省が中心となって「自転車政策調整委員会」を創設し、Déplacement de Mode Doux（やわらかい移動方法）と呼ばれる歩行者や自転車の利用環境の向上に力を入れている。

1998年、フランスの道路交通法は自転車利用者の安全を確保するべく、

- ・従来一切禁止されていた歩道走行を8歳未満で認める
- ・従来黙認されてきた歩行者天国での走行を年齢によらず許可する
- ・条件付きで歩道走行を認める（石畳で走行しづらいとき、車道が工事中のときなど。ただし、家屋の前では歩行者の有無にかかわらず徐行しなければならない）
- ・従来二輪車全部に開放していた自転車道路を自転車専用とする
- ・自動車が出抜くときとの距離を広げる（都市部で1.0m、その他では1.5m）

といった改正をおこなった。その一方で、ドライバーが見た自転車のイメージとして、「信号を守らない」、「交通ルールは自転車には関係ないと思っている」、「歩道を走る」といった項目が挙がっている（パリ）ことや、自転車利用者の安全のために歩道走行を認めたり、歩道や歩行者天国という歩行者のための空間を許可なく走行する自転車を黙認していたりするあたりは、従来の日本の感覚に近かったといえる。パリに関して言えば、世界一有名な自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」の舞台となつてはいるものの、交通手段としての自転車利用は比較的少なく、むしろ慢性的な交通渋滞がある都市として知られてきた。1995年、3週間にもわたる公共交通のゼネストにより道路交通が完全にマヒした際に、自転車の利便性が注目され、当時のパリ市長のシラク氏と後任のチペリ氏により、積極的な自転車優先政策が推し進められた。この時期を境に、急激に自転車走行空間が創出されている。

パリの「自転車走行空間」には、自転車専用道路、自転車専用レーン、一方通行道路における自転車逆走可区間、自転車通行可のバスレーンなどが相当する。下図によると2001年にも走行空間が急増しているが、これはバスレーンのうち約41kmをバスレーン4.5mと分離帯70cmからなる5.2mのバス・



パリ市の自転車走行空間と利用台数

自転車・タクシーレーンとする方策を採り始めたことによる。また、自転車レーンとしては、1車線つぶして側道をずらすことで双方向のレーンを作る（点線で区切る）、1車線つぶして縁石を設けた双方向自転車レーンを作るなど、双方向のレーンが比較的多いように見受けられる。しかし、乗用車が一層の渋滞を起こすことになったばかりでなく、整備直後はいつのまにかレーンがなくなったり、駐車車両により機能しなくなったりしている場所も見られ、機能面に問題がみられたとも言われる。

このような整備の最中に、ヴェリブは操業を開始したことになる。そのため、自転車は車道で存在のアピールをする必要があったり、乗り慣れなくても安定した走行ができるようにする必要があったりしたため、ママチャリタイプの頑丈で大きな自転車が採用されたと考えられる。それでも当初は、自転車に乗り慣れない地元つ子が歩道に逃げてしまうなどして、歩行者への安全が問題視されたことがあるという。

現在、ヴェリブのウェブページやパンフレットには、自転車に乗る際の安全のしおり（Road Safety Guideline）が掲載されており、「歩行者にはつねに注意を払うこと」「歩道を通行しないこと」「ヘッドフォンをしないこと」等、16項目もの注意事項が記載されている。

②Call a Bike（ドイツ）

ドイツ鉄道（Deutsche Bahn：DB）が2001年にミュンヘンでスタートしたコミュニティサイクルシステムがCall a Bikeで、現在はベルリン等の8都市で市内利用が可能、その他多数の都市でも特急駅での利用が可能となっており、全部で4200台の自転車を運用している。鉄道会社がコミュニティサイクルシステムを提供する背景には、鉄道+自転車をセットで売り込み、自動車利用からの転換を狙ったことがある。2004年には前年比40%増となる7万1000人の会員を持ち、38万トリップの利用がなされた。主な利用目的は朝の通勤と昼間の買い物・観光であり、休日利用も多いとのことで、多様な利用形態に対応できている成功事例であるといえる。

このシステムは片道利用を想定し、基本はポートを利用しないのが最大の特徴である。事前にクレジットカードの登録が必要であるが、それ以降は携帯電話で操作ができる仕組みとなっている。

- ・借入時は、自転車に記載された電話番号へ電話するとロックの解除キーを通知されるので、そのキー（4桁の数字）でロックを解除して自転車に乗る。
- ・返却時は、自転車に記載された電話番号へ電話して、返却する交差点を告げると、コールセンター側が自転車にロックをかける。

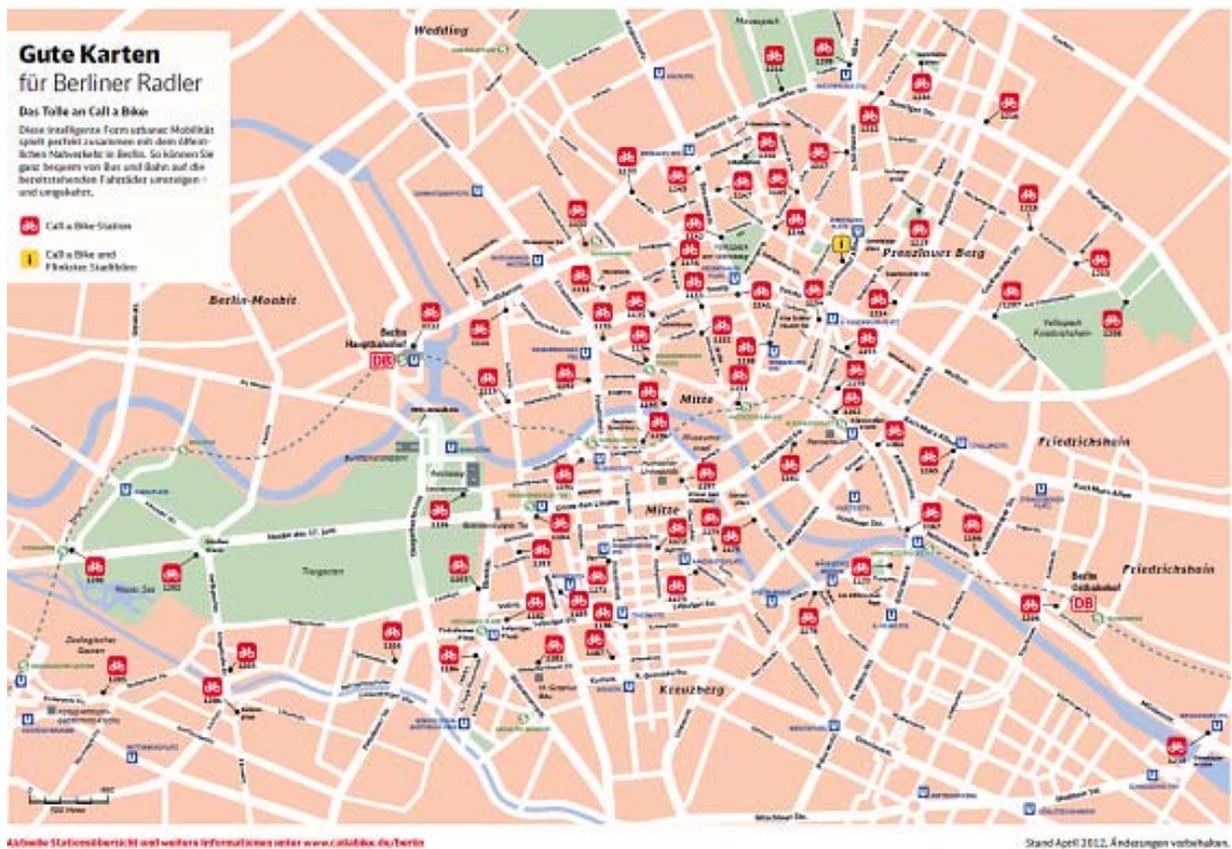
クレジットカードの事前登録があることが盗難防止にもなっているが、Call a Bikeは都市によってはポートを用いた（いわゆる一般的な）コミュニティサイクルの形態をとっている。ポートのない都市はカールスルーエ、ミュンヘン、ケルン等、ポートを設置している都市はベルリン、フランクフルト、シュトゥットガルト等である。このシステムの差は説明されていないが、利用域が広範囲の場合にはポートが設置され、比較的小さいエリアを想定する場合にはポートのないシステムが適用されていると考えられる。筆者は視察中一度も交差点に止められたCall a Bikeを見かけることがなかったが、ポートレスシステムが適用できる都市規模は限られているのかもしれない。いずれにせよ、ポートがある程度細かく設置されていないと利便性が下がることは指摘されているが、自転車がそのポート数に見合わない場合や、予算の制約がある場合など、ポートのないシステムで小規模の運用をすることが可能であることを示した事例といえる。

ドイツでの自転車走行空間については、国家自転車利用推進計画の一環として自転車道に関する規則が1997年に改正され、自転車走行空間が3種類から10種類に増加した。1990年頃には歩道を色分けして自転車レーンをつくるのが考えられていたが、この改正ではむしろ車道内の自転車走行空間を選択肢として加えたり、走行を義務とする自転車レーンと走行は可能だが義務ではない自転車レーンを、自動車交通量や幅員に応じて設定したりしている。走行を義務とする自転車レーンには標識を設置し、走行を義務としない自転車レーンは路面表示や構造でそれを示している。日本では自転車道と歩道上の自転車レーンを標識のデザインで区別しているが、ドイツの示し方はよりわかりやすい。また、自

> Basic rate	Without BahnCard	With BahnCard	Students
per Minute	0.08 Euro	0.08 Euro	0.08 Euro
max. per day (24 h)	15.00 Euro	9.00 Euro	9.00 Euro
> Flat rate			
annual fee	48.00 Euro	36.00 Euro	24.00 Euro
1st - 30th minute	free	free	free
as from 31st minute	0.08 Euro	0.08 Euro	0.08 Euro
max. per day (24 h)	15.00 Euro	9.00 Euro	9.00 Euro

In Stuttgart, the first 30 minutes are free for all customers.

Call a Bike の料金体系。30分以内無料の場所もある



ベルリンの Call a Bike ポート位置（ポートタイプ）



ミュンヘンの Call a Bike 利用可能域 (オレンジの部分、ポートレスタイプ)

転車走行空間の詳細な整備基準が道路交通研究所 (FGSV) により制定されている。このような走行空間整備の最中に Call a Bike がスタートとしている点は、パリとも通じるものがある。

③Melbourne Bike Share

オーストラリア政府が2010年にメルボルンで開始したシステムが Melbourne Bike Share で、Alta Bicycle Share という民間会社と連携して運営している。目的は市内中心地で10km未満の短距離での自転車利用を促進するため、公共交通と併用して効率的な移動を可能とするため、自転車利用を促進して環境にやさしい地域づくりを援助するため、としている。600台の自転車と51のポートがあり、料金体系は図のとおりである。30分以内は無料となっており、ヴェリブ等の事例の影響を受けているとも考えられる。ウェブページには、自転車の通行ルールが掲載されている。

メルボルンでは2007年から5年計画の自転車計画を持ち、2012年からの5年計画へと継続されている。その中で、自転車走行空間の整備やその連続性の確保、快適性の向上にも触れられている。

他の都市と同様、そのような自転車整備が進んでいるなかで、このコミュニティサイクルシステムが導入されている。

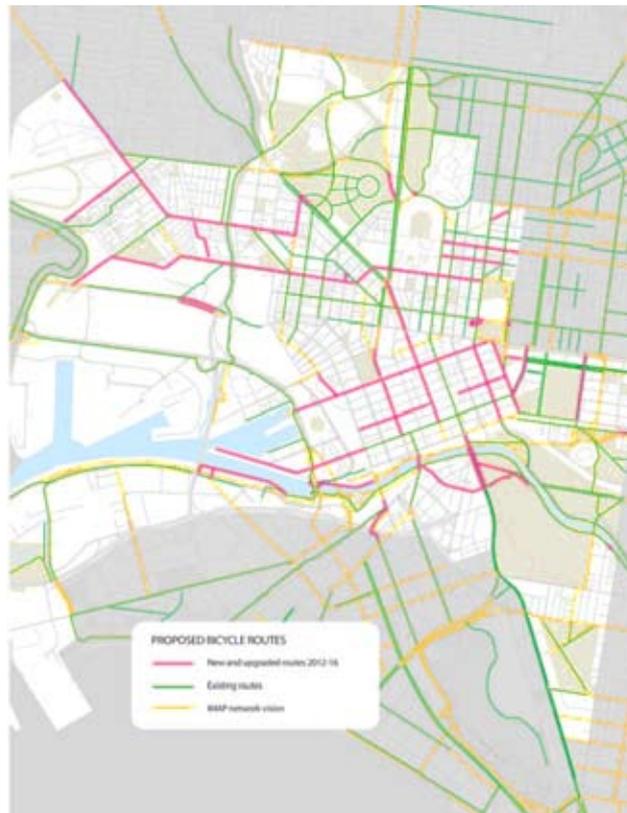
1 Choose a hire period.
How long you want access to the bikes for.

1 DAY \$2.70	1 WEEK \$8	1 YEAR \$54
------------------------	----------------------	-----------------------

2 The duration of your bike ride.
The time between taking a bike and returning it to another docking station.
(This is calculated automatically.)
You will be charged additional usage fees for any ride longer than 30 minutes.
Refer to below fees.

0-30 minutes Free	Up to 60 minutes \$2	Up to 90 minutes \$7	Up to 2 hours \$17	Each additional half hour +\$10
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------	------------------------------	---

Melbourne Bike Share の料金体系



メルボルンの自転車走行空間整備状況

このシステムで特徴的なのがヘルメット着用への対応である。メルボルンでは自転車乗用時のヘルメット着用が義務とされているため、コミュニティバイク利用者も当然ヘルメットを着用しなければならない。その旨は、自転車本体にもポートにも記載されている。Melbourne Bike Share は、2通りの



自転車に掲示された注意とヘルメット自動販売機

方法で自転車用ヘルメットを支給している。

- ・駅前大きなポートでは、自動販売機を設置してヘルメットを販売している（同じ自動販売機に返却する形のリースも可）。
- ・セブン-イレブン、その他のコンビニエンスストア、スーパーと提携し、ポート付近の店舗でヘルメットを販売している。
- ・購入の場合、価格は5オーストラリアドル＝約500円。

最寄りの店舗を巻き込み、安価でヘルメットを提供することで、わざわざヘルメットを用意する手間をなくしている。

【考察】

メルボルンでは、まだ自転車走行空間がほとんど整備されていないが、パリやドイツでは、自転車走行空間がある程度整備されたうえで自転車乗用の機会を提供していること、その際、（見た目よりも）乗りやすい自転車を採用していることが、成功に寄与したものと考えられる。

欧米ではわが国ほど自転車分担率が高くないため、自転車走行空間もコミュニティサイクルも、すべて自転車利用促進のためのツールとして導入されている。つまり、自転車に慣れ親しんでいない人のため、「自転車とはこんなに手軽で便利で快適な交通手段ですよ」と示したいという意図が強く、そのために目的地になるべく近い場所まで到達できるような細かなポート配置、転倒しにくい頑丈な自転車、クルマを気にしないで済む走行空間整備が選択されているのである。

まとめ

欧米諸国では自転車利用促進のため、自転車に慣れ親しんでいない市民に対し、自転車を安全に気軽に乗れる機会を与える必要があった。そのために走行空間を整備し、自転車を貸し出している。それも、自転車にとって最大の魅力である移動の効率のよさ、風を切って走る（つまりそれなりの速度が出せる）気持ちよさ、クルマと違って目的地の近くまで乗り入れられる手軽さ、といったものを最大限に活かせる

るシステムになるよう配慮されている。

同様に、自転車に慣れ親しんだ日本人に対してわざわざコストをかけて導入するコミュニティサイクルには、ただの「2台目の自転車」ではない、メッセージ性を持たせることに大きな意味があると考えられる。それは、わが国に足りない、ルール遵守やハイスペックな自転車とのかかわりを改善することである。つまり、自転車のルールを知り、よい自転車の乗り心地を知ること、"ちゃんと自転車に乗ってみたいと思わせる"こと、ルールどおりに快適に動ける走行空間や駐輪空間を整備して、実際に"ちゃんと自転車に乗れる状況を実現する"こと、こういったことを推進できるシステムを導入することが、実はユーザーにとっての自転車の可能性を広げ、自動車からの利用転換を後押しする近道になり得るのではないだろうか。

現状のわが国のコミュニティサイクルの多くは、未だ従来型のレンタサイクルの延長線上であり、日頃の自転車利用の範疇を超えていないように思われる。東京都心部でおこなわれていたコミュニティサイクル社会実験時、係員の方に聞いた話でも、「近所のオフィスに勤めている方がお昼を食べに行くときなんかによく使われています」とのこと、徒歩の代替手段になっているケースが多いように見受けられる。これでは自転車はいつまでも「速い歩行者」でしかなく、自動車からの転換は生み出しにくいのではないか。今回取り上げた事例のような、ハイスペックの自転車で自転車走行空間を走る機会を与えるもののほかにも、ヴェリブと同じシステムで導入された富山市のシクロシティでは、ハンドル部分に「車道走行が原則です」とメッセージが入っていてルールを周知するような仕組みもある（富山市でも自転車走行空間の整備が進んでいる）。短期的に見れば自転車の利用者数、回転数を評価するのがレンタサイクルシステムだろうが、わが国においてはその導入による波及効果にも注目すべきではないだろうか。



シクロシティの自転車を運搬する巡回車とシクロシティの自転車のハンドル部分（富山市）

参考文献

ヴェリブウェブページ

Deuche Bahn : Call a Bikeウェブページ

Melbourne Bike Shareウェブページ

VicRoadウェブページ

宇都宮市ホームページ

新潟市ホームページ

新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会ホームページ

スマートクルーズホームページ

アンケートの実施と結果

着地型観光のサイクリングにおいて必要な資源であるレンタサイクルについて、観光庁を通して全国にアンケート調査をおこなった（アンケート項目資料を巻末に示す）。

この回答の中で有効なもの（特筆すべき先進的な事例はないという回答を除外）は、巻末（A3 サイズ見開き）の一覧表に示す 142 件であった。

また、このアンケートとは別に昨年度の調査研究で収集したサイクリングマップに記載されている情報を基にインターネット等で追加調査をおこなって収集した全国のレンタサイクル情報 333 件についても（A4 サイズ）示す。

これらの都道府県別の内訳は、右図の通り。

なお、貸し出している自転車の種類のほとんどが買物用のミニサイクルかシティサイクルで、下のグラフに示すように MTB、タンデムを貸し出している事例は少なく、電動アシスト自転車が 3 分の 1 程度（51 件、36%）である。

スポーツバイクを貸し出している事例は非常に少なく「徳良湖オートキャンプ場」（山形県）、「スマートクルーズ」「上越市バイシクルモトクロス場」（ともに新潟県）、「伊豆の国レンタサイクル」（静岡県）、「今治市レンタサイクル」（愛媛県）の 5 例ほどしか挙げられてきていない。

ただし、主な利用対象として観光利用に対するものがほとんど（124 件、87%）であり、着地型観光の利用には供している。

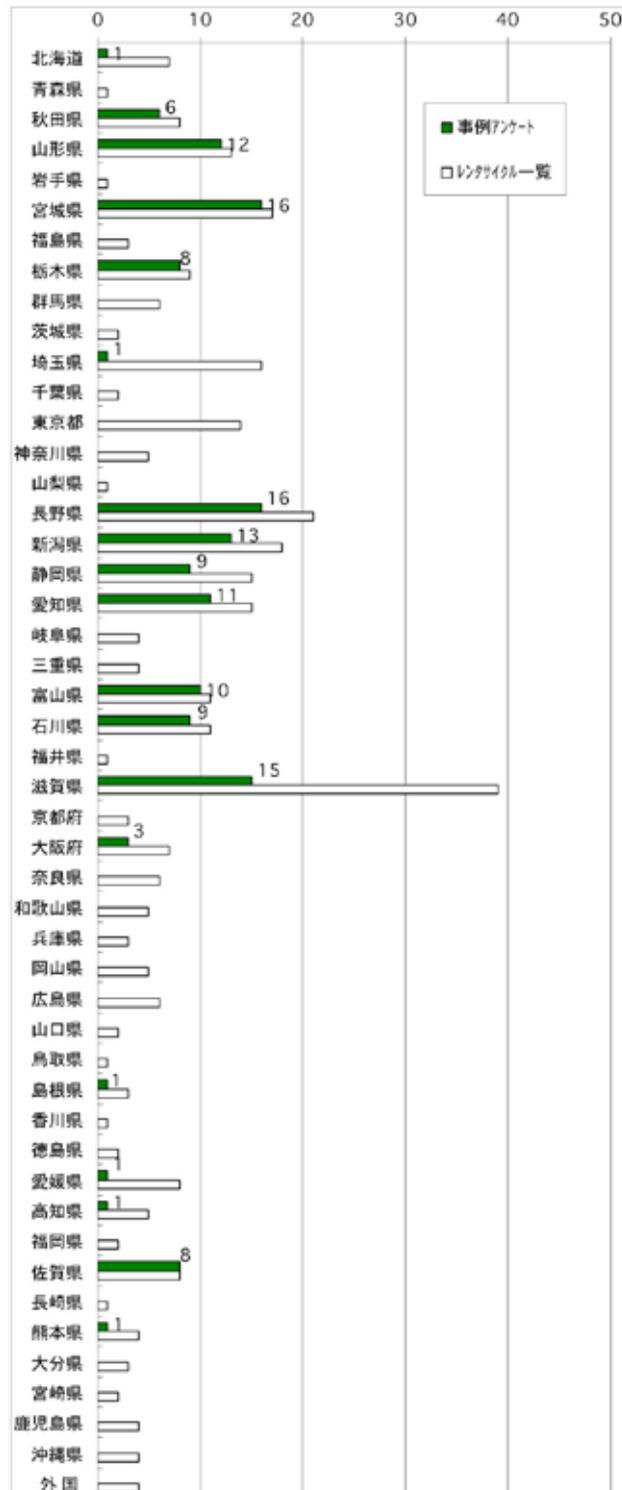
事業の管理主体については、観光協会によるものが多く観光目的とした事例が集まったと考えられる。

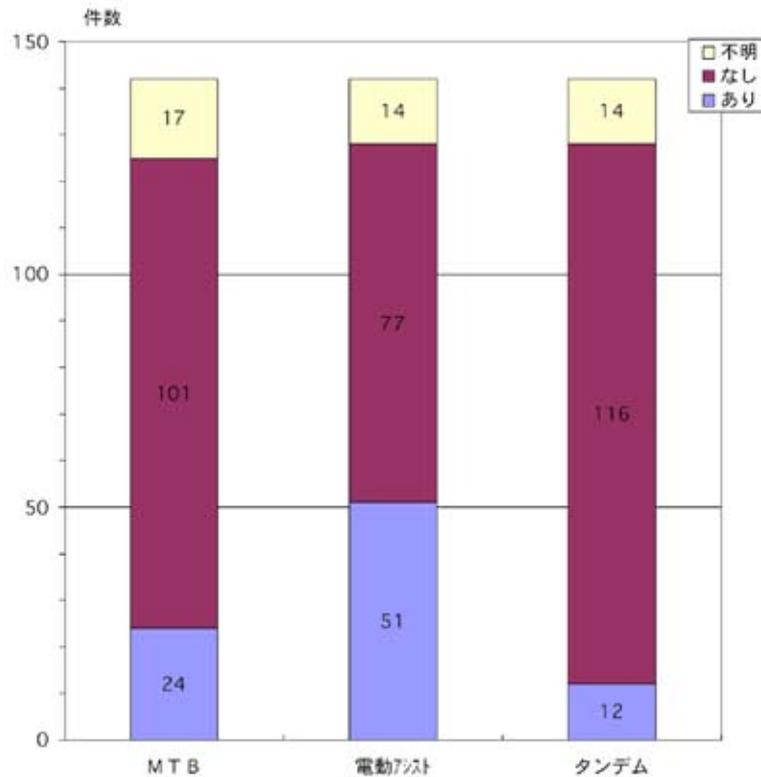
しかし、当初考えていた先進的な事例が少なく、まだまだ着地型観光資源としての整備・改善が必要である。

また、アンケートの中から注目すべき事例について抽出して個別に追加の問い合わせをおこなった。

着目点としては、

- ・「無料で使える洗濯機・乾燥機を用意」
- ・「公共交通機関がないため唯一の移動手段」
- ・「GPS・自転車ナビを活用」





- ・「高級スポーツバイクの貸し出し」
- ・「低炭素社会型観光地プロジェクトの一環」
- ・「シャワールーム・簡易宿泊施設」などがある。

この結果によると、「ポロクル」（北海道）と「堺市コミュニティサイクル」（大阪府）は日常の公共利用により放置自転車の減少やCO₂排出量の削減を目的として環境に配慮した“まちづくり、を目指したサイクルシェアのシステムである。

登録して手に入れたICカードにより、市内の各地に設置されたサイクルポートのどこからでも自由に自転車を借り出して通勤・通学・ビジネス・観光に利用し返却できる。

ポロクル
札幌みんなのサイクル
法人向けサービスのご案内
登録制のサイクルシェアで
業務効率UP!
コストDOWN!

どこのポートでも貸出・返却OK
"まち"の移動を
スムーズに!

使い方は簡単!!
ポロクルカードをかざすだけ!

従量プラン 1回 147円
定額プラン 3,150円

2つの保険で
ご利用中の
ケガも補償

1枚のカードを
2名以上で
シェアOK!

TEL 011-801-1523

札幌市内各所にポートを設けた「ポロクル」（北海道）

ご利用方法

1. 利用申請
 - ※登録料、保証料、申込料、各自転車毎の400円の保証サイクルポートを交付
2. 利用カード発行
3. 料金をカードにチャージ

利用申請 登録申請書と写真の提出が必要となります。

利用中 利用申請書に必要事項を記入し、必要書類を提出します。

利用料金

利用時間	1台	2台	3台	4台
1時間	300円	600円	900円	1,200円
2時間	400円	800円	1,200円	1,600円
3時間	500円	1,000円	1,500円	2,000円
4時間	600円	1,200円	1,800円	2,400円
5時間	700円	1,400円	2,100円	2,800円
6時間	800円	1,600円	2,400円	3,200円
7時間	900円	1,800円	2,700円	3,600円
8時間	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
9時間	1,100円	2,200円	3,300円	4,400円
10時間	1,200円	2,400円	3,600円	4,800円
11時間	1,300円	2,600円	3,900円	5,200円
12時間	1,400円	2,800円	4,200円	5,600円
13時間	1,500円	3,000円	4,500円	6,000円
14時間	1,600円	3,200円	4,800円	6,400円
15時間	1,700円	3,400円	5,100円	6,800円
16時間	1,800円	3,600円	5,400円	7,200円
17時間	1,900円	3,800円	5,700円	7,600円
18時間	2,000円	4,000円	6,000円	8,000円
19時間	2,100円	4,200円	6,300円	8,400円
20時間	2,200円	4,400円	6,600円	8,800円
21時間	2,300円	4,600円	6,900円	9,200円
22時間	2,400円	4,800円	7,200円	9,600円
23時間	2,500円	5,000円	7,500円	10,000円
24時間	2,600円	5,200円	7,800円	10,400円

※電動アシスト自転車は、定額設定ではありません。
※「まちながサイクルポート」では電動アシスト自転車の貸出はできません。

公共交通を補完する「堺市コミュニティサイクル」(大阪府)

追加アンケートに同封されて届いた案内パンフレット・資料を提示した。

一方、着地型観光に最も対応していると思われる先進的な事例として伊豆の国レンタサイクル「狩野川ペロ」と「浜名湖ゆーりん」(ともに静岡県)の例が認められる。

これらの2例はともに観光客への交通空白地域に対する利便性を目的として始められ、独自にイベントを実施したり、モデルコースを用意・案内して対応している。

伊豆の国レンタサイクル 狩野川ペロ

※ペロとは自転車の意味。あなたも狩野川ペロで、伊豆の風景をもっと気楽に、もっと気楽に楽しみましょう！

ご利用時間 10:00~16:00
 (貸し出し所/サイクルステーションは市内に4箇所)

ご利用料金(1台) 500円/日

市内に4箇所のサイクルステーション(自転車貸し出し所)

電話でお問い合わせの方は…
 伊豆観光推進課 伊豆長岡駅 伊豆の国市南郷773-2
 ☎055-949-5840

おクルマでお越しの方は…
 伊豆のへそ 伊豆の国市田原195-2
 ☎0558-76-1630

富士エリアの史跡めぐりに…
 鷹屋敷 沢 (富士反射台となり) 伊豆の国市中272-1
 ☎055-949-1280

伊豆長岡温泉にお泊まりの方は…
 伊豆の国市観光協会 伊豆の国市古妻255
 ☎055-948-0304

お問い合わせはこちら
 ☎055-948-0304

貸し出し所、伊豆の国の、運送会社の車からの入館にレンタサイクルで送ろう！
 「観光歴史的パフォーミング・サイト」マップ掲載中です。
 詳しくは 伊豆の国市観光協会 電話055-948-0304まで

伊豆の国レンタサイクル「狩野川ペロ」

会津高原たかつえ MTB リゾートで
山チャリデビュー
TAKATSUE Mountain bike!!
手ぶらでOK!!
ビギナー・ファミリーでも安心!!

手ぶらでOK!! サポートプランはこちら	ファミリープラン(2人)	手ぶらで安心プラン(2人)	ゆったりプラン(1日)
親子4名以下	大人 3,000円 子供 2,000円	大人 5,000円 子供 3,500円	大人 6,500円 子供 4,000円
料金	10,000円	5,000円 / 3,500円	6,500円 / 4,000円
内容	インストラクター・レンタルバイク ●保険料別 ●入場料込み	インストラクター・レンタルバイク ●保険料別 ●ドリンク5杯 ●入場料込み	レンタルバイク ●保険料別 ●入場料込み

たかつえMTBリゾートは施設が充実!!
いっぱい遊んだ後は、ゆっくりのんびり遊ばせよう!

ACCESS

会津高原たかつえMTBリゾート
〒977-0216 福島県会津若松市柳田町1-1-1
TEL 0241-78-3099
www.takatsue-mtb.jp

手ぶらでOK をうたっている「会津高原たかつえ MTB リゾート」(福島県)

また、MTB、クロスバイクなどのスポーツバイクを貸し出す場合にギヤチェンジなどの操作について解説指導がおこなわれている。

これらの2例と「電気でGO!!」(富山県)などでは電動アシスト自転車を貸し出しているが、スイッチの入れ方・漕ぎ方などの実演指導をおこない電池切れについての電池残量の確認と使用後の都度の充電などの対応がなされている。

他には、事例アンケートでは出てきていないが「会津高原たかつえ MTB リゾート」(福島県)でドイツ BIONICON 社とタイアップし、MTB をインストラクターのレッスン付きでレンタルサポートしている。

シティサイクルとスポーツサイクルの違いとは？

レンタサイクルで貸し出される自転車は、シティサイクルと呼ばれる買い物や通勤・通学など日常の交通手段に用いられるものが大半を占めていた。サドルにドカッと腰を下ろした直立に近い乗車姿勢で、その用途からいって短中距離用であり、常用速度も低中速となっている。荷物を載せるキャリアやかご、夜間走行に備えたライト、停車時の車体を支えるスタンド、泥や水はねを防ぐマッドガード、油污れや衣類の巻き込みを防ぐチェーンガード、盗難を防ぐキーなどがほぼ標準とされる一方、変速機はないものがあり、あっても内装式（3・5・7・8速）が主流で、外装式も8速までとなっている。一般に重量があり、20kgを越すものも珍しくはない。

見どころが集中する町中の散策なら、このシティサイクルで十分だが、これまで自動車で巡っていたところを自転車で巡るとなると、やはりシティサイクルでは力不足となる。また、これまで単なる移動手段と見なされてきた自転車が、乗ることそのものを楽しむよう変化しつつある。近年現れてきたスポーツサイクル利用のレンタサイクルは、まさにこうした変化に即応したものといえるだろう。スポーツサイクルは前述したシティサイクルとは異なり、装備を必要最低限として軽量化（10kg前後）する一方、多段（8～30速）の変速機を備え、高低差のある地形に対応でき、常用速度も高速となる。距離も必然的に延び、往復150kmのしまなみ海道や、一周210kmの琵琶湖などもカバーできることになる。

スポーツサイクルは利用者に対する事前指導とメンテナンスが必須

もちろん、スポーツサイクルのレンタルに、シティサイクルとは異なるノウハウが求められていることは言うまでもない。そのひとつはレンタサイクルの利用者に、スポーツサイクルの乗車経験があるとは限らないことである。多段変速は後ギヤだけではなく前ギヤでの変速との組み合わせで実現しているのだが、後ギヤの変速はいざ知らず、前ギヤの変速をどのタイミングでおこなえばいいのかわからないという人は意外と多い。その結果、後ギヤの変速だけに頼ることになり、急坂では自転車を押して上る羽目に陥る。また、一般的にブレーキがシティサイクルより強力であるため、急ブレーキをかけたときの思わぬ挙動（場合によっては車輪がロックして前転することも）に面食らうこともある。サドルの高さを上げた前傾姿勢に違和感を覚える人や、むき出しのチェーンにパンツの裾をからませる人もいるだろう。

また、ロードバイクやクロスバイクの細めのタイヤは乗る人自身も不安を感じるかもしれないが、実際問題として側溝のふたにタイヤがはさまったりマンホールや道路標示でタイヤをすべったりと、シティサイクルのタイヤと比べてより慎重なハンドルさばきを求められることが少なくない。

そのためスポーツサイクルを貸し出す際には乗車経験を確認し、その経験がない、あるいは少ない場合は、利用者に対して適切な事前指導をおこなうことが必須となる。つまり事業者にはきちんと教えるための素養はもちろんのこと、教えるにあたって時間も人手も要するということを肝に銘じてもらいたい。

スポーツサイクルはシティサイクルに比べ、メンテナンスの手間もかかる。高低差のある地形に対応する多段変速を正確に作動させるには、サビの発生や抵抗の増大を防ぐこまめな注油が不可欠

というだけでなく、変速ワイヤのテンション調整やギヤのストローク調整といった繊細な作業が求められる。細いタイヤは空気圧の管理がシビアで、空気が足りないと乗り心地が劣ったり転がり抵抗が増したりするだけでなくパンクの発生頻度も増す。貸し出す前の空気圧チェックは、事業者として当然の義務となる。

ブレーキの操作については前述したとおりだが、確実な制動力が得られるようメンテナンスにおいても、ワイヤのほつれや断線がないかどうかの確認はもちろんのこと、ブレーキシューが摩耗していないか、ブレーキレバーを握ったときの遊びが適切かどうかのチェックは欠かせない。これらの確認はシティサイクルでも必要なことであるものの、スポーツサイクルではよりシビアになると考えてほしい。

高価格に見合った質を確保し、説得力を持って語る

ここまで述べてきた貸し出す際の事前指導や必要とされるメンテナンスは、誰もが簡単にできるようになるものではない。事前指導に関しては、日本サイクリング協会の講習会などを受講してノウハウを身につける必要があるし、メンテナンスに関しては事業者自身がおこなう方法に加え、地元のサイクルショップの協力を仰ぎ、そちらに任せる方法もある。

このようにスポーツサイクルのレンタルにはハード面・ソフト面のケアが欠かせないうえ、自転車本体の価格も数倍から十数倍となるため、利用料金は必然的に高くなる。1日の料金で見ると、本報告書でも取り上げた愛媛県今治市の「ジャイアントストア今治」は3200円～5000円で、滋賀県彦根市の「五環生活」は2000円～2500円、新潟県新潟市の「スマートクルーズ」は2500円などとなっている。スポーツサイクルについて、ある程度の知識と経験がある人からすれば納得の金額も、初めての人にはなぜこうした金額になるかの説明とともに、スポーツサイクルに乗ることで旅の喜びがどれだけ増すのかを、説得力を持って語ることが求められるであろう。

電動アシスト自転車よもやま話

〈歴史〉

1993年にヤマハ発動機が「パス」を地域限定発売したことで、電動アシスト自転車の門戸が開かれ、その後、数多くのメーカーが電動アシスト自転車の発展に関与した。現在では電動アシストから撤退したとはいえ、本田技研工業等の存在も大きかったといえるだろう。

電動アシスト自転車の発展を述べる際には、バッテリーの進化は避けては通れない。概略すると、充電時間は当初の約10時間から2時間ほどに、走行距離は約2倍に、車体の質量は約3分の2へと推移した。

電池は1993年の鉛、1995年にはニッカド、1997年にニッケル水素、そして2003年には現行のリチウムイオンになった。今後の進化は大変興味深いところである。

また、電動アシスト自転車のより一層の安全性向上を図ろうとする業界ははじめ関係各位の尽力が、法令基準の改正につながった。

2008年の道路交通法の改正によりアシスト比率が従来の1:1から1:2になったが、これにより従来以上に安定したスムーズな発進、特に登坂路における発進と安定走行が容易となり、また、荷物を搭載した場合や、体力に欠ける人の走行時の疲労を軽減、そして、速度の出しすぎを抑制（高アシストを低速域に限定）するなど、これらも電動アシスト自転車の発展に寄与した。

ここで電動アシスト自転車の国内出荷台数の推移に目を向けると、自転車協会（当時は日本自転車工業会）が統計を開始した1996年は約9万2000台だったが、自転車の国内生産と輸入が逆転した2000年には約14万6000台、以降は毎年約1割の伸長率で出荷台数を増やしてきた。リチウムイオン電池が取り入れられた2003年には大台を突破して約21万4000台に達し、道路交通法が改正された2008年には約31万6000台の突破とともに、原付第一種の出荷台数を超えた。

2011年に出荷台数が約43万台となったのは、震災特需の影響が多分にあったと推察されるが、2012年には約38万6000台を数えた。

〈業界自主基準〉

日本工業規格（JIS）には、電動アシスト自転車の設計指針が示されているにすぎない。

自転車協会の安全基準も2001年の設定から2008年の道路交通法改正まで、主だった改正はなかったが、2010年に業界独自の基準改正をおこなった。

各メーカーがパンフレットやウェブサイトなどに表示している一充電当たりの走行距離について、利用実態に近い測定方法を業界統一基準とした（※走行距離統一測定基準マークは、次ページ図を参照）。自動車の走行距離表示を例に挙げてわかりやすく言うと、60km定地走行表示から10モード表示に変更したようなものである。

続いて2011年にも、業界独自の基準改正がおこなわれた。要約すると、駆動補助装置の制御部および駆動部について、容易に規定の改造ができない構造または制御とすること、電池がなくなった（駆動補助終止）状態から15分以上、最低光度を保って点灯を持続することなどである。

一方、海外ではIEC（電気・電子部門に関する国際規格）において、充電関連規格（システムとしての安全性や通信方式等、コネクタの実際の形状）の統一が検討されており、目が離せない状況である。

〈安全に楽しく！〉

業界ではホームページ、リーフレットなどを通じて電動アシスト自転車の安全走行に関して、広く一般に啓蒙活動をおこなっている。

電動アシスト自転車も一般用自転車と同様に安全な乗り物でなくてはならず、利便性の向上に見合う車体自体の安全性と、利用者の正しいマナーの遵守が不可欠である。

電動アシスト自転車特有の乗車時の注意について（自転車安全利用五則の遵守をはじめ、乗車前の点検などは普通自転車とまったく同じ）。

- ・ケンケン乗りは危険ですからやめましょう。
- ・両足が地面に着くよう、乗る前にサドルの高さを調節しましょう。
- ・サドルにまたがってペダルに足をかけない状態でスイッチをONに。
- ・降車時は完全に停止してスイッチをOFFにしてから。

自転車の事故で最も多いのが交差点での出会い頭の事故である。電動アシスト自転車は発進が楽なので、一旦停止をしても苦にならない。これは特に高齢者に向いている。正しい乗り方を理解して、最初のうちは十分に練習してから乗車していただきたい。

冬場のバッテリーは、その性格が夏場と異にすることを理解して欲しい。

なお、幼児二人同乗用自転車に関する留意事項については、自転車協会ホームページのトピックス (<http://www.jitensha-kyokai.jp/>) を参照方。

電動アシスト自転車の形式認定は強制ではないが、紛らわしい自走式との区別・認定のためにも、ぜひとも型式認定を受けた電動アシスト自転車への乗車をお勧めする（目安はBAAマークやTSマーク）。

安全にお乗りいただくためのご理解とご協力をお願い

業界では皆様により安全で環境に配慮した製品をお選びいただけるようにカタログや製品などにマークを掲示しております。



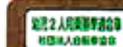
BAAマーク

「BAA」は安全安心で環境にやさしい自転車を目標に、安全性の向上と環境保全を目的とした自転車安全基準をもとに、乗る人の安全を第一に考えています。



TSマーク

TSマークは国家公安委員会の型式認定を取得した車両のみ表示することができるマークです。



幼児2人同乗認証マーク

幼児2人同乗対応のための高いレベルと安全基準を満たした自転車にはBAAマークの下に同基準適合自転車の認証マークがついています。



走行距離統一測定基準マーク

本マークは各メーカーが同一条件で走行距離を測定していることを示しています。

自転車市民権の確立に向けて（自転車セミナー事業）

日本自転車普及協会では、平成 22 年度から一般の方を対象に「自転車セミナー」を開催している。

このセミナーは「自転車市民権」の確立を目指すことを目的にしており、自転車と環境・健康問題、都市交通における自転車の役割・走行空間、自転車の楽しみ方などをテーマとし、情報の共有を図り、さまざまな問題を考える場として始めた。すでに 3 年間で 23 回開催し、参加者からも好評で、着実に定着してきている。

わが国には現在約 7000 万台の自転車があると推計され、台数、利用率からすると自転車大国といって差し支えないと思われる。しかしながら、その利用状況をつぶさに見てみると、多くの問題や課題を抱えていることがわかる。

まず自転車の走行空間については、まともに走れるところがないのが現状である。自転車は軽車両であり、したがって車道走行が原則であるが、自転車専用道、自転車レーンが少ないため、車道上ではクルマに追いやられ、車道端（場合によっては路側帯、路肩）を肩身の狭い思いをしつつ危険を感じながら走行せざるをえない。さらに駐車車両があり、また、側溝、段差、亀裂と端ならではの障害が存在している。例外的に歩道を通行できる場合も、自転車は徐行が義務づけられている。そもそも歩道は歩行者の絶対的な安全を確保する場であり、本来の趣旨からすると軽車両である自転車の乗り入れを認めるべきではない。

ルールについては、自転車に関するルールが複雑すぎることもあるが、基本的なルール（信号、左側通行、夜間の灯火、一時停止）すら守らない自転車利用者が多く、自転車側に起因する事故の増加や歩行者・クルマに迷惑を掛けるケースが多く見受けられる。また、駅前等での不法駐輪も後を絶たず、自転車を迷惑な存在と考える向きも少なくない。

こうした背景には、1970 年の道路交通法の改正により、自転車が歩道通行できるようになったことがある。徐々に歩道通行する機会が増え、自転車が車両というより、歩行者と同様の存在になってしまったと考えられる。そのため、どこをどのように走るべきなのかが混乱し、あるいはルールを守るといふことへの意識が希薄になっている。

また、自転車は本来近距離においては最も有効な交通手段となりうるのに、歩道通行を前提にすぐに足を着ける自転車（いわゆるママチャリ）や乗り方が主流となり、本来の性能を十分に発揮する使われ方がされていない状況にもある。

「自転車市民権の確立」とは、本来自転車の持つ性能・可能性を認識し、自転車が車両として、弱者がより優先される健全な交通体系の中で機能すること、そのためにわかりやすいルールのもと利用者がルールをしっかり守っている社会の実現を意味している。

当協会では今後も、この自転車市民権の早期確立を目指し、自転車セミナーを通じて広く一般に啓発活動を続けていく。

行政側においても、施策に自転車の利用促進やサイクリングの活用を取り入れる際には、これらのことに留意していただきたい。

(平成24年度) 総括 (まとめ)

委員長 蓮見 孝

「自転車乗用に関する調査研究」は、公益財団法人日本サイクリング協会（JCA）が、公益財団法人 JKA より競輪補助事業の補助金助成を受けながら、8 年間の長期にわたり継続的に取り組んできたものである。

サイクリングの振興は、国民の健康増進、交流の促進、環境にフィットする生活スタイルのアピール、そして観光振興など、多様な視点から見てきわめて重要な国家的課題といえるが、その基盤である自転車乗用環境の整備については、自治体それぞれの施策にまかされ、総合的な見地からの検討が十分におこなわれてきたとは言いがたい。サイクリングの振興を目的とする JCA にとって、この課題に真摯に取り組むことは基本的使命でもあり、多様な観点から自転車乗用環境の整備について調査・研究を進めてきた本研究の意義は大きいと考える。

今年度の調査研究事業では、自転車を社会的に有効活用するための対象として、「観光」に着目した。旅行会社による企画ツアーというような一般的な発地型観光ではなく、地域が自ら地元固有の観光資産を発掘・整備し、多くの交流人口を呼び込もうとする「着地型観光」の可能性に注目し、着地型観光にサイクリングを活かす方策について調査研究をおこなった。

「着地型観光」と「スポーツツーリズム」

注目すべきは、旅行先で気軽に多様なスポーツに親しめる「スポーツツーリズム」を、観光庁をはじめとする各省庁が連携して推進しようとしていることである。サイクリングを「するスポーツ」の代表格と位置づけ、スポーツツーリズムの一手段として積極的に活用しようとする動きが活発化している。サイクリングは国内旅行の需要喚起に留まらず、スキー等スポーツへの指向性が高い外国人旅行者の訪日促進にも寄与するものと期待され、観光振興の新たな切り札として注目されているのである。

「ミッシングリンク」と「サイクル・リンク」

観光地における自転車乗用環境の整備においては、平成 20 年度の調査研究において注目した「サイクル・リンク」という概念が参考になると思われるため、本調査研究報告においても、その概要について再度掲載した。サイクル・リンクとは、アメリカなど自転車先進国において積極的におこなわれてきた「ミッシングリンク」をつなぐしかけのことである。自転車の走行ルートは、その実態として各所で“ぶつ切り状態、となっており、たとえば、切れた部分をつなぐ誘導標識等の不備により、その魅力が大きく阻害されているような事例が散見される。このようなミッシングリンクを発見し、その失われた部分をていねいにつなぎ合わせようとするサイクル・リンク化を推進することにより、既存の自転車乗用環境の魅力を大幅に向上させることができるはずである。たとえば、自転車道と一般道をつなぐ巧妙なしかけの事例として、しまなみ海道においても試みられている「しまなみブルー」と呼ばれる“青い線、が挙げられる。たった 1 本の細い線を引くだけで、迷わず走り続けることができるのである。

着地型観光にサイクリングを活用した先進事例

本調査研究では、日本各地で先駆的におこなわれている、着地型観光にサイクリングを有効活用した事例の収集に努めた。より多くの観光客を呼び込み交流人口を増やすためには、どこでもおこなわれているような画一的な内容に留まることなく、画期的な魅力演出や差異性の創出に尽力すべきである。

各事例をつぶさに観察してみると、「ツアー企画に先進性がある事例」、「レンタサイクルに用いられる自転車に先進性がある事例」、そして「その両者を併せもつ先進事例」の3種類に分類できた。

「ツアー企画に先進性がある事例」では、参加者を女性に限定した「紀ノ川でのレンタサイクルツアー」や、「散走」をテーマに濃い体験を提供しようとする「オーブ南青山」、元MTBダウンヒル選手が本格的なMTBガイドツアーを楽しませてくれる「Blss」、東京近郊で気楽に本格的サイクリングが楽しめる乗り捨てシステムを特徴とする「トレックリング」、レンタサイクルに交通機関と宿泊を加えたパックツアーである「しまなみ手ぶらでRail & Cycling」を紹介した。

レンタサイクルに用いられる「自転車に先進性がある事例」では、日常目にする実用車を並べたレンタサイクルではなく、非日常的なハレ（晴）の気分を高揚させるものとして、絵本の世界から飛び出したような可愛いレンタサイクルを用意した和歌山電鐵の「たま自転車&いちご自転車」、本格的なクロスバイクやロードバイクで琵琶湖一周ができる「びわ湖一周レンタサイクル」、おしゃれなポタリング自転車が低額で借りられ谷根千（谷中・根津・千駄木）散策が楽しめる「トーキョーバイクレンタルバイク」、勢ぞろいした最新のスポーツバイクでしまなみ海道を走破する「ジャイアントストア今治レンタサイクル」を紹介した。

「ツアーとレンタサイクルの双方に先進性がある事例」では、滔々と長距離を流れ下る川沿いのサイクリングを楽しみやすくするレンタサイクルシステムを整備した「四万十川りんりんサイクル&奥四万十楽しまんとライド」を紹介した。

さらに本調査研究では、今後の自転車を活用した着地型観光への取り組みの参考として、アジアをメインにインバウンドに力を入れている「富士トラベルサービス」、また、地方自治体が進めるインバウンドの取り組みとして「愛媛県・今治市」、県が一体となってサイクルツーリズムを推進している「静岡県サイクルツーリズム協議会」の活動を紹介した。

先進事例として紹介したものには、ツアーインストラクターによるツアーが多く見られた。インストラクターの人柄は、今後の着地型観光における交流形成やリピーターの確保に関わるきわめて重要な要素であり、これによってサイクリングの印象も、ひいては観光そのものの印象も大きく変わる可能性があると思われる。各事例を通して、それぞれの事例の評価ポイントを読み取っていただければと思う。

「レンタサイクル」

わが国におけるサイクリングの発展史を概観してみると、その発展基盤を支えてきたのは、主にサイクリストと呼ばれる自転車やサイクリングにこだわりの強い人たちであり、それらの同好者たちはかなりの距離を走破するロングライドを楽しんだり、自転車を分解して鉄道等で移動する輪行を試みたり、マイカーに自転車を積載し、要所要所でダイナミックな走りを楽しんだりして楽しんでいた。しかし一般の人々が気軽にサイクリングを楽しむ環境は、家の周りを巡る“チョイ乗り”を除けば、サイクルスポーツセンターや一部の観光景勝地におけるレンタサイクルでのサイクリングに限定されてきたといえるだろう。

今後、着地型観光においてサイクリングの一層の活用を図るためには、自分の自転車がなくとも気楽

にサイクリングを楽しめる、いわば“バイクレス・サイクリング”、とも呼べるようなサービスの提供と、それに用いるレンタサイクルの一層の普及と質の向上が不可欠であろう。本研究で紹介した着地型観光やスポーツツーリズムとしてサイクリングを活用した注目すべき先進事例では、そのすべてがレンタサイクルを前提にしている。

そこで、本調査研究では、国内（宇都宮市、新潟市、金沢市）での最新のレンタサイクルおよびコミュニティサイクルの現状や課題および海外（フランス・パリ、ドイツ、オーストラリア・メルボルン）の事例について調査報告した。自転車の保有率が比較的低い欧州諸国の人たちがレンタサイクルを借りる場合と、自転車に慣れ親しみ、一家に複数台の自転車を所有する日本人がレンタサイクルを借りるケースとでは、諸条件が大きく異なっているはずである。わざわざコストをかけて導入したレンタサイクルを、ただの“かりそめの自転車”と認識させるのではなく、なにがしかの付加価値を持たせる必要があると思われる。観光コンテンツの質を高める要素を加えたり、ルール遵守のための学習プログラムを付加したり、ハイスペックな自転車に乗る体験などと組み合わせることにより、ユーザーの自転車イメージを広げ、自動車からの利用転換を後押しし、わが国の生活文化の向上にもつながる可能性がある。

「コラム」と「全国レンタサイクル一覧」

コラムでは、今後の自転車活用計画において参考となるとと思われる情報提供として、「シティサイクルとスポーツサイクルの違い」や「電動アシスト自転車について」、また一般財団法人自転車普及協会主催による「自転車セミナー事業の報告」等を掲載した。

また、観光庁の協力により全国のレンタサイクル 329 例および外国（アメリカ、フランス、ドイツ）の 4 例について、その現状を「Web 掲載の有無」、「イベントの実施」、「モデルコース」、「距離」、「受付時間」、「料金」、「台数」、「ガイドツアーの有無」等の項目について調査し、その結果を一覧表にまとめ掲載した。今後のレンタサイクルステーションの整備等に活用していただければ幸いである。

本事業は、第Ⅰ期と第Ⅱ期の調査研究を合わせると 12 年もの長きにわたる。本事業は、調査研究委員会委員およびワーキンググループメンバー、そして多数の協力者の支援と尽力によって成し遂げられてきたものであり、関係各位の惜しみないご協力に厚く感謝したい。そして本年度もまた、観光庁はじめ多くの自治体や事業者、そして自転車乗用の振興活動に関わる市民団体など、多くのみなさまのご協力に支えられて事業を推進することができた。改めて、自転車を愛し、サイクリングの可能性に期待し、その乗用環境の改善・整備にたゆまぬ努力を続けてこられた関係各位に、心より感謝し御礼を申し上げます。

平成 25 年 5 月 31 日

平成 24 年度「自転車乗用に関する調査研究事業」

報 告 書

- 「着地型観光」に資するサイクリング活用方策の調査研究 -

公益財団法人 日本サイクリング協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3

URL : <http://j-cycling.org/>

Mail : jca@j-cycling.org

Tel : 03-3583-5628 Fax : 03-3583-5987

2013 年 5 月

No.	都道府県	事業名	事業者	貸出場所	受付時間	MTB	電動アシスト	タンデム	配布資料	利用区分	コメント
1	北海道	ポロクル	株式会社ドーコンモビリティデザイン	市内45か所	7:30～21:00 (冬季期間11月中旬～3月は降雪のため閉鎖)	×	×	×	○	日常	市内各所のサイクルポート間どこでも乗り降りができる。携帯電話、ICカードなどで事前登録が必要。
2	秋田県	レンタサイクル	大館市	大館駅前(公営駐車場)	8:00～20:00 (冬期間は休止)	×	×	×	×	観光	
3	秋田県	五風レンタサイクル	男鹿温泉交流会館 五風	男鹿温泉交流会館 五風	9:00～17:00	×	×	×	○	観光	観光に便利な男鹿半島ロードマップを配布。貸し出し所の五風には足湯があり、疲れた足を癒すことができる。五風に無料で使える洗濯機・乾燥機(予約制)を用意している。
4	秋田県	秋田内陸線『ちよいのりくん』	秋田内陸縦貫鉄道株式会社	阿仁合駅観光案内所(※H24年度中)	9:00～17:00	×	○	×	○	観光	※25年度以降の運用については未定です。
5	秋田県	サイクリングターミナル「やまゆり」	由利本荘市長		9:00～16:00 (夏季9:30～20:00)	○	×	○	×	観光	
6	秋田県		にかほ市	ひばり荘	9:00～16:00	○	×	○	×	観光	
7	秋田県		秋田県 美郷町	美郷町観光協会 他3ヶ所	9:00～17:00	○	○	○	×	観光	
8	山形県	朝日町観光協会	石井喜久男	あさひ旅のココロ館	9:00～	×	○	×	○	観光	
9	山形県	レンタサイクル事業	NPO新庄観光ガイド協議会	新庄市多門町1-2最上広域交流センター「ゆめりあ」	9:00～17:00	×	×	×	○	観光	新庄市では、普通自転車等のレンタルだけでなく、今後(財)日本サイクリング協会及び(財)JKAでのロードバイク貸出補助事業(無償)等がございましたらお願いしたい。
10	山形県	勤労者総合スポーツ施設(徳良湖オートキャンプ場)	尾花沢市	勤労者総合スポーツ施設(徳良湖オートキャンプ場)	9:00～17:00	○	×	×	×	観光	マウンテンバイク3台、ノーマル自転車(ママチャリ)3台料金500円/台
11	山形県	レンタサイクル	社団法人東根市観光物産協会	JRさくらんぼ東根駅	8:30～19:00	×	○	×	○	観光	観光の二次交通としての利用とビジネスの足としても利用されている。今後、更なる利用が増えるような戦略を整えたい。
12	山形県	酒田市観光用自転車	酒田市役所(観光物産課所管)	市内15箇所と飛島	原則9:00～17:00まで	×	×	×	○	観光	市内15箇所は、乗り捨て方式を採用し、利用者の利便性を図っています。飛島は、公共交通機関が無いため、唯一の移動手段として利用されています。
13	山形県	レンタサイクル つるおか	鶴岡観光協会	鶴岡市観光案内所、でがんす、荘内神社	9:30～17:00、 10:00～17:00 9:00～17:00	×	×	×	○	観光	借りた場所にその日に返していただく。無料。全部で28台。でがんすはおみやげ販売店である。
14	山形県	庄内町観光レンタサイクル事業	庄内町観光協会	余目駅構内「あまるめホッとホーム」	利用時間9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
15	山形県	中心市街地レンタサイクル・西部地区観光レンタサイクル	山形市(中心市街地レンタルは(社)山形市観光協会に委託)	中心市街地(9ヶ所のステーション)、西部地区(1ヶ所)	9:00～16:00	×	×	×	○	観光	中心市街地レンタサイクルは乗り捨て可能。
16	山形県	観光レンタサイクル	天童温泉協同組合	天童温泉協同組合事務所 天童市観光情報センター	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	点検・整備が難しい状況です
17	山形県	(有人駅による)レンタサイクル	山形鉄道株式会社	長井駅、他、宮内駅(南陽市)、荒砥駅(白鷹町)	各駅により異なる。※長井駅9～17時、4～11月(祭日休み)	×	×	×	×	観光	各駅シティサイクルタイプのみ。受付時間内であれば各駅間の貸出及び返却も可。山形鉄道備HP内に「ちやり旅のスズメ」の紹介もあり
18	山形県	米沢観光物産協会レンタサイクル事業	一般社団法人 米沢観光物産協会	米沢観光物産協会観光案内所	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	配布資料については特にないが観光案内所のため観光マップやパンフレットが置いてあり自由に持って行っていただいております。
19	山形県	レンタサイクル	NPO法人 遊佐鳥海観光協会	JR遊佐駅構内の観光協会事務所	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
20	宮城県	レンタサイクル	気仙沼観光コンベンション協会	気仙沼観光コンベンション協会	9:00～15:00 (返却17:00まで)	×	○	×	×	観光	
21	宮城県	おながわレンタサイクル	女川町観光協会	牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神60-3-5	9:00～16:00	×	○	×	×	観光	現在、休止中
22	宮城県	せんだい秋保文化の里センター(通称;秋保・里センター)	秋保地域活性化協議会(仙台市指定管理者)	せんだい秋保文化の里センター(通称;秋保・里センター)	9:30～17:00	×	×	×	○	観光	秋保温泉郷の観光スポットや飲食店の散策の為にご利用いただいております。無料貸出(但し保証金として1千円預かり自転車返却時お返しします。)
23	宮城県	復興マルシェ無料レンタサイクル	石巻まちなか復興マルシェ、バナックけいてい	石巻まちなか復興マルシェ、バナックけいてい	10:00～15:00	×	×	×	○	日常	平日(7時～19時)、休日(1回2hr)
24	宮城県	観光レンタサイクル	白石市観光協会	白石駅観光案内所(東北本線白石駅構内及び東北新幹線白石蔵王駅構内)、白石	9:00～17:00					観光	3か所で連携し、乗り捨てが可能になっている。地元のサイクルショップと連携し、メンテナンスの行き届いた自転車を貸し出している。預かり金500円を徴収し、3か所のうち自転車の返却場所で預かり金を返却する。
25	宮城県	オークプラザ レンタサイクル	角田市観光物産協会	阿武隈急行線角田駅内オークプラザ	8時から17時(貸出時間)	×	×	×	×	観光	レンタルに関する情報は、角田市観光物産協会のHPでお知らせしています。5時間で100円。5時間を超えると1時間ごとに追加料金が100円掛かります。台数は、15台です。
26	宮城県			多賀城市観光案内所・国府多賀城駅観光案内所	10:00～17:00、 10:00～15:00	×	×	×	○	観光	
27	宮城県	(採掘業者の寄付金により購入したため事業名は特になし)	岩沼市総合体育館(管理施設)	阿武隈公園グランドクラブハウス	9:00～16:00	×	×	×	×	観光	阿武隈サイクルロードを走っていただく目的のもので、貸し出しは、ロードに名前を記入するだけ。自転車はかご付き自転車となっている。震災によりサイクルロードの一部通行止めあり。
28	宮城県		長沼フットピア公園レンタサイクル	長沼フットピア公園	9:00～16:30	×	×	○	×	観光	
29	宮城県		(株)とよま振興公社	水沢県庁記念館	9:00～16:30	×	×	×	×	観光	
30	宮城県		登米市観光物産協会	七福いちば、JR柳津駅	9:00～16:30	×	×	×	×	観光	
31	宮城県	中山平温泉レンタサイクル	中山平温泉観光協会	倉加屋	9:00～16:00	×	○	×	○	観光	
32	宮城県	七ヶ宿町観光協会	観光協会長 梅津 政志	なし	なし	×	×	×	×	観光	
33	宮城県	レンタサイクル事業	村田町観光物産協会	村田町役場	9:00～16:00	×	○	×	×	観光	幼児を前後に乗せられる3人乗り自転車有り
34	宮城県	レンタサイクル「やまゆり号」	丸森町企画財政課	阿武隈急行線 丸森駅	7:00～17:00	×	×	×	×	観光	バイクを利用した観光推進については当町でも有効だと考えていますので、駅からのレンタルに加え、町内でのサイクルイベントの実施について現在企画しております。
35	宮城県	美里町総合案内所		JR小牛田駅構内「美里町総合案内所」	9:00～17:00	×	×	○	○	観光	
36	栃木県	レンタサイクル	真岡鐵道株式会社	真岡鐵道真岡駅	8:00～17:00	×	○	×	×	観光	
37	栃木県	無料休憩所	黒磯駅前活性化委員会	カワツカ家	10:30～17:00(返却)	×	×	×	×	観光	リサイクルのママチャリ4台を貸し出しています。(1台100円)
38	栃木県		(有)プロスワールド	那須塩原市塩原682	8:30～17:00	×	×	×	×	観光	
39	栃木県	商店街活性化推進事業	喜連川商工会	和い話し広場	9:00～16:00	○	×	×	×	観光	貸出無料。但し預かり金500円。
40	栃木県	下野市観光協会 観光自転車貸し出し	下野市観光協会	・オアシスショップ・JR宇都宮駅石橋駅西口駐輪場	9:00～16:00	×	×	×	×	観光	
41	栃木県	観光貸自転車事業	壬生町観光協会	東武宇都宮線おもちゃのまち駅 自転車駐輪場	5:00～23:40	×	×	×	×	観光	
42	栃木県		那須未来株式会社	道の駅那須高原友愛の森	9:00～17:00	×	○	×	×	観光	
43	栃木県	宇都宮市レンタサイクル	宇都宮市	市営駐輪場(7箇所)	8:00～21:00	×	○	×	○	日常	レンタサイクルの運営は市営駐輪場の指定管理者である公益社団法人宇都宮市シルバー人材センターが実施。
44	埼玉県	広域レンタサイクル事業	埼玉県	県内鉄道駅前6箇所	9:00～18:00	×	○	×	○	観光	11月末までの事業(レンタサイクルの実証実験)になります。
45	長野県	森の宿 林りん館		森の宿 林りん館	9:00～17:00	○			×	観光	
46	長野県	別所線無料レンタサイクル	別所線電車存続期同盟会	下之郷駅、別所温泉駅	9:00～17:00	×	×	×	×	日常	
47	長野県	まちなかレンタサイクル	上田市	上田駅お城口駐輪場	9:00～17:00	×	×	×	×	日常	
48	長野県	真田の郷電動アシストレンタサイクル	上田市		8:30～17:15	×	○	×	×	日常	
49	長野県	みどりの自転車		信濃大町駅内大町市観光協会案内所	8:30～17:15	×	×	×	○	観光	大町市のみどりの自転車は、わちがい、いーずら、七倉荘、横川酒店などにもあります。放置自転車をボランティアの手により整備して無料で貸し出しています。
50	長野県	おもてなし自転車	小諸市観光協会	小諸観光交流館	8:30～15:00	○	×	×	×	観光	

No.	都道府県	事業名	事業者	貸出場所	受付時間	MTB	電動アシスト	タンデム	配布資料	利用区分	コメント
51	長野県	(社)信州しなの町エコツーリズム観光協会	会長 狩野 士	信濃町観光案内所(黒姫駅前)	9:00～16:00	×	○	×	×	観光	当協会加盟宿泊施設をご利用のお客様には無料でお貸しいたします。
52	長野県	レンタサイクル事業	回答者に同じ	下諏訪町友之町駐車場	9:00～年中無休	×	○	×	○	観光	友之町駐車場は、観光客の皆様にも町内をごゆっくり散策していただくため、駐車料金を無料にしています。1時間100円でご利用いただける電動自転車、ごゆっくり町内を散策下さい。
53	長野県	スワサイクルプロジェクト(スワクル)	スワサイクルプロジェクト	諏訪湖周辺(岡谷市・諏訪市・下諏訪町)のレンタサイクルショップ	各施設の営業時間内	×	○		○	観光	自転車を楽しむ街、自転車ファンやサイクルビルダーが集う自転車産業集積地を目指して、以下複数のプロジェクトを展開中 <工業分野> ・諏訪地域の精密機械工業技術(要素技術)とデザイナーの力の結集により、金属の精巧さと木のぬくもりを融合した木製フレーム自転車「もつくる(木龍)」を試作 ・大手企業がそのシェアの大半を占めている「変速機分野」において、『新しい変速機構』をプロジェクト参画企業において試作し、諏訪でしか乗ることができないオリジナルモデルの自転車開発(諏訪産の割合を高める)につなげる。 ・既にレンタサイクルの貸し出しを実施している民間事業者との連携により諏訪湖畔を「サイクルオアシス」化 ・宿泊・日帰りプラン造成や「自転車の新しい楽しみ方」を提案(キヤットアイ社GP S「INOUE」を活用した『ツーリングエンデューロin諏訪』11月11日開催) ・地元サイクルショップとの連携により、メンテナンスの実施及び自転車のJAF版の仕組みを構築中
54	長野県		松川村観光協会	セビア安曇野(信濃松川駅前)	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
55	長野県		駒ヶ根高原家族旅行村アルプスの丘	管理棟事務所	8:00～17:00	○	×	○	○	観光	
56	長野県	環境にやさしい交通社会形成事業	飯田市(担当課:地球温暖化対策課)	宿泊施設10ヶ所、観光案内所等5ヶ所	9:00～17:00(貸出時間)	○	○	×	○	観光	市内37ヶ所に貸出し拠点があり、そのうちホテル等宿泊施設10ヶ所と観光案内所等5ヶ所で市街地散策など観光目的で自転車利用されている。
57	長野県	レンタサイクル「ぶらり号」	一般財団法人信州いいやま観光局	飯山駅観光案内所、ぶらり広場、そば処幸輪	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
58	長野県		山ノ内町総務課	湯田中駅前温泉 楓の湯	10:00～16:00(返却は17:00まで)		○		×	観光	山ノ内町 湯田中 渋温泉郷は、坂の多い温泉街。そんな温泉街を電動アシスト車でゆったり観光してもらえよう無料で貸出を行っています。
59	長野県	戸倉上山田温泉旅館組合連合会レンタサイクル事業	戸倉上山田温泉旅館組合連合会	上山田ホテル、旅の宿滝の湯、亀清旅館、上田館、福寿草	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
60	長野県	イエロー自転車「イナリィー号」	稲荷山地区まちづくり推進会議	稲荷山公民館、まんが館、蔵館、稲荷山温泉杏泉閣	終日	×	×	×	×	日常	地区内自由に乗降できる無料レンタルです。カギはありません。基本的には乗車場所にお返しする様になっています。空いていれば誰でも利用可です。(台帳なし)
61	新潟県	J R 五泉駅	J R 五泉駅	五泉駅	9:00～17:00 取扱期間4/1～11/30	×	×	×	×	観光	
62	新潟県		JR東日本 加茂駅	JR東日本加茂駅東口	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	1日500円(ワンデー・ツーデーパスの人は無料)
63	新潟県	道の駅あらい・妙高高原ビジターセンターでのレンタサイクル	妙高ふるさと振興株式会社	道の駅あらい・妙高高原ビジターセンター	9:00～16:30	×	○	×	○	観光	
64	新潟県	スマートクルーズ	カミフル・サイクルステーション	新潟市内 8カ所	9:00～21:00	○		×		観光	ルイガノやビアンキ等の高級自転車の貸し出しを行っている。スポーツバイクを導入している。
65	新潟県	ニュー・グリーンピア津南サイクリング	ニュー・グリーンピア津南	ニュー・グリーンピア津南	9:00～16:00		○			観光	子供用自転車あり。ニュー・グリーンピア津南内のサイクリング施設であり、様々なレジャー施設や温泉等の施設が充実している。
66	新潟県	エコだっチャリ	佐渡観光協会	佐渡市内15カ所以上(うちホテル等10カ所以上)	案内所開設時間内(季節による変動あり。)	×	○	×	○	観光	自転車、乗り捨て(指定箇所)、デリバリー(指定箇所)のサービスあり。音声観光ガイド(要ipod)、マップダウンロードのサービスあり。寄れっ茶屋(約40カ所…道案内、トイレ提供等)の利用可。
67	新潟県	いわむろやレンタサイクル	新潟市岩室観光施設いわむろや	いわむろや総合案内所	9:00～16:00		○	×	×	観光	・子供用自転車(無料…大人用とセットの場合)あり。 ・いわむろや併設の足湯の利用可。
68	新潟県		市内レンタサイクル情報	J R 村上駅	9:00～18:00					観光	500円 えちごワンデーパス購入者は無料
69	新潟県			笹川流れ夕日会館・交流の館「八幡」	9:00～17:00					観光	500円 笹川流れ夕日会館・交流の館『八幡』での相互乗り捨て可能
70	新潟県			イヨボヤ会館・おしやぎり会館	9:00～16:30					観光	1時間あたりの料金200円 館内入場者は1時間100円で利用可能
71	新潟県	上越市バイシクルモトクロス場	上越市観光振興課	上越市バイシクルモトクロス場	9:00～17:00	○	×	×	×	観光	BMX場内のみでのレンタサイクルになります。
72	新潟県			役場前	8:30～17:00	×	×	×	×	観光	
73	新潟県		伊藤商会	店頭	8:00～18:30	×	×	×	×	観光	
74	静岡県	伊豆の国レンタサイクル(狩野川ペロ)	一般社団法人伊豆の国市観光協会	伊豆の国市観光協会・伊豆長岡駅・大仁道の駅伊豆のへそ	10:00～16:00	○	○	○	○	観光	MTBは子供用。タンデムはチャイルドシート(幼児用ヘル付き)他にブランドミニベロ・クロスバイクを導入しています。基本、平地・舗装路です。配布資料はマップです。
75	静岡県		(財)静岡観光コンベンション協会	市内9箇所	9:00～16:30(一部10:00～)	×	○	×	○	日常	ノーマル自転車については、各貸出場所への返却が可能。市外出身で市内の大学に通学している学生の協力を得てサイクルマップを6種類作成
76	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆへりん	かんざんじ温泉観光協会	かんざんじ温泉観光協会	9:00～16:30年間無休	×	×	×	○	観光	浜松市郊外の風光明媚な温泉観光地なので、市内のお客さまも自家用車で来て、レンタサイクルで浜名湖周辺を走ることがあります。もちろん観光客にとっても景観・食・温泉・史跡などを楽しめる。
77	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆへりん	舞阪町観光協会(浜松市より受託事業)	弁天島海浜公園	9:00～16:30(4月～9月)、9:00～15:30(10月～3月)	×	×	×		観光	・浜松市と湖西市が連携し6ヶ所での乗り捨てが可能。 ・地元のサイクルショップと提携し、メンテナンスの行き届いた自転車を貸し出している。
78	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆへりん		浜松市西区舞阪町弁天島「渚園レンタサイクルターミナル」	8:30～17:00	×	×	×	○	観光	
79	静岡県	レンタサイクル	奥浜名湖観光協会	天竜浜名湖鉄道気賀駅	9:00～16:30	×	○	×	○	観光	地元ガイドによるガイド付のサイクルツーリズムを実施。地元ならではの開設と裏道を使ったコース設定が人気。目的なく来た方にもおすすめコースを案内しています。周辺の観光協会等への乗り捨て可。★配布資料・・・付近図、クーポン、冊子など。
80	静岡県	ゆへりん浜名湖サイクリング		天浜線 三ヶ日駅・浜名湖遊覧船 コスタ港	9:00～16:00	×	○	×	○	観光	電動アシスト自転車は三ヶ日駅のみ5台
81	静岡県	レンタサイクル事業	湖西市	海湖館ターミナル	9:00～16:00	×	×	×	×	観光	
82	静岡県	レンタサイクル実証実験	静岡市	市内9ヶ所	9:00～15:00	×	○	×	○	日常	
83	愛知県		一宮市観光協会	未定	未定					観光	平成24年11月1日にオープンする尾張一宮駅前ビル1階の観光案内所において、平成25年度より観光を目的としたレンタサイクル事業(3人乗り自転車)を実施する予定で計画を進めています。
84	愛知県	レンタサイクル	西尾市観光協会	市内3ヶ所	貸出場所による(コト欄参照)	×	×	×	○	観光	西尾駅前「にしおよいとこ案内処」0563-57-7840年末年始以外9:30～16:00 上横須賀駅前「和み」0563-35-0975水曜日以外 9:00～16:00 吉良吉田駅前「峰」0563-32-2161日曜祝日の午後 9:00～18:00
85	愛知県	電動レンタサイクル	蒲郡市観光協会	蒲郡市観光協会	9:30～16:30	×	○	×	×	観光	
86	愛知県	木曾川沿川周遊サイクリング	国営木曾三川公園(フラワーパーク江南)	フラワーパーク江南 外国営木曾三川公園2拠点	9:30～15:00(返却16:00迄)	×	×	×	○	観光	江南市内の国営木曾三川公園の拠点であるフラワーパーク江南において、国の事業としてレンタサイクルを行っている。レンタサイクルは国営公園の外の2拠点とも連携し実施されている。
87	愛知県		指定管理者 大成グループ	すいとびあ江南	10:00～15:00	×	×	×	×	観光	
88	愛知県	レンタサイクル事業	公共交通利用促進協議会	小牧駅西駐車場	9:00～21:45(※但し、土日祝は7:00～)	×	×	×	×	日常	参考URL:http://www.city.komaki.aichi.jp/kotsu/kokyo/002249.html
89	愛知県	きよすあしがるサイクル	清須市	清洲ふるさとのやかた(清須市清洲古城479番地1)	10:00～15:00	×	×	×	○	観光	平成24年度は春季(4月1日～5月27日の土・日・祝日)と4月2日～6日及び5月1・2日は平日でも利用可)と秋季(9月15日～11月25日の土・日・祝日)の2回実施。各季の実施前には、地元店で自転車の整備・点検をしてもらっている。
90	愛知県	知立市レンタサイクル事業	知立市	知立市駅前自転車駐車場、知立市役所南自転車駐車場	知立市駅前自転車駐車場 8:30～17:00 知立市役所南自転車駐車場 8:30～	×	×	×	○	日常	貸し出し所にシャワールームはありません。貸し出し拠点は連携していないので、乗り捨てはできません。メンテナンスの行き届いた自転車を貸し出しています。
91	愛知県	田原市レンタサイクル	田原市 市民環境部 エコエネ推進課	セトワレ、三河田原駅、田原福祉センター、田原市役所、田原文化会館	9:00～17:00	×	×	×	×	日常	
92	愛知県	レンタサイクル	篠島観光協会	篠島観光協会	10:00～16:00	×	×	×	×	観光	

No.	都道府県	事業名	事業者	貸出場所	受付時間	MTB	電動アシスト	タンデム	配布資料	利用区分	コメント
93	愛知県		とよね観光株式会社	天竜奥三河国定公園茶臼山高原	9:00～15:00	○	×	×	○	観光	茶臼山高原のパンフレットの一部に、レンタルの情報が掲載されています。レンタルできない時期もありますので、詳細については茶臼山高原の事務所にお問い合わせ下さい。
94	富山県	魚津市コミュニティサイクル事業	魚津市商工観光課	魚津駅前観光案内所外3ヶ所	9:00～17:00	○	○	×	○	日常	
95	富山県	「電気でGo!!!」	一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局	宇奈月温泉街「いっぷく処」観光案内所	9:30～16:30	×	○	×	○	観光	低炭素社会型観光地として、環境にやさしい観光地を目指す「でんき宇奈月プロジェクト」の一環で、CO2を排出しない電気自動車・電動アシスト自転車のレンタル事業を行っている。「でんき宇奈月プロジェクト」に関する問い合わせは、同実行委員会0765-62-1106まで。
96	富山県		(有)あさひふるさと創造社	なないろKAN(朝日町農林地域総合交流促進施設)	9:00～17:00 (毎週火曜日休館)	×	×	×	×	観光	田園地帯に位置する観光交流施設を中心に配置された複数の施設を周遊できるように大人用自転車を無料で貸し出ししている。
97	富山県	街なか回遊性向上事業	富山市(委託先 株式会社まちづくりとやま)	富山駅前(観光案内所)、富山市民プラザ、まちの駅(池田屋安兵衛商店)	9:00～18:00	×	×	×	×	観光	事業の目的は中心商店街と点在する観光スポットを一体化させ人の回遊性を高めることにより中心市街地への来訪者の増加を図ることであり3つのステーションで貸出返却を可能としている。
98	富山県	レンタサイクル	高岡市商業雇用課	7ヶ所	10:00～16:00					観光	モデルコースあり、電動¥500、普通¥200/日
99	富山県	レンタサイクル	新湊観光船、川の駅新湊	各施設	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
100	富山県	高岡・氷見海岸絶景!シーサイドレンタサイクル	(一社)氷見市観光協会	JR雨晴駅、JR氷見駅、道の駅ひみ番屋街	9:00～17:00	×	○	×	×	観光	3ヶ所の貸し出し拠点が連携し、乗り捨てが可能となっている。
101	富山県	レンタサイクル	砺波市観光協会	観光協会ほか市内4箇所	9:00～18:00	○	○	×	×	観光	
102	富山県	電動アシスト自転車無料貸出し	小矢部市	道の駅メルヘンおやべ他3か所	9:00～17:00	×	○	○	○	観光	
103	富山県	レンタルサイクル事業	南砺市観光協会	城端(城端駅)、井波(井波交通広場)、福光(福光駅、福光会館)	城端(9:00～16:00)、井波(9:00～16:00)、福光(9:00～17:00)	×	○	×	×	観光	・市内の3地域で実施している。地域間は距離が離れており、相互間の乗り捨ては現実的でないため見対応。・エリアは現在休止中(平成25年春に再開予定)
104	石川県	まちなり	金沢レンタサイクル まちのり事務局	市内中心部18か所	貸出7:30～22:30返却24時間	×	×	×	○	日常	
105	石川県		和倉温泉旅館協同	和倉温泉観光会館	9:00～17:00				○	観光	
106	石川県	こまつレンタサイクル	(株)こまつ賑わいセンター	JR小松駅	9:00～17:00	×	×	×	×	観光	
107	石川県	楽輪々(らくりんりん)	輪島市観光協会	輪島市観光協会、曾々木観光協会、マリン交流施設、禅の里交流館	8:00～18:00	×	○	×	○	観光	デリバリー制度(配達・回収)+500円 提携宿泊施設においてレンタル受付や自転車の配達回収を行っております。
108	石川県	輪島市役所 交流政策課 観光課	輪島市	道の駅「ふらっとホーム」、マリン交流施設、曾々木観光協会、禅の里交流館	8:30～17:00		○		×	観光	
109	石川県	レンタサイクル	片山津温泉観光協会、山代温泉観光協会、NPO法人歴町センター大聖寺	片山津温泉内2箇所、山代温泉内5箇所、八間道乗船場	取扱店の営業時間内、9:30～16:30	×	×	○	×	観光	市内には3箇所レンタサイクルをしている場所がありますが、全て一般的なもので特に先進的な取り組みはありません。
110	石川県		(貸)自転車屋「白山下駅」	白山市河原山町	9:00～14:00	○	×	○	○	観光	タンデム車を所有しているが道交法の規制から、その利用は出来ないに等しいことから、一般公道の使用について関係機関に働きかけをお願いしたい。
111	石川県	おししサイクル	白山市	白山市鶴来支所、おはぎ屋、道の駅しらやまさん	9:00～16:00	×	×	×	○	観光	料金は無料です。ただし自転車の在庫不足の場合貸し出しできないこともあります。
112	石川県		(株)志賀町振興サービス富来サイクルターミナル	富来サイクリングターミナル	9:00～17:00 (季節により時間短縮あり)	○	×	×	○	観光	通常の自転車を貸出しています。自転車道路の専用のものはありません。
113	滋賀県	レンタサイクル めぐりんこ	湖東定住自立圏(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	近江鉄道愛知川駅コミュニティハウス一ふる愛知川	9:00～16:00	×	○	×		日常	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町で貸し出しを行っている。各施設での乗り捨てが可能である。
114	滋賀県	レンタサイクル事業	甲良町役場産業課	尼子駅	9:00～17:00	×	○		○	観光	
115	滋賀県	北部観光支援事業	守山市観光物産協会	守山宿町屋「うの家」、美崎公園、JAおうみんち、守山市埋蔵文化財センター	9:00～17:00	×	○	×	○	観光	
116	滋賀県	彦根市レンタサイクル「めぐりんこ」	彦根市(特定非営利活動法人五環生活に委託)	①彦根駅前サイクルステーション、②五環生活	①9:00～17:00、②10:00～18:00	×	○	×	○	観光	彦根市とともに湖東定住自立圏を構成する愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の一市四町で連携し、同一料金で運用しています。
117	滋賀県		(社)びわ湖高島観光協会	駅案内所等計6ヶ所	9:00～17:00	○	×	×	×	観光	乗り捨て可(別途料金)
118	滋賀県	めぐりんこ	湖東定住自立圏 多賀町	もんぜん亭、多賀観光協会	9:00～16:00	×	○	×	○	観光	
119	滋賀県	北びわこレンタサイクル		マキノ駅前観光案内所～米原市役所まで16ヶ所の駅・案内所		○	○	×	○	観光	施設によって異なる
120	滋賀県	ブラザ三方よし、五箇荘駅	東近江市観光協会	ぶらざ三方よし、五箇荘駅	8:30～17:00	×	×	×		観光	乗り捨て不可。500円/日
121	滋賀県	(有)国華商会	(有)国華商会		9:00～19:00			×		観光	乗り捨て不可。800円/日、500円/半日
122	滋賀県	青木自転車商会	青木自転車商会		8:30～19:00			×		観光	乗り捨て不可。500円/日
123	滋賀県	レンタサイクル田中	田中自転車店		9:00～19:00			×		観光	乗り捨て不可。500円/日
124	滋賀県	道の駅あいとうマーガレットステーション	財団法人愛の田園振興公社		9:30～16:00			×		観光	乗り捨て不可。500円/回
125	滋賀県	クレフィール湖東	クレフィール湖東		特に規定なし			×		観光	乗り捨て不可。500円/日
126	滋賀県	米原市電動アシスト付き自転車事業	米原市役所経済環境部商工観光課	グリーンパーク山東、近江母の郷文化センター、醒井水の駅、近江公民館、伊吹葉草の里文化センター	各施設による	×	○	×	×	観光	
127	滋賀県	北びわこ広域レンタサイクル事業(乗り捨て)	鉄道を活かした湖北地域振興議会(長浜市、米原市、滋賀県で構成)	米原市役所米原庁舎、近江母の郷コミュニティハウス	8:30～17:00	×	×	×	×	観光	
128	大阪府	堺市コミュニティサイクル	堺市	堺東駅前2ヶ所、JR堺市駅前、南海本線堺駅前、JR中百舌鳥駅前、堺伝統産業会館前	7:00～20:00	×	○	×	○	日常	さかいコミュニティサイクルは市内6ヶ所に設けられたポート間なら、どこでも貸出・返却可能な交通システムです。現在、通勤・通学・観光・ビジネスなどで多くの方にご利用頂いております。
129	大阪府	観光レンタサイクル	社団法人堺観光コンベンション協会	堺東観音内所・堺観音素内所・天応雨見案内所・自転車博物館	9:00～16:30 (自転車博物館のみ10時から)	○	○	×	○	観光	観客ニーズに合わせて、返却時間が自由なコミュニティサイクルを案内している。おすすめサイクリングルートのHP掲載やサイクリングマップ等の作成(堺自転車まちづくり市民の会)も行っている。
130	大阪府	COIDECOコミュニティサイクル	コイデコココミュニティサイクル実行委員会(運営団体：NPO法人パブリックスタイル研究所)	大阪市内の16箇所のポートで貸出&返却可能	2012/10/2-10/30 10:00～18:00	×	×	×	○	観光	今年で2回目となるコミュニティサイクルの実証実験。水都大阪フェス2012に合わせた実施期間で観光利用がとて多かった。自分ならではの観光ルートが組めると好評。
131	島根県	奥出雲町レンタサイクル事業	奥出雲町観光協会	奥出雲町サイクリングターミナル	9:00～18:00	○	○	×	×	観光	現在、町内5～7箇所にレンタルの配置を検討中。なお、尾原町は10月20日に日本初の観光庁のポータルシステム推進プロジェクト「ランナースインフォメーション研究所」設定サイクリングコースに認定されました。

No.	都道府県	事業名	事業者	貸出場所	受付時間	MTB	電動アシスト	タンデム	配布資料	利用区分	コメント
132	愛媛県	レンタサイクル事業	今治市指定管理者 財団法人今治勤労福祉事業団 (H23. 4. 1～H28. 3. 31)	市内6ヶ所		○	○	○	○	観光	ポトバイク、クロスバイク等のスポーツバイク導入。尾道と協定を結び相互乗り入れ、乗り捨て可能・今治市中央レンタサイクルセンター「サライズ 糸山」にはシャワー、簡易宿泊施設あり。
133	高知県	(社)四万十市観光協会		四万十市観光協会(乗り捨て可能な自転車もありターミナル7ヶ所)	8:30～17:30	○	×	×	○	観光	
134	佐賀県		回答者に同じ	新鳥栖駅観光案内所	9:00～18:00	×	×	×	○	観光	子供用自転車を用意している
135	佐賀県	玄来ちやりレンタサイクル事業	玄海町地域振興会	玄海海上温泉パレア	10:00～16:00		○		○	観光	玄海町に来ていただいて、ちやりんこでのんびりサイクリング。元気になっていただきます！
136	佐賀県	レンタサイクル	一般社団法人鹿島市観光協会	JR肥前鹿島駅, JR肥前浜駅	9:00～17:00	×	○	×	○	観光	詳しい内容は、 http://kashima-kanko.com/Sprentacycle.html をご覧ください。
137	佐賀県	レンタサイクル社会実験事業	小城市中心市街地活性化協議会	おぎ元気館(小城市中心市街地活性化協議会事務局)	9:00～16:30	×	×	×	×	日常	今後拠点施設が整備されて連携した貸し出しが可能かどうかなど、社会実験として取り組みを行っている段階です。先進的な事例を参考にさせていただきます。
138	佐賀県	武雄温泉保養村 ふれあいサイクル	保養村協力会(武雄市からの管理業務受託)	保養村モジュール「スカイのぼるくん」駅舎	9:00～17:00	○	×	○	×	観光	
139	佐賀県	観光貸し自転車「タケちやり」	財団法人武雄市観光協会	まちなか案内所「がばい」、武雄市内主要宿泊施設	9:00～17:00	×	×	×	○	観光	現在電気自転車導入検討中のため、一時運用休止中。
140	佐賀県		西津レンタサイクル	吉野ヶ里公園駅南口 西津レンタサイクル	8:00～17:00	×	×	×	×	観光	
141	佐賀県	レンタサイクル	有田観光協会	有田駅, 有田館, 古田商店, 上 有田駅前, ろくろ座, 観光協会	9:00～17:00	×	○	×	○	観光	
142	熊本県	くまもとわくわくレンタサイクル(熊本市有料レンタサイクル社会実験)	株式会社 パースト24	中心市街地周辺6箇所(インターネット等を参考にしてください)	9:00～17:00	×	○	×	○	日常	1日500円、2日間まで借りることができます。土日祝日のみ、どこでも返却可能です。自転車は全50台で、全て小径20インチの電動アシスト自転車です。

行政：35，観光協会：55
民間委託：19，民間：33

あり	24	51	12	61	18
なし	101	77	116	66	124
計	125	128	128	127	142

日常利用
観光利用

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
1	北海道	旭川市経済観光部 観光課	自治体	なし	7	4.6~ 36.5	2カ所	9:00~18:30	¥300/日				500円/3日
2	北海道	(社)美瑛町観光協会	観光協会	なし	4	4.2~ 25.1	1カ所		¥250/h ¥1250/日				乗捨料1000円
3	北海道	倶知安観光協会	なし	なし	5	10.5~ 43	1カ所		¥500/日				
4	北海道	(社)ふらの観光協会	なし	あり	14	9.4~ 29.3	6カ所						
5	北海道	グループ サイクルズ	あり		9+7	2.0~ 59.4	1カ所		¥2000/半 ¥3500/日	MTB, Road, Hyb rid, Touring			子供1000円
6	北海道	レンタサイクル札幌						8:30~17:00	¥1000/日 ¥1200/日	シティサイクル, コンパクトサイクル			ホテルへ配達
7	北海道	ポロクル	あり	あり	なし	なし	市内45カ所	7:30~21:00 11月中旬~3 月閉鎖	¥105/30分 (1050/月) ¥1500/日	シティサイクル	200台	なし	市内各所のサイクルポート間 どこでも乗り降りができる。携帯電話、IC カードなどで事前登録 が必要。
8	青森県	弘前観光 コンベンション協会					4カ所	9:00~17:00 8:30~17:00	無料		各10台 程度		身分証明書
9	秋田県	角館町観光協会					2カ所		¥300/h				
10	秋田県	秋田市雄和 サイクリングターミナル							¥400, 300 /2h	タンデム¥400	30台		宿泊・風呂なし
11	秋田県	大館市					大館 スカイパーク	8:00~20:00 (冬期休止)					
12	秋田県	五風レンタサイクル	あり	なし	なし		男鹿温泉交 流会館	9:00~17:00	¥500/3h, 800/5h, 1000/8h	シティサイクル	2台	なし	
13	秋田県	秋田内陸線 『ちよいのりくん』					阿仁合駅観 光案内所	9:00~17:00					H25以降 未定
14	秋田県	サイクリングターミナル 「やまゆり」					1カ所	9:00~16:00 夏9:30~ 20:00					
15	秋田県	にかほ市					ひばり荘	9:00~16:00					
16	秋田県	秋田県 美郷町					4カ所	9:00~17:00					
17	山形県	めでためでた花のやまが た観光圏推進協議会	なし	なし			3カ所	9:00~17:00	¥300/日 ¥500/2日				乗捨料200円
18	山形県	朝日町観光協会					あさひ旅の ココロ館	9:00~		電動アシスト			
19	山形県	NPO新庄観光ガイド協議 会					最上広域交 流センター「ゆ めりあ」	9:00~17:00					
20	山形県	勤労者総合スポーツ施設(徳 良湖アウトキャンプ 場)					1カ所	9:00~17:00					
21	山形県	社団法人 東根市観光物産協会					JRさくらん ぼ東根駅	8:30~19:00		電動アシスト			
22	山形県	酒田市 観光用自転車	あり				16カ所	原則9:00~ 17:00まで	無料		159台		うち62台は飛島に配置
23	山形県	レンタサイクル つるおか					3カ所	9:30~17:00 10:00~17:00 9:00~17:00	無料		28台		
24	山形県	庄内町観光レンタサイクル事業					余目駅構内 「あまるめ ホッとホーム」	9:00~17:00					
25	山形県	中心市街地レンタサイクル・西部 地区観光レンタサイクル					10カ所	9:00~16:00					
26	山形県	天童温泉協同組合観光レン タサイクル					2カ所	9:00~17:00					
27	山形県	山形鉄道株式会社 (有人駅による)	山形鉄 道(株)				3カ所	各駅により異 なる。 ※長井駅9~ 17時 4~11月(祭 日休み)					
28	山形県	米沢観光物産協会 レンタサイクル事業					米沢観光物 産協会観光 案内所	9:00~17:00					
29	山形県	NPO法人 遊佐鳥海観光 協会					JR遊佐駅構 内の観光協 会事務所	9:00~17:00					
30	岩手県	県南広域振興局 経営企画部	自治体	なし			2カ所	9:00~17:00	¥500/2h ¥1000/日	一般、電動			電動¥600/2h ¥1300/日
31	宮城県	ポタリングクラブ	あり				1カ所	10:00~17:00	¥600/3h+1 50/h 1000/日	婦人用、シティサイ クル、マウンテンバイク			
32	宮城県	気仙沼観光 コンベンション協会					気仙沼観光コ ンベンション協会	9:00~15:00 返却17:00ま で		電動アシスト			
33	宮城県	おながわレンタサイクル					1カ所	9:00~16:00		電動アシスト			現在、休止中
34	宮城県	せんだい秋保文化の里セン ター(通称:秋保・里センター)					1カ所	9:30~17:00	無料貸出				保証金1000円
35	宮城県	石巻復興マルシェ 無料レンタサイクル					2カ所	10:00~15:00	無料				平日(7時~18時), 休日(1回2hr)
36	宮城県	白石市観光レンタサイ クル					3カ所	9:00~17:00	預かり金 500円				地元のサイクルショップ と提携
37	宮城県	オークプラザ レンタサ イクル	観光物 産協会				角田駅内 オークプラ ザ	8:00~17:00 (貸出時間)					
38	宮城県	多賀城市観光協会					2カ所	10:00~17:00 10:00~15:00					
39	宮城県	岩沼市総合体育館 (管理施設)					阿武隈公園 グラウンド クラブハウス	9:00~16:00					

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
40	宮城県	長沼フートピア公園レンタサイクル					1ヵ所	9:00~16:30					
41	宮城県	(株)とよま振興公社					水沢県庁記念館	9:00~16:30					
42	宮城県	登米市観光物産協会					2ヵ所	9:00~16:30					
43	宮城県	中山平温泉レンタサイクル					倉加屋	9:00~16:00		電動アシスト			
44	宮城県	七ヶ宿町観光協会					なし	なし					
45	宮城県	村田町レンタサイクル事業					村田町役場	9:00~16:00		電動アシスト			
46	宮城県	レンタサイクル「やまゆり号」					丸森駅	7:00~17:00					
47	宮城県	美里町総合案内所					美里町総合案内所	9:00~17:00		タンデム			
48	福島県	ももりんレンタサイクル					6ヵ所(4)	10:00~19:00	無料	一般(子供用)	76(7)台		身分証明書
49	福島県	福島交通電動レンタサイクル					1ヵ所	9:00~19:00	¥300/4h	電動アシスト	10台		身分証明書
50	福島県	会津高原たかつえMTBリゾート	あり		6		1ヵ所	9:00~16:00	¥1800/日 ¥1000/3h	MTB(BIONICON)		インストラクター、レッスン	要予約 保険300円
51	栃木県	宮サイクルステーション					1ヵ所	7:00~20:00	¥500/4h ¥1000/日	GiantESCAPE_R3, Intermax AQUA, im-road, im-vero, im-fixed	15台		身分証明書
52	栃木県	真岡鐵道株式会社					1ヵ所	8:00~17:00		電動アシスト			
53	栃木県	黒磯駅前活性化委員会					1ヵ所	10:30~17:00(返却)					
54	栃木県	(有)プロスワールド					1ヵ所	8:30~17:00					
55	栃木県	喜連川商店街活性化推進事業					1ヵ所	9:00~16:00					
56	栃木県	下野市観光協会 観光自転車貸し出し					2ヵ所	9:00~16:00					
57	栃木県	壬生町観光貸自転車事業					1ヵ所	5:00~23:40					
58	栃木県	那須未来株式会社					1ヵ所	9:00~17:00		電動アシスト			
59	栃木県	宇都宮市レンタサイクル					7ヵ所	8:00~21:00		電動アシスト			
60	群馬県	板倉町レンタサイクルセンター			7	5~25	1ヵ所	9:00~16:30	¥400/4h ¥600/日	オートマチック、シャフトドライブ、フュージョン、MTB	各10台		
61	群馬県	前橋中心商店街とコムネットQ					14ヵ所	各地で確認	無料				
62	群馬県	前橋駅観光案内所					1ヵ所	8:00~19:00	¥200/日				
63	群馬県	高崎市地域交通課					7ヵ所	8:00~19:00	無料		35台		身分証明書
64	群馬県	足尾町観光協会 間藤駅観光センター					2ヵ所	8:30~17:15	¥500(800)/4h+100/h	普通(電動アシスト)			
65	群馬県	つつじが岡パークイン					1ヵ所	9:00~17:00	¥200/2h+100/h		80台		
66	茨城県	行方市観光協会	あり				1ヵ所	9:30~16:30	¥500(小人300)/日	ロードバイク・クロスバイク・シティバイク・幼児車			
67	茨城県	つくば市レンタサイクル					1ヵ所	9:00~18:30	¥500/日				
68	埼玉県	バイクライフサポートシステム(BLss)	あり	あり			1ヵ所			フルサスペンション仕様		MTB	ヘルメット、グローブ
69	埼玉県	長瀨町観光協会	なし	なし	1	11.0	1ヵ所	9:00~17:00	¥500/h ¥1500/4h ¥2500/8h	電動アシスト	10台		クーポン割引
70	埼玉県	秩父観光情報館	なし	なし	1	5.8	1ヵ所	9:30~17:30	¥400/h ¥800/2h	電動アシスト	6台 3,3台		クーポン割引
71	埼玉県	川越駅傍	なし	なし	1	8.9	2ヵ所	10:00~16:30 10:00~19:00	¥400/3h ¥800/日		22台 20台		クーポン割引
72	埼玉県	行田市観光案内所	なし	なし	1	13.8	6ヵ所	9:00~16:00	無料		60台		クーポン割引
73	埼玉県	サイクルセンター矢代	なし	なし	1	12.8	1ヵ所	7:30~20:00	¥300/2h ¥500/日		15台		クーポン割引
74	埼玉県	龍泉堂	なし	なし	1	16.7	1ヵ所	7:00~21:00	¥500/日		10台		クーポン割引
75	埼玉県	吉川駅北	なし	なし	1	17.2	6ヵ所	6:00~21:00	無料		5台		クーポン割引
76	埼玉県	三郷駅北口	なし	なし	1	19.4	1ヵ所	9:30~17:30	¥300/日 ¥900/日	普通車 MTB	20台 28台		クーポン割引
77	埼玉県	マノサイクル	なし	なし	1	9.5	1ヵ所	10:00~19:00	¥500/日 ¥1000/日	普通車 電動アシスト	10台 3台		クーポン割引
78	埼玉県	森林公園駅北口	なし	なし	1	14.5	2ヵ所	9:00~17:00	¥600/3h ¥1000/日	MTB, 27インチあり	151台 100台		クーポン割引
79	埼玉県	県土整備部道路環境課			10	7~35							
80	埼玉県	秩父元気アップ戦略会議			10	11.5~74	2ヵ所	9:00~17:00	¥500/h ¥2500/日	電動10, 6台、普通4台			
81	埼玉県	きらりんかわぐちレンタサイクル					1ヵ所	9:00~18:00 9:00~16:00	¥500/日	シティサイクル20~27インチ	30台		土日祝限定
82	埼玉県	JRバステック 川越	あり				1ヵ所	10:00~16:30	¥400/半日 ¥800/日	変速付			
83	埼玉県	広域レンタサイクル事業					県内駅前6ヵ所	9:00~18:00		電動アシスト			11月末までの実証実験
84	千葉県	柏市、我孫子市	あり				6ヵ所		¥300/日				
85	千葉県	佐倉市観光協会	あり				6ヵ所		¥500/日				

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
86	東京都	秋葉原UDX駐車場	あり				1ヵ所		¥1000/6h ¥2000/12h				保証金1000円
87	東京都	無印良品有楽町店	あり				1ヵ所		¥525(平日) ¥1050/日				保証金3000円
88	東京都	オーヴ	あり	あり			1ヵ所	10:00~19:00				散走	
89	東京都	トーキョーバイク	あり				谷中店	13:00~19:00 11:30~18:00	¥1000/日				
90	東京都	台東区					5ヵ所		¥200/日 ¥300/3日				身分証明書
91	東京都	文京区	あり				1ヵ所		¥500/日	電動アシスト 自転車あり			身分証明書
92	東京都	江東区臨海部 コミュニティサイクル	あり		1		11ヵ所	7:00~22:00	¥100/h		150台		N T T ドコモ
93	東京都	渋谷区	あり				1ヵ所	6:00~20:00	¥200/日				
94	東京都	世田谷区	あり				2ヵ所		¥200/日				区内在住・在勤・在学者 限定
95	東京都	寅さん記念館 レンタルセンター					1ヵ所	9:00~17:00 9:00~16:00	¥400(200)	高校生以上 (小中学生)			
96	東京都	江戸川区	あり				5ヵ所	4:30~25:00	¥200/日 ¥2000/月	高校生相当以上			身分証明書
97	東京都	武蔵野市	あり				1ヵ所		¥200/日				
98	東京都	グリーンチャージ	あり		4		1ヵ所	9:00~17:00	¥2000, 1600, 800, 600/日 ¥1200, 800, 400, 300/4h ¥600, 400, 200/h	電動アシスト, クロスバイク 普通, 20"	26台		保証金1000円
99	東京都	トレックリング	あり		4	20~33	3ヵ所	9:00~17:00	¥2000, 3500/日 ¥1500, 2500/3h	MTB, クロスバイク, 電動アシスト	35台		
100	神奈川県	茅ヶ崎市 都市部都市政策課	自治体	なし			1ヵ所	9:00~16:00	無料	電動アシスト	5台	県立茅ヶ崎 里山公園	
101	神奈川県	箱根サイクル2000万人 プロジェクト実行協議会	箱根サイクル	なし			20ヵ所	9:00~17:00	¥500/h ¥1200/3h	電動アシスト			観光船
102	神奈川県	ハマチャリ	あり				3ヵ所		¥800/日				保証金700円
103	神奈川県	JRバステック 鎌倉	あり				2ヵ所	8:30~17:00 10:00~17:00	¥1600, 1800, 2400/日	普通自転車, 変速付, 電動自転車	100台		
104	神奈川県	小田原城 歴史見聞館	あり				1ヵ所	9:00~16:30	¥300/日				保証金1000円
105	山梨県	富士吉田市 観光案内所	あり				1ヵ所	9:00~16:30	無料	電動アシスト			保証金2000円
106	長野県	地域資源∞全国展開プロジェクト ワーキングチーム	観光協会	あり	8+6	6.6~41.9	2ヵ所		¥300/日				
107	長野県	安曇野市商工 観光部観光課	自治体	なし	2	?	3ヵ所						
108	長野県	松川村観光協会 池田町 観光協会	自治体	なし	2	5, 7	1ヵ所		¥500/4h ¥1000/日				
109	長野県	大町市	自治体	なし	6	8~17	4ヵ所		無料				
110	長野県	白馬村観光局	白馬村 観光局	なし	5	9~10.95	9ヵ所			タン, MTB, タンデム, 電動, Jr			
111	長野県	戸倉上山田温泉旅館組合 連合会レンタル事業	なし	なし	10	2.2~40.8	5ヵ所	9:00~17:00					
112	長野県	森の宿林りん館					1ヵ所	9:00~17:00					
113	長野県	別所線無料 レンタサイクル					2ヵ所	9:00~17:00					
114	長野県	上田市まちなか レンタサイクル					上田駅お城 口駐輪場	9:00~17:00					
115	長野県	真田の郷電動 アシストレンタル						8:30~17:15		電動アシスト			
116	長野県	みどりの自転車					5ヵ所	8:30~17:15	無料	放置自転車を 整備			
117	長野県	小諸市 おもてなし自転車					小諸観光交 流館	8:30~15:00					
118	長野県	(社)信州しなの町 エコツーリズム観光協会					信濃町観光 案内所(黒姫 駅前)	9:00~16:00		電動アシスト			
119	長野県	下諏訪町 レンタサイクル事業					下諏訪町友 之町駐輪場	9:00~ 年中無休	¥100/h	電動アシスト			
120	長野県	レンタルプロジェクト (スワクル)	あり				諏訪湖周辺 のレンタル ショップ	各施設の営 業時間内		電動アシスト			
121	長野県	松川村観光協会					セピア安曇 野	9:00~17:00					
122	長野県	駒ヶ根高原家族旅行村アル プスの丘					管理棟事務 所	8:00~17:00		MTB, タンデム			
123	長野県	環境にやさしい交通社会 形成事業					市内 37ヵ所	9:00~17:00 (貸出時間)		MTB, 電動アシスト			
124	長野県	レンタサイクル 「ぶらり号」					3ヵ所	9:00~17:00					
125	長野県	山ノ内町総務課					湯田中駅前 温泉	10:00~16:00 返却~17:00	無料	電動アシスト			
126	長野県	イエロー自転車 「イナリイ号」					4ヵ所	終日	無料	誰でも 自由に乗降			
127	新潟県	湯沢温泉旅館組合	湯沢温泉	なし	5	4.6~18.2	16ヵ所	9:00~17:30 6:00~19:00	¥500/2h ¥1500/日	電動アシスト			
128	新潟県	温泉旅館組合	旅館組合	あり			6ヵ所			電動アシスト			

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
129	新潟県	八海山麓サイクリングターミナル	作成者	あり	3	24~33.8	1カ所				50台		
130	新潟県	新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会			3		2カ所	9:30~19:00	¥100/3h +¥100/h				
131	新潟県	新潟市自転車を活用したまちづくり推進協議会					6カ所	9:30~19:00	¥1500/3h ¥2500/日 +¥2000/日	スマートクルーズ			世界各国高性能自転車
132	新潟県	スマートクルーズ	あり				市内 8カ所	9:00~21:00	¥1500/3h ¥2500/日 ¥4500/2日	スポーツバイク			
133	新潟県	JR五泉駅					1カ所	9:00~17:00 4/1~11/30					
134	新潟県	JR東日本加茂駅					1カ所	9:00~17:00	¥500/日				
135	新潟県	道の駅あらい・妙高高原ビジターセンターでのレンタサイクル					2カ所	9:00~16:30		電動アシスト			
136	新潟県	ニュー・グリーンピア津南サイクリング					1カ所	9:00~16:00		電動アシスト			
137	新潟県	エコだっチャリ	あり				15カ所以上	案内所開設時間内(季節による変動あり)		電動アシスト			自転車ナビ、乗り捨て(指定箇所)、デリバリ(指定箇所)のサービスあり。
138	新潟県	いわむろやレンタサイクル					1カ所	9:00~16:00		電動アシスト			
139	新潟県	JR村上駅					1カ所	9:00~18:00	¥500/日		8台		
140	新潟県	笹川流れ夕日会館・交流の館「八幡」					2カ所	9:00~17:00	¥500/日		7台		相互乗り捨て可能
141	新潟県	イヨボヤ会館・おしやがり会館					2カ所	9:00~16:30	¥200/h		4+6台		館内入場者¥100/h
142	新潟県	上越市バイシクルモトクロス場					1カ所	9:00~17:00		MTB, BMX, ストライダー			BMX場内のみ
143	新潟県	新潟県粟島浦村役場					役場前	8:30~17:00					
144	新潟県	伊藤商会					店頭	8:00~18:30					
145	静岡県	中伊豆地区広域観光システム事業推進協議会	湯くくりんぐ	なし	7	7.5~18	6カ所	9:00~17:00	¥500/日	電動アシスト用意(同料金)			
146	静岡県	沼津市観光交流課 NPO法人沼津観光協会	なし	なし			7カ所		無料				3時間限定
147	静岡県	アクティ森	自治体	なし	5	10.5~28	1カ所			MTB			
148	静岡県	磐田市コミュニケーションセンター	なし	なし	4	10~15		10:00~17:30	¥200/4h ¥400/日	電動アシスト			
149	静岡県	静岡県西部地区観光協議会	なし	あり	4	62.9~82	9カ所						
150	静岡県	天竜川・浜名湖地区広域市町村圏協議会	なし	あり	4	2~82	7カ所		¥500/日				保証金1000円
151	静岡県	伊豆の国レンタサイクル(狩野川ペロ)	あり	あり	HP	20,30	3カ所	10:00~16:00	¥500/日	MTB, 電動アシスト, タンデム		検討中	
152	静岡県	(財)静岡観光コンベンション協会					市内9カ所	9:00~16:30 一部10:00~		電動アシスト			
153	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆ〜りん	あり			5~70	かんざんじ温泉観光協会	9:00~16:30 年間無休				不定期	
154	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆ〜りん					弁天島海浜公園	9:00~16:30(4月~9月), 9:00~15:30(10月~3月)					
155	静岡県	ぐるっと浜名湖サイクリングゆ〜りん					渚園レンタサイクルターミナル	8:30~17:00					
156	静岡県	ゆ〜りん浜名湖サイクリング					2カ所	9:00~16:00		電動アシスト			
157	静岡県	奥浜名湖観光協会					天竜浜名湖鉄道気賀駅	9:00~16:30		電動アシスト			
158	静岡県	湖西市レンタサイクル事業					海湖館ターミナル	9:00~16:00					
159	静岡県	静岡市レンタサイクル実証実験					市内9カ所	9:00~15:00		一部電動アシスト			
160	愛知県	愛知県	自治体	なし	4	3.4~10.2	4カ所						
161	愛知県	とよたまちなかレンタサイクル	自治体	なし			3カ所	9:00~19:00	¥100/日 ¥200/日	普通、電動			
162	愛知県	安城市エコサイクルシティ実行委員会	なし	なし	4	7.0~36.3	10カ所	9:00~17:00	無料	普通(リサイクル)			
163	愛知県	伊良湖レンタサイクル	観光協会	あり	3	13~68	4カ所		¥300/h ¥900/日				
164	愛知県	一宮市観光協会					未定	未定					H25より 実施予定
165	愛知県	西尾市観光協会					市内 3カ所	貸出場所による					
166	愛知県	蒲郡市電動レンタサイクル					蒲郡市観光協会	9:30~16:30					
167	愛知県	木曾川沿川周遊サイクリング					3カ所	9:30~15:00 返却~16:00					
168	愛知県	江南市					すいとびあ江南	10:00~15:00					
169	愛知県	小牧市レンタサイクル事業					小牧駅西駐車場	9:00~21:45 土日祝7:00~					
170	愛知県	きよすあしがるサイクル					清洲ふるさとのやかた	10:00~15:00					

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
171	愛知県	知立市レンタサイクル事業					2ヵ所	知立市駅前自転車駐車場 8:30～17:00 知立市役所南自転車駐車場 8:30～19:00					
172	愛知県	田原市レンタサイクル					5ヵ所	9:00～17:00					
173	愛知県	篠島観光協会					1ヵ所	10:00～16:00					
174	愛知県	とよね観光株式会社					天竜奥三河 国定公園茶臼山高原	9:00～15:00					
175	岐阜県	飛騨里山サイクリング	あり	なし				13:30～17:00 10:00～12:30 10:00～15:00	¥2500/日	スタンダード、ハーフ、ライト&ハイク		7000円, 4500円, 9800円	プライベートツアーあり
176	岐阜県	ぎふ・まちなかレンタサイクル	なし	なし	6	7.9～16.0	4ヵ所		¥100/日 ¥200/2日				
177	岐阜県	垂井町観光サイクリング協会	観光協会	あり			4ヵ所		¥500/日				
178	岐阜県	美濃市観光協会	自治体	なし	9	2.7～41.3	3ヵ所	9:00～18:00 9:00～16:00	¥300/日 ¥200/日	大人用 子供用4台	8, 3, 5台		
179	三重県	伊勢市観光協会	なし	あり	2		2ヵ所	8:30～17:00 9:00～17:00	¥500/4h ¥800/日				
180	三重県	桑名市役所観光課	自治体	なし			3ヵ所	10:00～16:00	無料				保証金100円
181	三重県	おみややサイクリングターミナル	自治体 観光協会	なし	4	7～31	1ヵ所	8:30～17:00	¥400/4h ¥500/日 +¥100/h				
182	三重県	こにゅうどうレンタサイクル	自治体				2ヵ所	7:00～20:00 10:00～17:00	¥120/日 ¥240/日	一般自転車、 電動アシスト	60, 5台		
183	富山県	みらくる	自治体 観光協会	なし	4	4.5～20.2	4ヵ所		¥300/4h ¥500/日 ¥1000/2日	電動アシスト 小人用 (100, 300, 500)			他返却500円
184	富山県	魚津市コミュニティサイクル事業					4ヵ所	9:00～17:00		MTB, 電動アシスト			
185	富山県	「電気でGo!!」	あり	なし	なし		宇奈月温泉街「いっぶく処」観光案内所	9:30～16:30		電動アシスト	12台	なし	
186	富山県	(有)あさひふるさと創造社					ななしろKAN	9:00～17:00 毎週火曜休館					
187	富山県	富山市街なか回遊性向上事業					3ヵ所	9:00～18:00					
188	富山県	高岡市レンタサイクル					7ヵ所	10:00～16:00	¥200/回				
189	富山県	射水市レンタサイクル					2ヵ所	9:00～17:00					
190	富山県	高岡・氷見海岸絶景!シーサイドレンタサイクル			3	7.9～10.5	3ヵ所	9:00～17:00	¥500, 200/日	電動, 普通			
191	富山県	砺波市レンタサイクル					5ヵ所	9:00～18:00					
192	富山県	小矢部市電動アシスト自転車無料貸出し					4ヵ所	9:00～17:00					
193	富山県	南砺市レンタルサイクル事業					4ヵ所	城端(9:00～16:00), 井波(9:00～16:00), 福光(9:00～17:00)					
194	石川県	石川県土木部道路建設課	なし	なし	4	9.5～32.9	3ヵ所						
195	石川県	和倉温泉旅館協同組合	なし	なし	4	10～42.2	和倉温泉観光会館	9:00～17:00	¥500/4h ¥1000/日	大人 小人 (¥300, ¥600)			
196	石川県	輪島市観光協会	今後予定	なし	3				¥400/h ¥1000/4h ¥1500/日 ¥2000/2日	電動アシスト			保証金 1000円
197	石川県	まちのり					市内 19ヵ所	貸出7:30～22:30返却24時間	¥200/日 +200/30分				定期利用あり
198	石川県	こまつレンタサイクル					JR小松駅	9:00～17:00					
199	石川県	楽輪々(らくりんりん)					4ヵ所	8:00～18:00					
200	石川県	輪島市役所交流政策課 観光課					4ヵ所	8:30～17:00					
201	石川県	加賀市レンタサイクル					8ヵ所	取扱店の営業時間内, 9:30～16:30					
202	石川県	(貸)自転車屋「白山下駅」					1ヵ所	9:00～14:00	無料				
203	石川県	おししサイクル					3ヵ所	9:00～16:00					
204	石川県	(株)志賀町振興サービス 富来サイクリングターミナル					1ヵ所	9:00～17:00(季節により時間短縮あり)		MTB			
205	福井県	えちぜん鉄道	なし	なし	4	12～15.1	10ヵ所	7:00～20:00	無料		122台		
206	滋賀県	滋賀県土木交通部道路課	自治体	なし	5	21.1, 39.7	78ヵ所						
207	滋賀県	マキノ町観光協会	サイクリング/ 滋賀県	なし	14	17.2～38	1ヵ所	9:00～17:00	¥500/3h ¥800/6h ¥1000/日 +200/h				乗捨料300円
208	滋賀県	JR永原駅前、近江塩津駅前	サイクリング/ 滋賀県	なし	14	17.2～38	2ヵ所	8:00～17:00	¥500/日				乗捨料300円
209	滋賀県	余呉町観光協会	サイクリング/ 滋賀県	なし	14	17.2～38	1ヵ所	8:30～17:00	¥500/日				乗捨料300円

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
210	滋賀県	木之本観光案内所	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	9:00~17:00	¥500/日				乗捨料300円
211	滋賀県	湖北田園空間博物館総合案内所	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	9:30~18:00	¥500/日				乗捨料300円
212	滋賀県	JR虎姫駅前	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	8:30~17:15	¥500/日				乗捨料300円
213	滋賀県	河毛駅コミュニティハウス	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	7:00~19:00	¥500/日				乗捨料300円
214	滋賀県	御旅駐車場	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	8:00~20:00	¥500/3h ¥800/日				乗捨料300円
215	滋賀県	JR坂田駅前、米原市役所	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	2ヵ所	8:30~17:00	¥500/日				乗捨料300円
216	滋賀県	グリーンパーク山東	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	8:30~17:00	¥300/h 小人¥200/h				
217	滋賀県	長浜市サイクリングターミナル	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	8:00~20:00	¥500/3h ¥800/日				
218	滋賀県	駅レンタカー関西 長浜営業所	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	9:00~19:00	¥500/日				
219	滋賀県	醒井水の宿駅	サイクリング/滋賀県	なし	14	17.2~38	1ヵ所	9:00~17:00	¥1000/日				500円返金
220	滋賀県	東近江地域振興局	なし	なし	3	12.6, 23.2	3ヵ所						
221	滋賀県	琵琶湖汽船大津港 琵琶湖ホテル	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	7ヵ所	9:00~19:00	¥1000/2h ¥2000/日	電動アシスト 800, 1500 宿泊			
222	滋賀県	大津港駐車場	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	1ヵ所	7:30~24:00		駐車場利用者無料	子供用あり		
223	滋賀県	なぎさ公園 レンタサイクル	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	1ヵ所	10:00~16:00	¥100/回	MTB, 子供用あり			保証金 1000円
224	滋賀県	リバーヒルズ大石	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	1ヵ所	9:00~17:00	¥420/4h	MTB, 子供用あり			
225	滋賀県	坂本観光協会	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	1ヵ所	10:00~16:00	¥600/4h				
226	滋賀県	宿屋きよみ荘	otsucycling	なし	15	5.1~55.7	1ヵ所		¥1500/日	クロスバイク等			
227	滋賀県	湖東定住自立圏推進協議会 ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞ・ﾊﾞｲﾛｯｼﾞｰ部会	なし	なし	6		14ヵ所						
228	滋賀県	《自転車にやさしいまちづくりプロジェクト》	あり		1	9.0	3ヵ所						
229	滋賀県	NPO法人五環生活	あり				1ヵ所		¥2000/日	クロスバイク、ロードバイク	20台, 5台	○	保証金4500円
230	滋賀県	彦根市レンタサイクル 「めぐりんこ」					2ヵ所	①9:00~17:00, ②10:00~18:00		電動アシスト			
231	滋賀県	レンタサイクル めぐりんこ					1ヵ所	9:00~16:00		電動アシスト			
232	滋賀県	めぐりんこ					2ヵ所	9:00~16:00		電動アシスト			
233	滋賀県	甲良町レンタサイクル事業					尼子駅	9:00~17:00		電動アシスト			
234	滋賀県	北部観光支援事業					4ヵ所	9:00~17:00		電動アシスト			
235	滋賀県	(社)びわ湖高島観光協会					6ヵ所	9:00~17:00					
236	滋賀県	北びわこレンタサイクル					16ヵ所	施設によって異なる		MTB, 電動アシスト			
237	滋賀県	北びわこ広域レンタサイクル事業(乗り捨て)					2ヵ所	8:30~17:00					
238	滋賀県	ブラザ三方よし, 五箇荘駅					2ヵ所	8:30~17:00					
239	滋賀県	(有)国華商会					1ヵ所	9:00~19:00					
240	滋賀県	青木自転車商会					1ヵ所	8:30~19:00					
241	滋賀県	レンタサイクル田中					1ヵ所	9:00~19:00	¥500/日				
242	滋賀県	道の駅あいとう マガレットステーション					1ヵ所	9:30~16:00	¥500/回				
243	滋賀県	クレフィール湖東					1ヵ所	特に規定なし	¥500/日				
244	滋賀県	米原市電動アシスト付き自転車事業					5ヵ所	各施設による		電動アシスト			
245	京都府	与謝野自転車商協議会	なし	なし			6ヵ所	9:00~17:00	¥200/回				
246	京都府	新田辺駅東自転車駐車場	なし	なし	9		1ヵ所	6:00~22:30	¥300/日 ¥500/日	ママチャリ、電動自転車	5台 1台		
247	京都府	道の駅舞鶴港とれとれセンター	なし	なし	4	4.0~10.2	1ヵ所	9:00~17:00	無料	リサイクル自転車	10台		保証金 1000円
248	大阪府	羽曳野市観光協会	観光協会	なし	2	18.0, 18.3	3ヵ所	9:00~16:00	¥250/日				
249	大阪府	池田市市民リノベーション検討会	池田コミュニティ	なし			3ヵ所		¥300/回 (定期/月)	電動アシスト ¥400/回			
250	大阪府	うえまち貸自転車	あり		4	1.9~7.5	1ヵ所	11:00~17:00					水休
251	大阪府	さかいコミュニティサイクル	あり		12	6.1~45.1	4ヵ所	5:00~25:00 6:00~21:00	¥300/日 ¥400/日	(1~3月定期利用可)、電動アシスト(1日)			
252	大阪府	堺市コミュニティサイクル	あり				市内 6ヵ所	7:00~20:00					
253	大阪府	堺 観光レンタサイクル					4ヵ所	9:00~16:30 自転車博物館のみ10時から					
254	大阪府	COIDECOコミュニティサイクル					市内 16ヵ所	2012/10/2~10/30 10:00~18:00					
255	奈良県	奈良県	なし	なし	3	21.2	4ヵ所						
256	奈良県	奈良県	なし	なし	3	21.9	6ヵ所						

No.	府県	事業者 貸出者	web掲載	イベント	モデルコース	距離(km)	場所	受付時間	料金	種類	台数	ガイドツアー	特記
257	奈良県	奈良県	なし	なし	3	30.0	10ヵ所						
258	奈良県	古都りん	あり		4	15.7 ～29	7ヵ所	9:00～16:30	¥1000/回 ¥1500/回	ギヤ付シティサイクル、電動アシスト			200円割引
259	奈良県	観光ステーション「磯城の里」	自治体	なし	5		1ヵ所	9:00～16:00	¥200/h+/h ¥1000/日		6台		
260	奈良県	宇陀市観光連盟	なし	なし	2	8.2, 13.98	5ヵ所	9:00～17:00	¥2000/日 ¥1000/4h	電動アシスト			
261	和歌山県	南紀わかやまアクト・フェスティバル実行委員会	なし	なし			6ヵ所						
262	和歌山県	城まちeco観光レンタサイクル			7	10～ 38				電動アシスト 普通自転車			
263	和歌山県	たま自転車					1ヵ所	9:00～17:30	¥100/4h+ ¥200	小径車	20台		
264	和歌山県	いちご自転車					1ヵ所		¥800/日 ¥500/半		15台		チャイルドシート
265	和歌山県	紀の川エリア観光サイクル推進協議会		あり			3ヵ所	9:00～17:00	¥1000/日 ¥500/半日	DAHON小径車	15台	○	二日前の予約必要
266	兵庫県	神姫グリーンバス 栗賀営業所	自治体	なし			1ヵ所	8:00～18:00	¥1300	バス代、保険料、レンタサイクル代、記念品		○	
267	兵庫県	丹波篠山観光協会	なし	なし			5ヵ所						
268	兵庫県	神鍋観光協会					1ヵ所	9:00～17:00	¥500/2h+2 00/h ¥1500/日	電動アシスト	5台		
269	岡山県	瀬戸内市バイクピス推進協議会	なし	あり	3	8.6～ 27.5	1ヵ所						
270	岡山県	瀬戸内市バイクピス推進協議会	なし	あり	3	7.2～ 11.4	1ヵ所		¥500/4h				
271	岡山県	レンタサイクル神崎	自治体 観光協会	なし	2	13, 21	1ヵ所						
272	岡山県	総社市観光協会	あり	なし	1	21.0	3ヵ所	9:00～18:00	¥400/2h+2 00/h ¥1000/日				
273	岡山県	蒜山観光協会					3ヵ所						
274	広島県	ECOの街広島 レンタサイクルプロジェクト	あり	なし			5ヵ所	9:00～17:00	¥1000/日	電動アシスト (20, 27インチ)			
275	広島県	ひろしまコミュニティサイクル社会実験	のりん さいくる	なし			9ヵ所	5:00～25:00	無料/30分 ¥500/3日				マンスリーパス ¥1500/月
276	広島県	尾道市因島市民会館	観光協会				1ヵ所	7:00～18:00	¥500, 300/ 日 ¥800/4h	大人、子供、電動(4h)、タンデム			保証金 1000円
277	広島県	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	SHIMAP	あり	6	11～ 25	1ヵ所 2ヵ所	8:30～17:00 8:30～19:00	¥500, 300/ 日 ¥800/4h	大人、子供、電動(4h)、タンデム			保証金 1000円
278	広島県	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	SHIMAP	あり	6	11～ 25	1ヵ所 1ヵ所	8:30～18:00 9:00～17:00	¥500, 300/ 日 ¥800/4h	大人、子供、電動(4h)、タンデム			保証金 1000円
279	広島県	中央森林公園センター			5	12～ 33	1ヵ所	9:00～18:00 9:00～17:00	有料				
280	山口県	防府市観光案内所	なし	なし	3		1ヵ所	9:00～18:00	¥300+100/ h ¥1000/ 日				
281	山口県	しものせき観光キャンペーン実行委員会	自治体	なし	1	?	9ヵ所		¥400/日				
282	鳥取県	境港市観光案内所	あり				1ヵ所	9:00～17:30	¥500(700)	普通自転車、マウンテンバイク、電動アシスト			
283	島根県	NPO法人松江ツーリズム研究会	なし	あり			1ヵ所	9:00～15:00	¥1500/日	電動アシスト		松チャリ	貸切ツアー
284	島根県	レンタサイクル事業実行委員会	なし	なし	7	3.7～ 7.4	3ヵ所	8:30～20:00	¥500/日 ¥300/日	電動アシスト 普通自転車			
285	島根県	奥出雲町レンタサイクル事業					奥出雲町サイクリングターミナル	9:00～18:00		MTB, 電動アシスト			
286	香川県	(社)香川県観光協会	観光協会	なし	13	7.8～ 26.6	37ヵ所	7:00～22:00 8:00～17:00					
287	徳島県	阿波おどり会館	なし	なし				9:30～17:00	¥500～ ¥1000	電動アシスト 普通自転車			
288	徳島県	にし阿波観光圏サイクリング事業	なし	なし	3	5.4～ 17	8ヵ所		¥500/2h ¥1000/半 日	電動アシスト			
289	愛媛県	松山市観光産業振興課	なし	なし	4		4ヵ所	9:30～17:00	¥300/日				
290	愛媛県				1	70	4ヵ所	9:00～17:00	¥500, 300/ 日 ¥800/4h	大人、子供、電動(4h)、タンデム			保証金1000円
291	愛媛県	今治地方観光協会	なし	あり	4	3.3～ 22.0	2ヵ所 1ヵ所	8:30～17:00 8:00～20:00	¥500, 300/ 日 ¥800/4h	大人、子供、電動(4h)、タンデム			保証金1000円
292	愛媛県	西条市観光協会	観光協会	なし	4	10.3 ～25	1ヵ所	9:00～17:00	¥200/h, ¥4 00/2h+100 /h			1～5名300円/2h	保証金2000円
293	愛媛県	旅里庵	なし	なし	3	5～ 20.8	1ヵ所		¥500/2h+2 00/h ¥2000/2日	電動アシスト 普通自転車			保証金2000円
294	愛媛県	上島町岩城総合支所 産業観光課					3ヵ所		¥400, 500/ 日 無料		3, 5, 10 台		
295	愛媛県	今治市レンタサイクル事業					市内6ヶ所			MTB, 電動アシスト, タンデム			
296	愛媛県	ジャイアントストア今治					1ヵ所						

